HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書別添付

日立エコキュート

家庭用ヒートポンプ給湯機

水道直圧給湯フルオート

システム形式 BHP-F56LD

高圧力型フルオート

システム形式 BHP-F56LU

耐塩害仕様は、形式の末尾に「E」がつきます。
耐重塩害仕様は、形式の末尾に「J」がつきます。



このたびは家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。**この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。**
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書とともに大切に保存してください。



「安全上のご注意」➔P.5～9 をお読みいただき、正しくお使いください。

ご注意

時間帯別電灯契約専用です。
時間帯別電灯契約は、時間帯により、電気料金が異なります。
リモコンの時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が高くなることがあります。現在時刻になっていることを確認してください。➔P.61

17B44565A

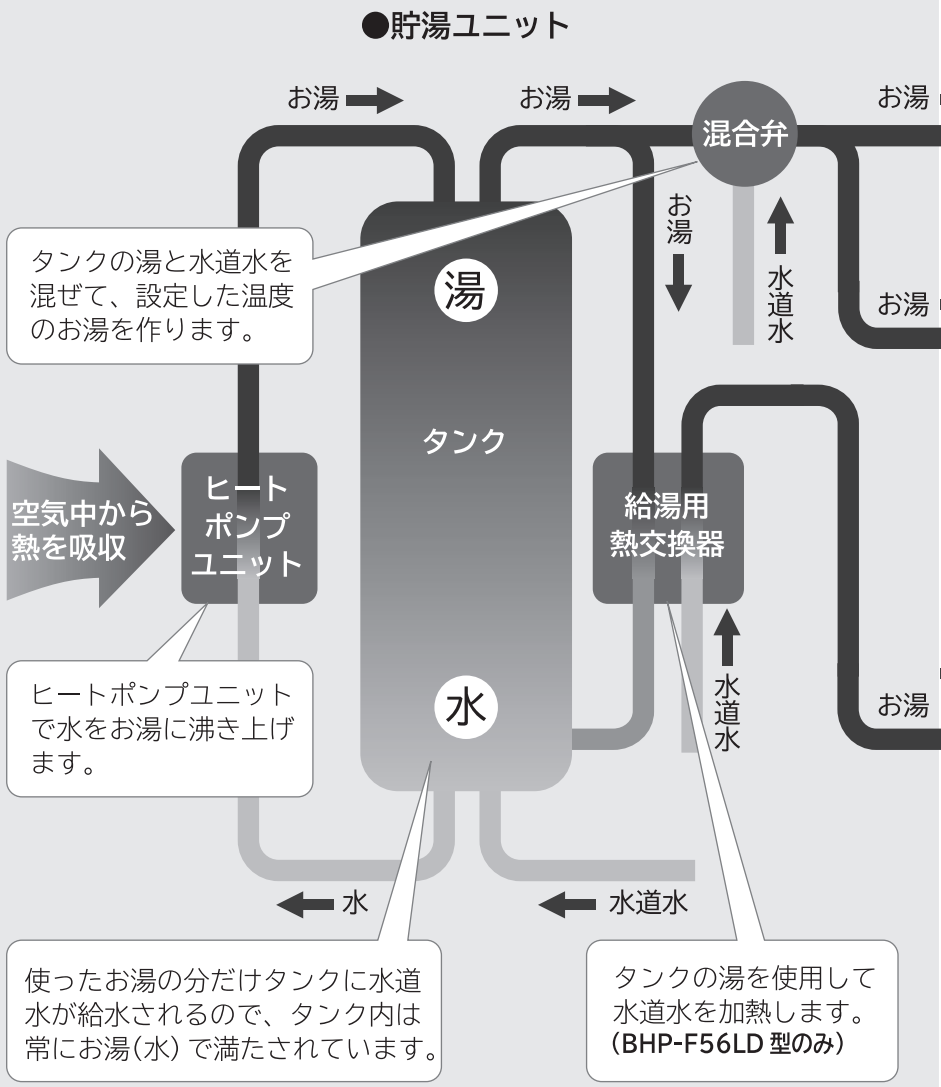
はじめに（特長とお知らせ）

エコキュートってどんなもの

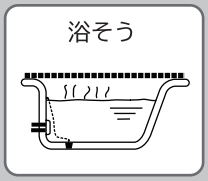
エコキュートは、空気中の熱を利用し、電気エネルギーを約 3 倍の熱エネルギーに変えて、効率よくお湯を沸かすヒートポンプ式の給湯機です。
大気中の熱を水に伝える役目をする冷媒に自然冷媒（CO_2）を使用しオゾン層の破壊の心配がなく、地球環境に配慮しています。

■お湯を沸かすしくみ お湯をためるしくみ

ヒートポンプユニットで空気中の熱を集め、この熱でタンクからの水を加熱しお湯に沸き上げて、タンクに戻し、ためます。



■設定温度のお湯が出るしくみ



タンクのお湯と水道水を混合弁で混ぜることで、リモコンに設定されたふろ温度のお湯を作り、浴そうに出します。

シャワーや混合水栓（蛇口）
（BHP-F56LU 型の場合）



タンクのお湯と水道水を混合弁で混ぜることで、リモコンに設定された給湯温度のお湯を作り、シャワーや混合水栓（蛇口）に出します。

シャワーや混合水栓（蛇口）
（BHP-F56LD 型の場合）



タンクのお湯を使用して給湯用熱交換器で水道水を温め、リモコンに設定された給湯温度のお湯を作り、シャワーや混合水栓（蛇口）に出します。

■電力料金契約を選んで更に経済的

この給湯機は、時間帯別電灯型・季節別時間帯別電灯型のいずれかで契約されています。
ご使用の前に必ず契約内容を、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。 →P.56

契約内容を確認の上、ご使用ください。ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

もくじ

ご使用のまえに

●操作早見表 …… 3
●エコキュートの上手な使いかたポイント …… 4
●安全上のご注意 …… 5
●ご使用上の注意 …… 10

各部の名前とはたらき

●リモコン …… 11
●残湯量の見かた …… 14
●ユニット本体 (貯湯ユニット・ヒートポンプユニット) …… 15
●配管・配線 …… 16

使いかた

●リモコンの基本操作（ボタン操作とメニュー操作) …… 17
●混合水栓（蛇口）について …… 19
●はじめてお使いのときの確認 …… 20
・一括設定 …… 21
●「給湯」を使う（台所・洗面所でお湯を使う）/（チャイルドロック設定) …… 23
・浴室・洗面所でお湯を使う / 浴室優先設定 …… 24
●「ふろ」を使う（湯はりから入浴までの手順) …… 25
・おふろの設定（ふろ温度・水位・高速湯はり・自動洗浄) …… 26
・ふろ自動運転のしかた（ふろの湯はり) …… 27
・入浴中にできること（追いだき・たし湯・さし水・高温さし湯) …… 29
●便利な機能（半身浴をする) …… 33
・ふろ予約をする …… 34
・[eco]・節約サポートメニュー設定 …… 35
・インターホンを使う …… 41

こんなとき

●お湯が不足しそうなとき（タンク沸き増しをする) …… 43
●使ったお湯の量と使えるお湯の量を知りたいとき …… 45
●凍結防止について（外気温が低いとき) …… 46
●数日間お湯を使わないとき（使用休止を予約する) …… 47
●1 か月以上お湯を使用しないとき（排水のしかた) …… 48
●貯湯ユニットに給水をするとき …… 49
●タンクのお湯を非常時使用するとき …… 51
●停電のとき・断水のとき …… 52

お手入れ

●お手入れと点検 …… 53

給湯機の設定

●電力契約設定 …… 56
●沸き上げ設定　湯切れ防止設定　節約設定 …… 57
●保温時間設定　保温機能設定　音声ガイド設定　ガイド・ブザー音量設定 …… 59
●日付 / 時刻の設定　時刻設定　正時設定 …… 61
●通話機能設定 …… 63
●工場出荷時設定 …… 64

お困りのとき・アフターサービスなど

●リモコンにこんな表示がでたら …… 65
●お困りのときは …… 67
●ふろ水位データの再設定 …… 74
●用語集 …… 75
●仕様 …… 76
●保証とアフターサービス …… 77

操作早見表

はじめてお使いのときに

→P.2
もくじ
取扱説明書に何が書いてあるか確認します

→P.5
安全上のご注意
危害や損害を未然に防ぐための重要事項です

→P.17
リモコンの基本操作
エコキュートを操作するための基本事項です

→P.20
はじめてお使いのときに
正しくお使いいただくための確認事項です

→P.21
一括設定
時刻と電力契約の設定は必ず行いましょう

→P.4
エコキュートの上手な使いかた
上手にお湯を沸かして使いましょう

エコキュートの性能を発揮します

「給湯」を使うときに

→P.19
混合水栓について
混合水栓（蛇口）を理解し安全に使いましょう

→P.23
チャイルドロック
リモコン操作の禁止／許可の設定をします

→P.23
お湯を使う
シャワーや混合水栓（蛇口）のお湯の温度などを確認します

安全にお湯が使えます

「ふろ」で使うときに

→P.24
浴室優先
リモコン操作の禁止／許可の設定をします

→P.25
おふろの使いかた
湯はりから入浴までの手順と機能を説明します

→P.33
便利な機能
便利にお使いいただくためにお読みください

安全・便利に使えます

日頃の操作や点検

→P.61
日付/時刻の設定
時刻が合っていないと電気代が割高になります

→P.46
凍結防止について（外気温が低いとき）
冬季は浴そうのお湯を残しておきます

→P.47
数日間お湯を使わないとき
エコキュートを休止させ、電気代を節約します

→P.15
各部の名前とはたらき
ふだん使わない貯湯ユニット周りの名前も理解する

→P.53
お手入れと点検
日常や、月に1回、半年に1回の手入れと点検

→P.48
1か月以上お湯を使用しないとき
1か月以上使用しない、汚れた水が入ったときなど

清潔・長持ちで安心です

季節の変わり目など

→P.21
一括設定
設定内容の確認をする

→P.37,45
使えるお湯の量を確認する
残りのお湯の量を確認する

→P.38,57
沸き上げ設定を確認する
お湯の沸かし過ぎ防止、湯切れ防止ができます

電気代の節約ができます

故障かなと思ったら

→P.67
お困りのときは
間違った操作がないか事前に確認しましょう

→P.65
リモコンに点検表示がでたら
リモコンに表示された点検の内容を解説します

→P.77
保証とアフターサービス
販売店や工事店または、エンジニアリングセンターへ

●メモ（機器の現象を正しく伝えましょう。）

エコキュートの上手な使いかたポイント



■上手にお湯を沸かして使う

エコキュートは、日々のお湯の使用量を自動的に学習してお湯を沸かしますが、リモコンの設定により多めに沸かすことも少なめに沸かすこともできます。ご家庭の使用状況にあわせてお湯を沸かし、上手に使い切ることが省エネのポイントです。

1

● リモコンに、「おまかせ 節約」が表示されていることを確認してください。「おまかせ節約」は少なめにお湯を沸かす沸き上げ設定です。→P.57

2

● お湯が不足しそうなときは、リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押して必要な湯量を確保してください。→P.43

（自動でお湯が不足しないようにする「湯切れ防止」を設定することもできます）→P.58

・1時間の沸き上げで、約40℃のお湯を約120L（冬季）～約240L（夏季）作ることができます。

・浴そうの湯はりの目安：約180L/回、シャワーの目安：約10L/分です。

・今日使えるお湯の量はリモコンで確認できます。→P.37 →P.45

3

● 「おまかせ 節約」でお湯が足りなくなることが頻繁にあった場合は、多めにお湯を沸かす「おまかせ 多め」に沸き上げ設定を変更してください。→P.57

・水温の変化によりタンク内のお湯の使用量が変わってきます（水温の低い冬季は、お湯の使用量が多くなります）季節に合わせて、沸き上げ設定を変更することをおすすめします。

4

● 「湯切れ防止」が設定されていると、湯はり終了後など、タンクのお湯が少なくなると自動で沸き上げを行いますが、お湯の量が十分で沸き上げを必要としない場合は、リモコンで「湯切れ防止設定」を「切」にしてください。→P.58

5

● 旅行などで不在となるときには、「使用休止予約」で沸き上げの休止を設定してください。→P.47
（1か月以上使用しない場合は、運転を止め機器や配管の水を抜いてください）→P.48

■上手に機能を使う

エコキュートには多くの機能があります。上手に使うことが省エネのポイントです。

1

●浴そうのお湯を温め直すときには、「ふろ自動」や「追いだき」よりも、「高温さし湯」の方がタンクのお湯の使用量が少なくておすすめです。リモコンで「保温時間」を0時間に設定し、「高温さし湯」を使用してください。→P.32

・浴そうのお湯は、前日の残り湯をそのまま沸かし直すと湯切れしやすくなります。新たに入れる方がおすすめです。→P.30

2

●最後にお湯を使う時間が決まっている場合、「節約設定」がおすすめです。設定した時刻以降の沸き上げを休止し、深夜時間帯に沸き上げることで、電気料金が節約できます。→P.58

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分	
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
🚫	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

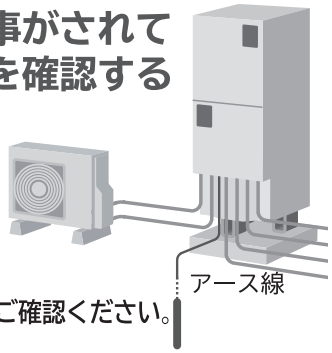
据付け後の確認

⚠警告

確認

アース工事がされていることを確認する

●故障や漏電のときに感電することがあります。
販売店または工事店にご確認ください。



確認

ヒートポンプユニットが屋内に設置されていないことを確認する

●万一、冷媒（CO2）が漏れると、酸欠により死亡または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。



⚠注意

確認

必ず、水道水（水道法に定められた水質基準に適合した飲料水）**を給水する**

●井戸水、温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。
タンクや配管の腐食、ヒートポンプユニットの熱交換器等がつまるなど故障の原因になります。
販売店または工事店にご確認ください。

⚠注意

確認

■ユニットがアンカーボルトで固定されていることを確認する

・貯湯ユニット・・・・・・・・・・・・・脚：3か所
転倒防止金具（上部）：1か所
（2階以上に設置する場合に必要です）
・ヒートポンプユニット・・・・・脚：4か所

●固定されていないと地震などにより貯湯ユニット、ヒートポンプユニットが倒れてけがをするおそれがあります。
固定されていない場合は、販売店または工事店にご依頼ください。

■防水処理・排水処理がされていることを確認する

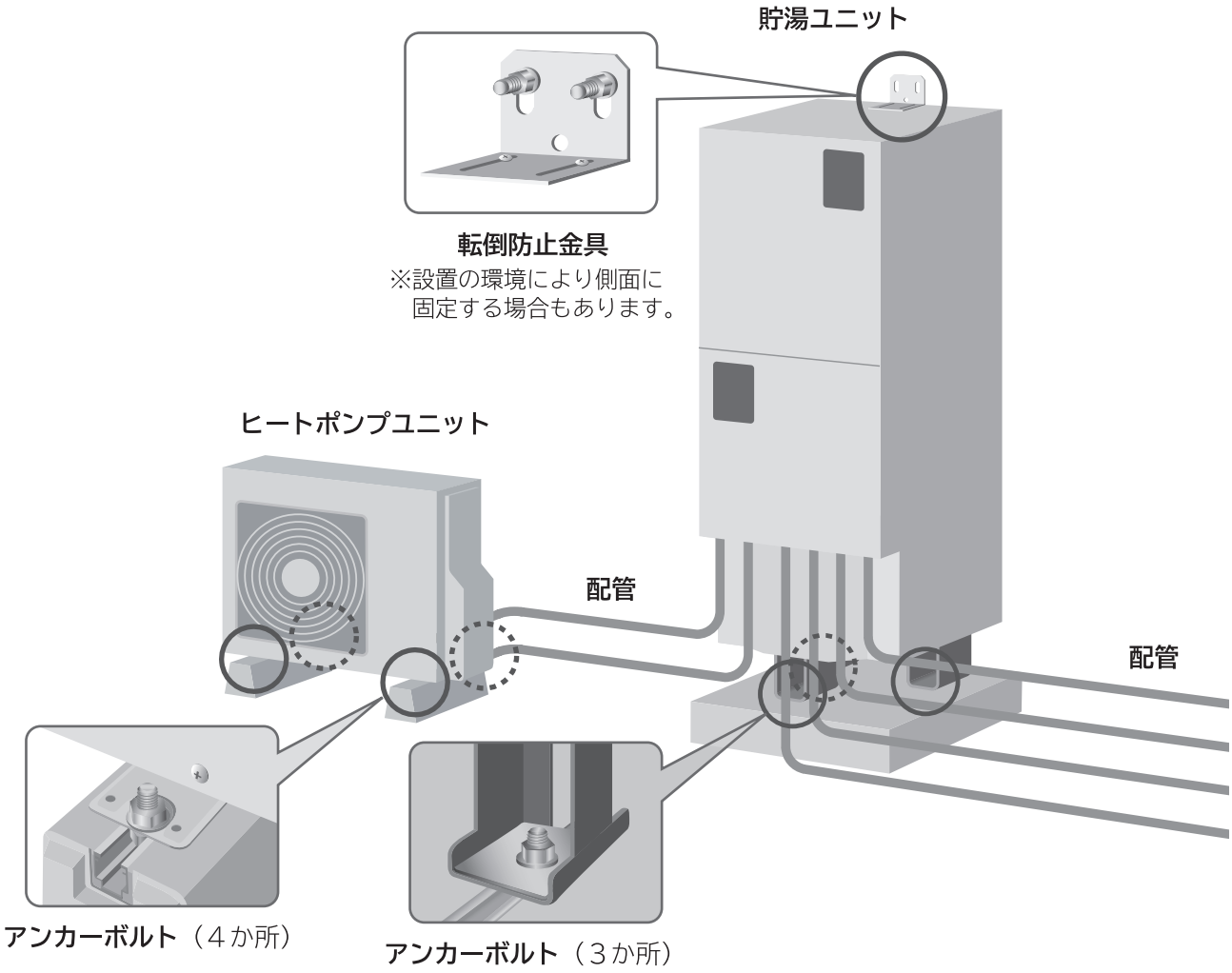
●処理されていないと、水漏れが起きたときに、階下や隣家に大きな損害をおよぼすことがあります。
販売店または工事店にご確認ください。

■太陽熱温水器のお湯が給水管に接続されていないか確認する

●接続されていると故障や誤動作の原因になります。
販売店または工事店にご確認ください。

■凍結防止対策がされていることを確認する →P.46

●凍結するとタンクや配管が 破裂し、やけどや水漏れをすること があります。



防水処理　　**排水処理**

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する
→P.53

動作確認

●月に１度、動作確認をしてください。
●故障のまま使用すると、感電することがあります。
●確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミ等が入り、漏電や感電することがあります。



逃し弁の点検をする
→P.54

点検

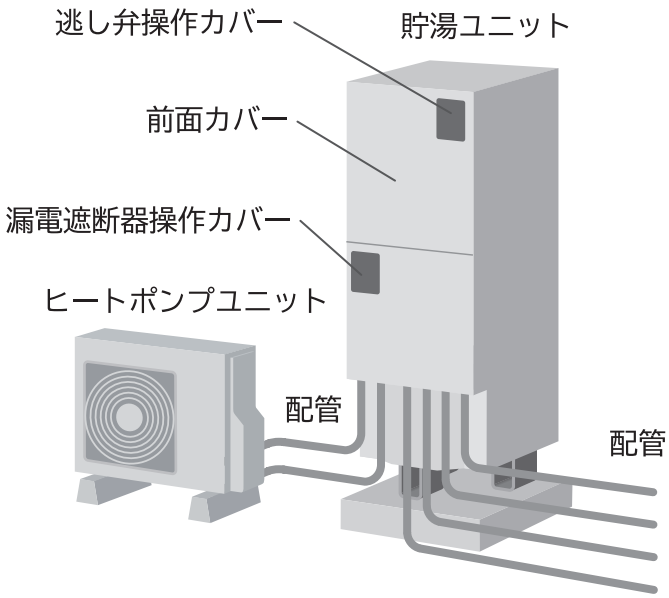
●年に２～３度、点検をしてください。
●異常のまま使いつづけると、タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。
●確認後は、操作カバーを閉じてください。開けておくとゴミ等が入り、漏電や感電することがあります。



異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に連絡する

●異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

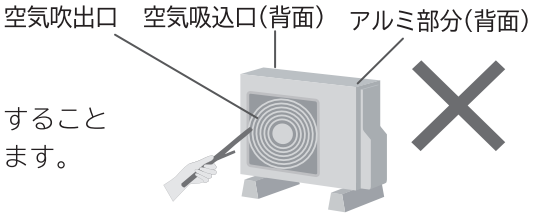




ヒートポンプユニットのアルミ部分に触ったり、空気吸込口・吹出口に手や棒を入れない

禁止

●けがをすることがあります。



熱湯や熱くなる部分に触れない
(やけどの原因になります)

やけど注意

■給湯時の混合水栓(蛇口)は熱くなっているので、ハンドルやレバー以外には手を触れない
■逃し弁点検時には、配管に手を触れない
●配管が高温になっています。
■タンクの排水時は、お湯に手を触れない
●高温のお湯が出ることがあります。
■貯湯ユニットとヒートポンプユニット間の配管には手を触れない

子供の入浴には十分注意し、子供だけにしない

やけど注意

●もぐったりしないでください。(髪の毛がふろ循環アダプターにからまったり、吸い込まれたりして危険です)
●小さい子供だけの入浴はさせないでください。
(ふろ循環アダプターから高温のお湯が出たり、混合水栓は高温になっている部分があり、やけどをすることがあります)



安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠警告

お湯の温度を確認してから使用する(やけどの原因になります)

やけど注意

■浴室でのシャワー使用時は、指先などで湯温を確かめる

●「浴室優先」の設定にして、お湯の温度を確かめます。
→P.24



●シャワー給湯には、サーモスタット付混合水栓をご使用ください。
→P.19

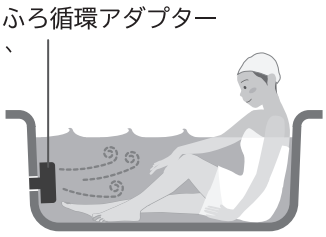
■入浴時は浴そうのお湯の温度を指先などで確かめる

■給湯温度の変更は、ほかの人がお湯を使っていないかを確認してから行う



入浴時はふろ循環アダプターに注意する

やけど注意



●「ふろ自動」、「追いだき」、「高温さし湯」のときに高温の湯が出ることがあります。
ふろ循環アダプターに近づかないでください。

●ふろ循環アダプターをふさがないでください。(貯湯ユニットの故障や配管の水漏れの原因になることがあります)

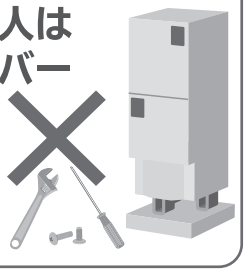
●ふろ循環アダプターのフィルターをはずして使用しないでください。(髪の毛を吸い込まれるなど事故の原因になります)

●湯はり中には入浴しないでください。(ふろ循環アダプターから高温の湯が出ることがあります)

改造しない 修理技術者以外の人は分解・修理・前面カバーを開けたりしない

分解禁止

●感電、発火や異常動作の原因になります。



ユニットの近くにガス類や引火物を置かない

禁止



●発火や火災になることがあります。

⚠注意

ユニットに乗ったり、配管に力を加えたりしない

禁止



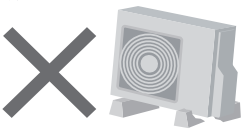
●事故・やけどの原因になります。

浴そうのお湯は口にふくまない

●不衛生ですから、おふろのお湯は口にふくまないでください。

ヒートポンプユニットの据付台が傷んだ状態で使用しない

禁止



●傷んだ状態で放置すると、ヒートポンプユニットの落下、転倒につながり、けがの原因になることがあります。

積雪時には除雪をする



●ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの周囲に積雪すると、性能低下や故障の原因になることがあります。

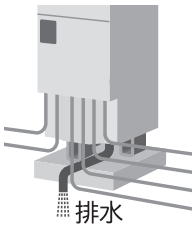
安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠注意

電源確認 1か月以上使用しないときは、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にして、貯湯ユニットとヒートポンプユニットの排水をする

→P.48

●排水しないと水質が変化することがあります。
●排水しないと貯湯ユニットや配管が凍結し、故障の原因になることがあります。
●漏電遮断器操作後は、操作カバーを閉じてください。開けておくとゴミ等が入り漏電や感電することがあります。



冬季、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする場合は貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水を排水する

→P.48

●貯湯ユニット、ヒートポンプユニットが満水のまま、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。

満水確認 貯湯ユニットを満水にしてから漏電遮断器のスイッチを「ON」にして電源を入れる

●貯湯ユニットに水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。
販売店または工事店に確認・ご依頼ください。



やけど注意 貯湯ユニットのお湯を非常用水としてご使用の場合は、熱に強い容器を使用する

→P.51

●ホースから熱いお湯が出ます。やけどに注意してください。ガラス容器などは、熱により割れる場合があります。

禁止 ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げになるものを置かない

●通風が妨げられると、性能低下や故障の原因になります。

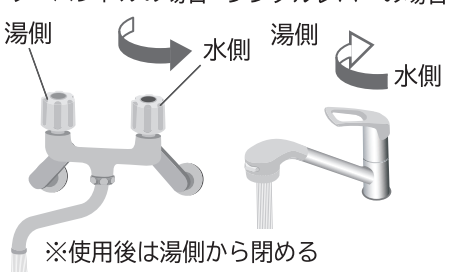


断水時は、シャワーや混合水栓（蛇口）を閉める

→P.52

●開けっぱなしにしておくと、再度送水されたときに混合水栓（蛇口）から湯（水）が出ます。

やけど注意 混合水栓は水側から開く

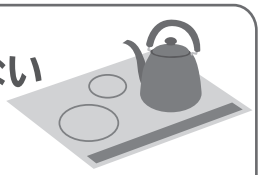


●まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。
湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があり、非常に危険です。

禁止 朝一番のお湯は、飲用したり調理に使用しない

※BHP-F56LD型の場合
●朝一番のお湯（配管内にたまった水）は、飲用や調理に使用せず、雑用水としてお使いください。
●必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに、直ちに販売店または工事店へ点検を依頼してください。

禁止 そのまま飲用しない



※BHP-F56LU型の場合
●長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてからにしてください。
●必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
●熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は雑用水としてお使いください。
●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに、直ちに販売店または工事店へ点検を依頼してください。

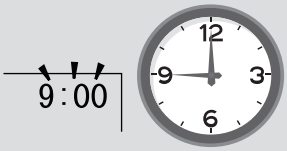
ご使用上の注意

■時間帯別電灯契約専用です

●給湯機の性能を最大限に発揮させ、経済的に運転するために、電力会社と時間帯別電灯契約をしてください。
●契約方法は電力会社または、販売店または工事店までご相談ください。 →P.56

■リモコンの時刻を確認する

●月に１度はリモコンの時刻を確認、修正してください。 →P.61



●現在時刻とずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

■落雷により製品が誤動作する場合

●漏電遮断器のスイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に点検または修理を依頼してください。（有償）

■入浴剤を使うときのご注意

●イオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤は使用しないでください。
●入浴剤の注意書きをよく読んでご使用ください。また、温泉のお湯は使用しないでください。
※タンクや配管が故障し、水漏れすることがあります。

■湯はり中の給湯

●湯はり中にシャワーや混合水栓（蛇口）を使用しますと、シャワーや混合水栓（蛇口）の湯温や流量がばらつく場合があります。
●湯はり中にシャワーや混合水栓（蛇口）を使用しますと、湯はり時間が長くなることがあります。

■給湯温度がばらつく場合があります

●水道の圧力が変動したり、給湯流量を変更した場合、給湯温度がばらつく場合があります。

■深夜時間帯のご使用について



●この給湯機は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。
深夜時間帯にお湯を多く使うと、昼間に沸き上げを行い電気料金が高くなる場合があります。
●深夜時間帯は、地域や契約内容によって異なります。 →P.56

■停電時のご注意 →P.52

●停電時は、「給湯」「ふろ」機能とも使用できません。

■給湯・湯はり中は運転音がします

●湯はり中は、ポンプ運転音がします。
●給湯中はポンプ運転音がします。
（BHP-F56LD 型の場合）

■お湯を上手に使う

●１日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯の使い過ぎに注意してください。
●お湯は流しっぱなしにせず、こまめに止めましょう。
・シャワーは止めながら
（髪を洗っているときは止めましょう）
・洗いものをするときも止めながら

■湯はりをするときのお願い →P.27

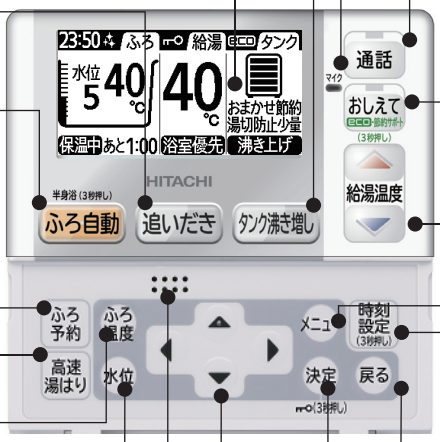
●湯はりをするときは
・浴そうの排水栓を閉める。
・浴そうにふたをする。
※残り湯があっても湯はりできます。「ふろ自動予約」をするときも同様です。
●高速湯はりをするときは、お湯があふれる場合がありますので残り湯からの湯はりはしないでください。

■外気温が低いときは・・・・ →P.46

●ふろ配管が凍結することがありますので、浴そうのお湯は抜かないでください。

各部の名前とはたらき（リモコン）

台所リモコン（サブリモコン）



タンク沸き増しボタン
タンクにお湯を沸き増します。
➔P.43

追いだきボタン
タンクのお湯の熱で、浴そうのお湯の温度を高くします。 ➔P.29

ふろ自動ボタン
通常・・・・浴そうに湯はりします。
３秒押し・・半身浴用に湯はりします。
➔P.27 ➔P.33

ふろ予約ボタン
浴そうの湯はり完了時刻を予約します。
➔P.34

高速湯はりボタン
高速湯はりを設定します。 ➔P.26

ふろ温度ボタン
浴そうの湯はり温度を設定します。➔P.26

水位ボタン
浴そうの湯はり水位を設定します。➔P.26

スピーカー

▲ ▼ボタン
メニュー選択や時間、時刻などを設定します。

表示画面

マイク

通話ボタン ➔P.41
ふろリモコンと通話します。
（サブリモコンにはありません）

おしえてボタン
通常：設定の内容などをお知らせします。 ➔P.17
３秒押し：〔eco〕・節約サポートメニューを設定します。 ➔P.35

給湯温度　▲ ▼ボタン
給湯温度を設定します。➔P.23

メニューボタン
沸き上げ設定などを設定します。
➔P.13

時刻設定
通常：正時（00分）を設定します。
３秒押し：時刻を設定します。
➔P.62

戻るボタン
１つ前の表示画面に戻します。

決定ボタン
通常・・メニューの選択や各種設定を確定します。
３秒押し ・・ ふろリモコンのボタン操作をできないようにします。（チャイルドロック）

ふろリモコン

リモコン切/入ボタン
ふろリモコンの表示画面の「切」「入」をします。
「切」・・●表示画面を消します。（給湯温度が50℃以上設定のときは、安全のため消しません。）
●運転中のボタンランプを消灯します。（運転は継続します。）
●ボタン操作できなくなります。
「入」・・表示画面を点灯します。

浴室優先ボタン
台所リモコンの給湯温度（▲ ▼）ボタン操作をできないようにします。 ➔P.24

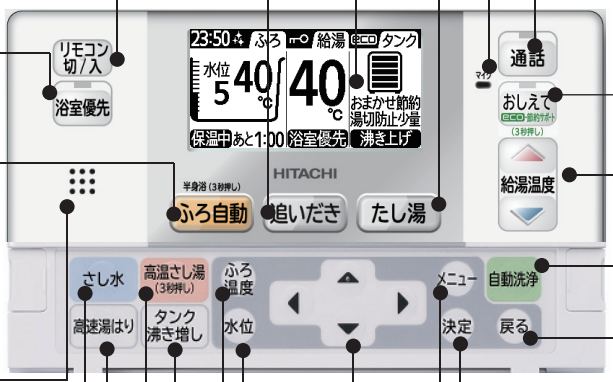
ふろ自動ボタン
通常・・・・浴そうに湯はりします。 ➔P.27
３秒押し・・半身浴用に湯はりします。 ➔P.33

スピーカー

さし水ボタン
水を足して、浴そうのお湯の温度を低くします。➔P.31

高速湯はりボタン
高速湯はりを設定します。➔P.26

高温さし湯ボタン
約60℃のお湯を足して、浴そうの温度を高くします。 ➔P.32



追いだきボタン
タンクのお湯の熱で、浴そうのお湯の温度を高くします。 ➔P.29

たし湯ボタン
浴そうのお湯にふろ温度のお湯を足してお湯の量を増やします。➔P.30

表示画面

マイク

通話ボタン ➔P.41
台所リモコンと通話します。

おしえてボタン
通常：設定の内容などをお知らせします。 ➔P.17
３秒押し：〔eco〕・節約サポートメニューを設定します。 ➔P.35

給湯温度　▲ ▼ボタン
給湯温度を設定します。
➔P.23

自動洗浄ボタン
自動洗浄を設定します。

戻るボタン
１つ前の表示画面に戻します。

決定ボタン
メニューの選択や各種設定を確定します。

メニューボタン
沸き上げ設定などを設定します。 ➔P.13

▲ ▼ボタン
メニューの選択や時間、時刻を設定します。

水位ボタン ➔P.26
浴そうの湯はり水位を設定します。

ふろ温度ボタン ➔P.26
浴そうの湯はり温度を設定します。

タンク沸き増しボタン ➔P.43
タンクにお湯を沸き増します。

表示画面

●表示は標準画面例です。設定や運転状況により、表示内容は異なります。●台所リモコン、ふろリモコンの表示画面は同じです。



時刻表示
現在時刻を表示します。➔P.61

ふろ設定表示
浴そう湯はりの設定値や状態を表示します。
●運転状態表示
●湯はり温度の設定値を表示します。
●湯はり水位の設定値を表示します。

ふろ機能運転表示
ふろ機能の運転状態を表示します。
●ふろ自動（湯はり中）・・湯はり
●ふろ自動（保温中）・・・保温中
●高速湯はり設定中・・・・高速
●高速湯はり中・・・・・・高速 湯はり
●追いだき中（ボタン点灯）・・追いだき
●たし湯中（ボタン点灯）・・・たし湯
●高温さし湯中・・・・・・高温さし湯
●さし水中・・・・・・・・さし水
●半身浴湯はり中・・・・・半身浴
●ふろ予約中・・・・・・・ふろ予約
●凍結防止運転中・・・・・凍結防止

➔P.26 ➔P.27 ➔P.28 ➔P.29 ➔P.30
➔P.31 ➔P.32 ➔P.33 ➔P.34 ➔P.46

自動洗浄設定表示 ➔P.26
自動洗浄設定時に表示します。

チャイルドロック表示 ➔P.23
チャイルドロック設定時に表示します。

〔eco〕表示 ➔P.35
〔eco省エネ保温〕「入」時に表示します。

給湯温度表示 ➔P.23
台所、洗面所、シャワーなどの給湯温度の設定値を表示します。

残湯量表示 ➔P.14
タンク内のお湯（約45℃以上）の量を表示します。
お湯がなくなると表示が消えます。

沸き上げ設定表示 ➔P.57
沸き上げ設定内容を表示します。

湯切れ防止設定表示 ➔P.58
湯切れ防止の設定内容を表示します。

沸き上げ運転表示
タンクのお湯を沸き上げている時に表示します。

浴室優先表示 ➔P.24
浴室優先設定時に表示します。

■表示画面が見にくいとき（コントラストレベル設定）

●リモコンの画面は、見やすいようにコントラストを設定してありますが、リモコンを設置する場所の温度によって薄くなったり、濃くなったりします。薄すぎたり濃すぎたりする場合や、縦線が入っている場合などは、コントラストレベルを設定しなおしてください。

●台所リモコン、ふろリモコン画面それぞれ設定できますので、リモコンの画面を見ながら設定してください。

1 戻る を画面が変わるまで押しつづける。



2 ▲ ▼ を押し、見やすいレベルを設定する

●設定が終わったら、
決定 を押し、決定する
●標準画面に戻ります。



●コントラストは 16 段階で設定できます。
▲ を押すと濃くなります。
▼ を押すと薄くなります。

お知らせ
●表示画面のバックライトは、約３０秒以上ボタン操作をしないと自動的に消灯します。再度ボタンを押すと再点灯します。
●時刻表示の「：」はバックライト点灯時は１秒に合わせて点滅していますが、バックライト消灯時は点灯に変わります。

メニュー内容

リモコンのメニューの内容（台所／ふろリモコン共通）

メニュー項目	設定項目	概要	頁
ふろ設定	①保温時間設定	湯はり完了後、自動で行う保温運転の運転時間を設定します。	→P.59
	②保温機能設定	上記の保温設定を「温度と水位」または、「温度のみ」にするかを設定します。	
	③ふろ予約設定	湯はり完了時刻を予約します。	→P.34
	④循環洗浄実行	ふろ配管の洗浄運転を行います。	→P.55
タンク設定	①沸き上げ設定	沸き上げるお湯の量を設定します。	→P.57
	②湯切れ防止／節約設定	湯切れ防止：タンクのお湯が不足しないように自動で沸き上げる設定です。沸き上げを「する」「しない」と「する」場合の沸き上げ量を設定します。 節約設定　：湯切れ防止を運転させない時間帯を設定します。	→P.58
	③使用休止予約設定	給湯機の使用を休止する期間を予約します。	→P.47
	④残湯量確認／使用実績	残湯量確認：今日、あとどれくらいお湯が使えるかの目安を表示します。 使用実績　：昨日までの 7 日間のお湯の使用実績の変化を表示します。	→P.45
リモコン設定	①音声ガイド設定	音声ガイドの内容、または音声ガイドなしを選択します。	→P.60
	②ガイド・ブザー音量設定	音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	
	③通話機能設定	通話の方式や音量を設定します。	→P.63
	④日付／時刻設定	現在日付、現在時刻を設定します。	→P.61
その他設定	①電力契約設定	電力契約の契約番号を設定します。	→P.56
	②一括設定	給湯機を使用するにあたって必要な設定項目を一括設定します。	→P.21
	③工場出荷時設定	各設定を工場出荷時の初期状態に戻します。	→P.64
	④HP エア抜き	ヒートポンプユニットのエア抜き運転をします。	→P.50

〔eco〕・節約サポートメニューの内容（台所／ふろリモコン共通）

おしえてボタンを画面が変わるまで押し続けると、〔eco〕・節約サポートメニューが表示されます。

メニュー項目	設定項目	概要	頁
〔eco〕・節約サポートメニュー	①eco 省エネ保温	湯はり完了後、自動で保温運転の湯温検知間隔を、浴そうの保温性能を学習して最適化し、省エネします。	
	②入浴検知追いだき	湯はり完了後、浴そうに人が入ったことを検知し、自動でふろの追いだきを行います。	→P.35
	③沸き増し節約	昨日までの 7 日間のお湯の使用量を学習し、タンクのお湯が深夜時間帯まで足りると判断した場合、湯切れ防止による沸き上げをしないで省エネします。	→P.36
	④お好み量沸き増し	タンク沸き増しボタンによる沸き増し量を、必要な分だけにして省エネします。	
	⑤使用湯量目安 / 残湯量目安	いつもに比べてお湯を使いすぎていないか、いつものペースでお湯を使うと不足しないかを調べることができます。	→P.37
	⑥おすすめ設定	「沸き上げ設定」がお湯の使いかたにあった設定になっているかを確認するための機能です。	→P.38
	⑦シャワーアラーム	シャワー (浴室) や蛇口 (台所) などでお湯を使用したときに、あらかじめ設定した連続使用時間を超えると、3 段階のアラームでお知らせする機能です。	→P.39
	⑧上手な使いかた	上手な使いかたが、リモコン画面で確認できます。	→P.38

残湯量の見かた

残湯量の見かた

■残湯量表示は…

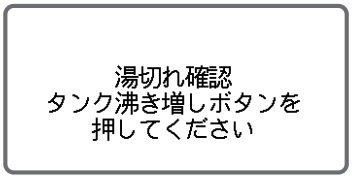
●タンク内のお湯の量の目安を 5 段階の目盛で表示します。
●目盛は、お湯を使わなくても、追いだきや自然放熱などで少なくなる場合があります。

残湯量表示



■湯切れ注意

●目盛が少なくなると「湯切れ確認」が、約 10 秒間表示されます。
表示中は、インターホンが使用できません。
その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。→P.43



目盛が少なくなると約 10 秒間表示

■使えるお湯の量

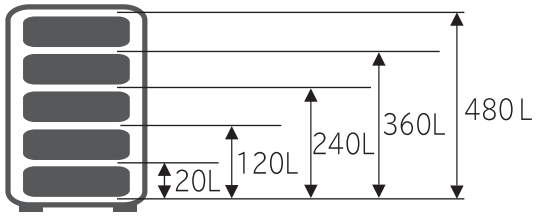
●タンクには常温（水）から最高 90℃のお湯があり、そのお湯と水道水を混合させるので、実際にご使用になれるお湯の量と目盛表示には差があります。給湯設定温度に換算した場合の湯量も確認できます。→P.37 →P.45

■残湯量目盛の目安

○＝使用できます。 ×＝使用できません。

リモコンの表示	残湯量の目安	使用の目安		「湯切れ防止・少量」を設定していると
		給湯、シャワー	湯はり、追いだき	
	満タン	○	○	目盛が表示されていてもタンク内のお湯の温度状況により「沸き上げ」を開始する場合があります。
	360L 以上	○	○	
	240L 以上	○	○	
	120L 以上	○	×	
	120L 未満	○	×	
点滅	20L 未満	×	×	
	0L	×	×	

●目盛とタンク内の湯量目安



●形式とタンク容量

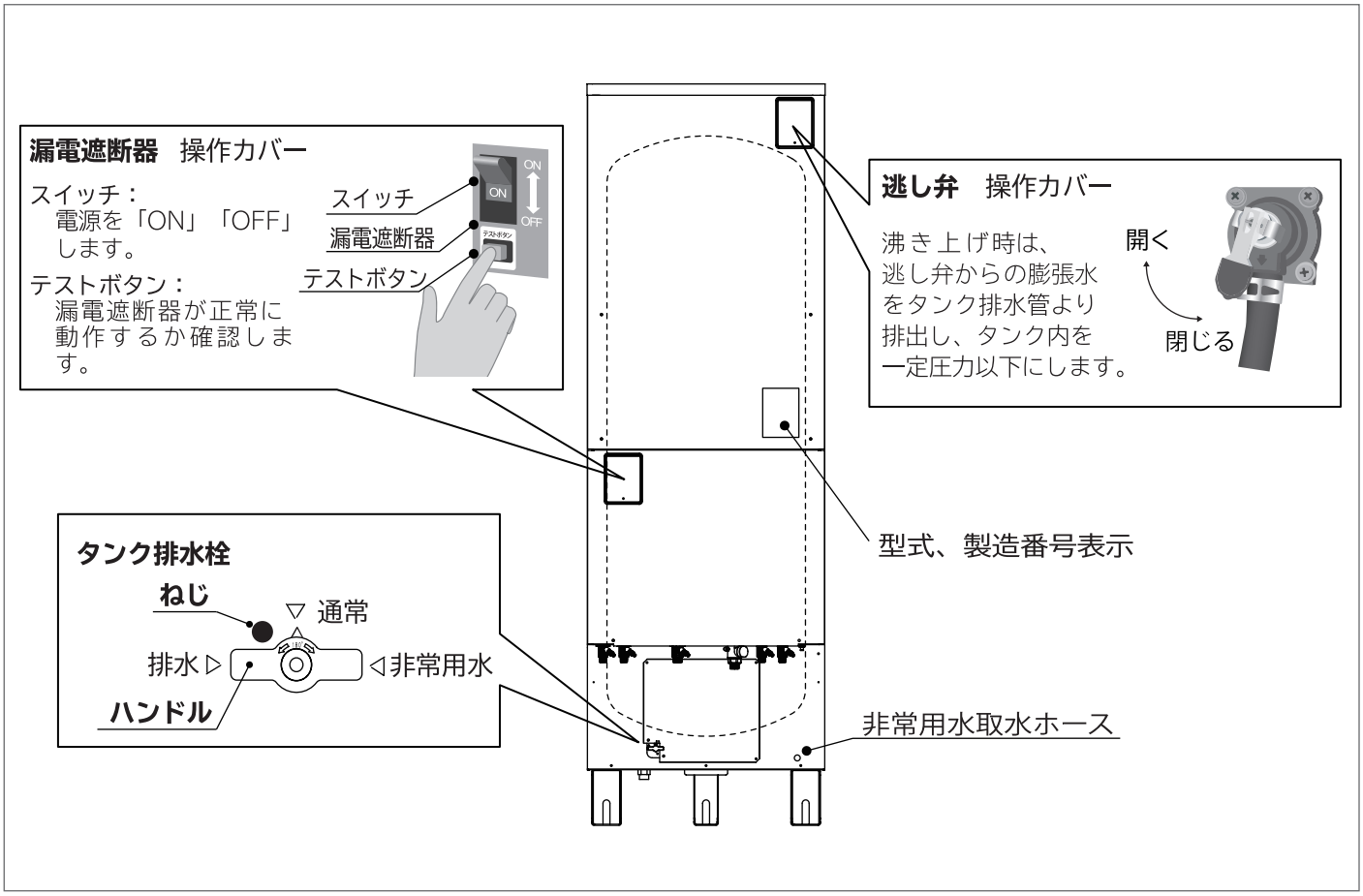
形式	タンク容量
BHP-F56LD	560L
BHP-F56LU	560L

お知らせ

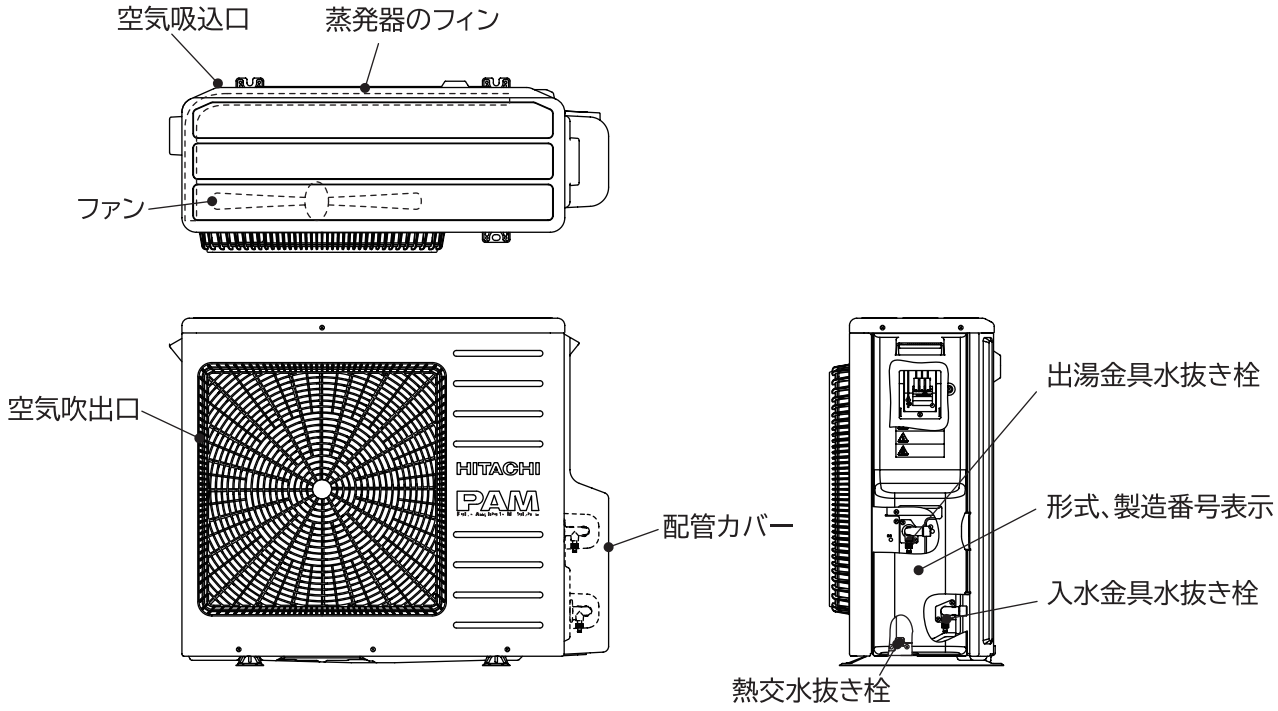
●目盛が全て表示されている場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き上げ」する場合があります。
●目盛は約 45℃以上のお湯の量を表示しています。
目盛が出ていても給湯温度の設定が高い（たとえば 48℃）場合は、その設定より低い温度（たとえば 46℃）のお湯が出ます。
●7 時～ 23 時で目盛が 1 目盛点灯から点滅に変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。→P.43
●深夜時間帯の沸き上げ運転中にお湯を使用した場合、満タンまで沸き上げができない場合がありますが、異常ではありません。

ユニット本体

貯湯ユニット

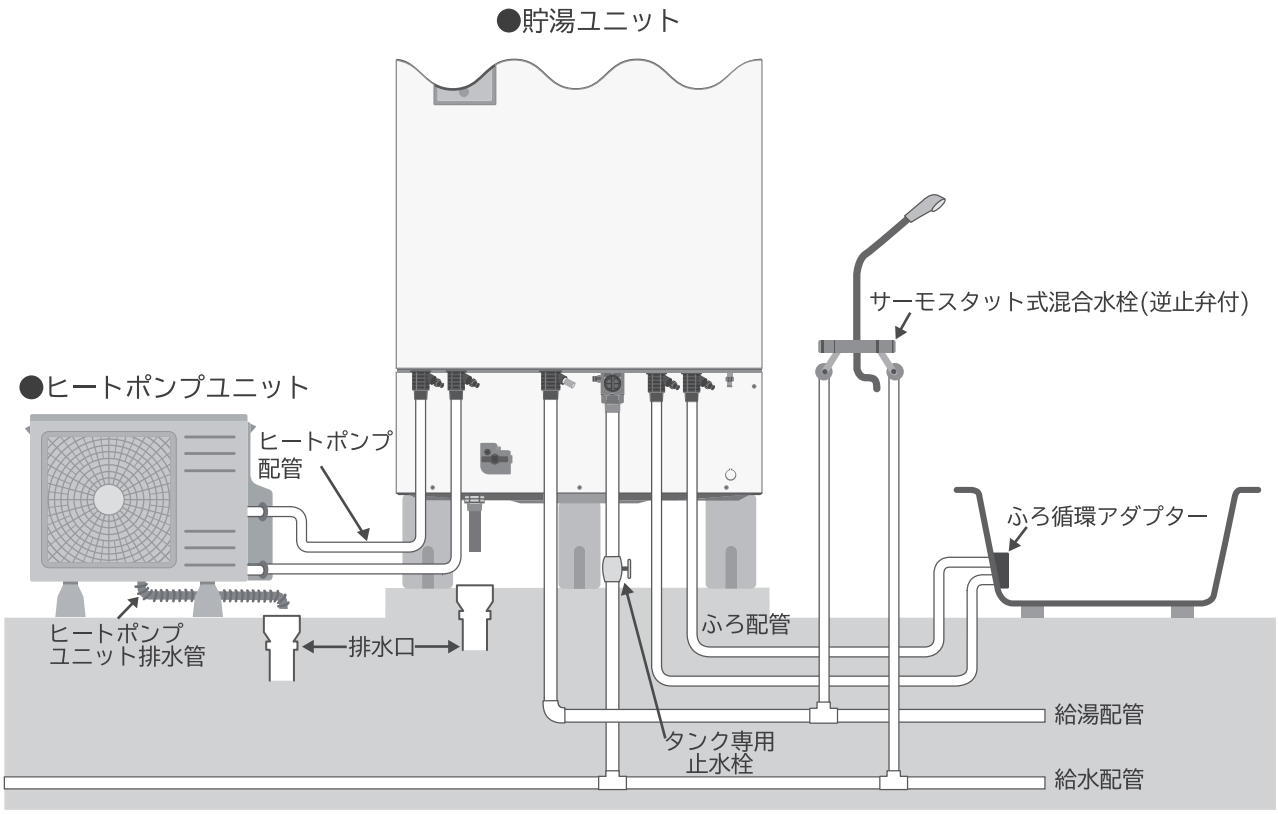


ヒートポンプユニット



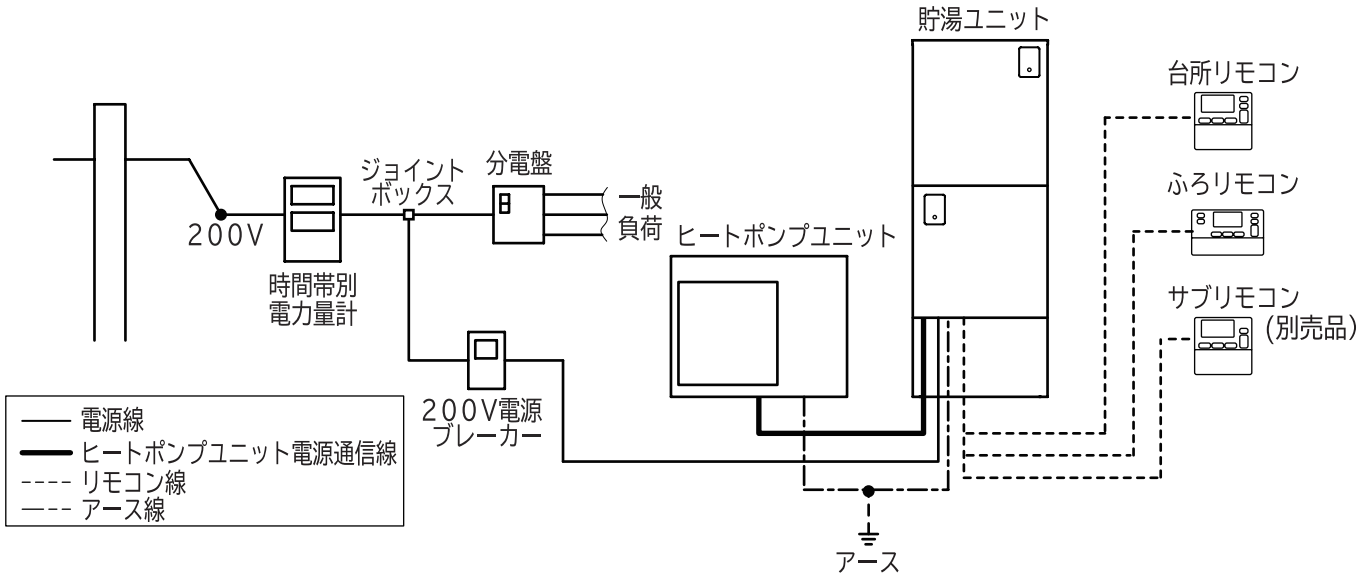
配管／配線

システム全体の配管例



※タンク専用止水栓は、工事業者によって取り付けられますので、取り付け位置や形状はお客さまごとに異なります。
確認できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

配線例（時間帯別電灯契約専用）



リモコンの基本操作（ボタン操作とメニュー操作）

●台所リモコン（サブリモコン）とふろリモコンの基本的な操作方法は同じです。
●この取扱説明書で、ボタンを指し示す場合はそのボタンのイラストで説明します。

台所リモコン（サブリモコン）



ふろリモコン



■「おしえて」ボタン

■「標準画面」で「おしえて」ボタンのランプが消灯しているときに、「おしえて」ボタンを押すと、現在の設定内容と給湯機の動作状態を音声でお知らせします。

●お知らせ内容

設定内容：給湯温度、ふろ温度、ふろ水位、ふろ保温時間、沸き上げ設定、湯切れ防止設定の設定内容をお知らせします。

リモコンの状態：「浴室優先」「チャイルドロック」が有効なときにお知らせします。

おふろの運転内容の状態：「お湯はり」、「保温」、「さし水」、「たし湯」、「循環洗浄」をしているときにお知らせします。

■リモコンボタン操作中、「おしえて」ボタンのランプが点灯しているときに、「おしえて」ボタンを押すと、操作方法などをお知らせします。 操作方法など使いかたがわからないときにお役立てください。

■ボタン操作

■リモコンのボタンには、機能を運転するためのボタンと、機能を設定するためのボタン、およびメニュー項目を設定するためのボタンがあります。

●機能を運転するボタン

ふろ自動　追いだき　タンク沸き増し　たし湯　タンク沸き増し　さし水　高温さし湯（3秒押し）

１回押すと運転され、運転中にもう一度押すと停止します。
例えば、「追いだき」を押すと、追いだきが始まり、自動で終了します。追いだき中にもう一度押すと追いだきを停止します。

●機能を設定するボタン

ふろ予約　高速湯はり　ふろ温度　水位　時刻設定（3秒押し）　自動洗浄　浴室優先

１回押すと設定画面に切り替わり、設定操作が行えます。「決定」を押すと終了します。

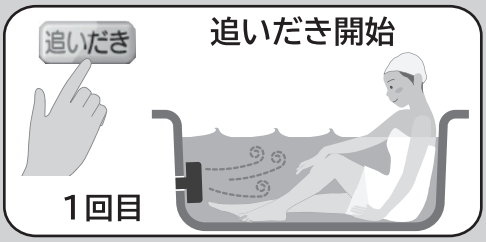
「高速湯はり」「自動洗浄」「浴室優先」ボタンは、押すと設定され、もう一度押すと設定が取り消されます。

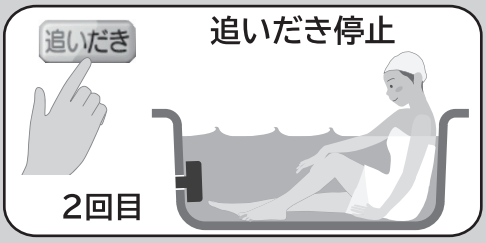
●メニュー項目を設定するボタン

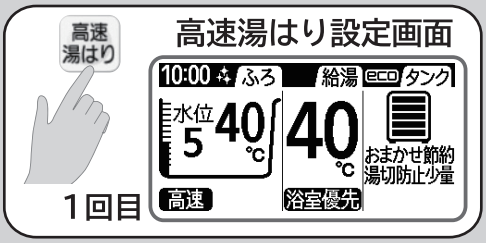
メニュー　決定　戻る

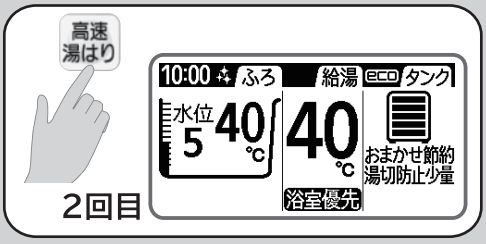


メニューを表示させ、メニュー項目の選択から機能の設定をします。







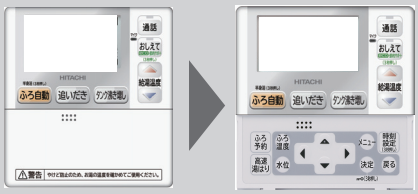


■メニュー操作

■機能の運転や設定を行うには、ボタン操作のほかにメニュー一覧から選択する方法があります。
「ガイド・ブザー音量設定」を例に説明します。

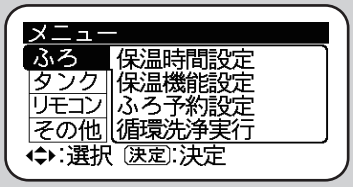
扉を開く

リモコンの扉を開きます。
扉の左右にある切りかきに指を添え、手前に引きながら下方に開きます。



メニュー

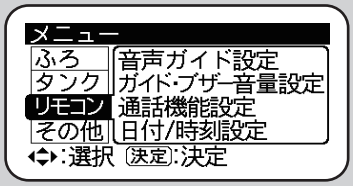
「メニュー」を押し、メニュー画面を表示させます。



これ以降、
この取扱説明書では、メニューを表示させる手順を
扉を開く メニュー
マークで説明します。

1 扉内の ▲ ▼ で「リモコン」を選択し、決定 を押す。

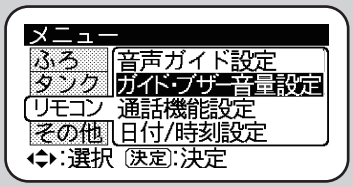
●反転表示が右側に移動します。



決定 の代わりに、▶ を押しても、反転表示が右側に移動します。

2 ▲ ▼ で、「ガイド・ブザー音量設定」を選択し、決定 を押す。

●ガイド・ブザー音量の設定画面になります。



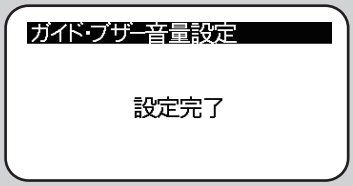
戻る または、◀ ボタンを押すと、反転表示を左側に戻すことができます

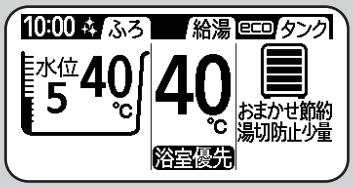
3 ▲ ▼ で、「音量」を合わせ、決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。
●3秒後に自動で「標準画面」に戻ります。



戻る を押すと、メニュー一覧の画面に戻ることができます

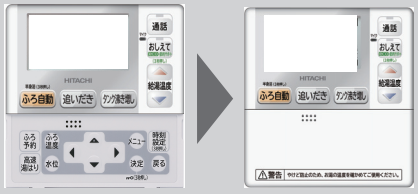




「標準画面」

メニュー を押すと、3秒待たずに「標準画面」に戻ります。
ただし、操作途中で メニュー を押すと、設定を中止して「標準画面」に戻ります。

4 扉を閉めます。



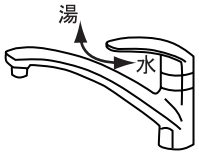
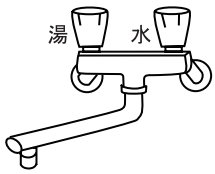
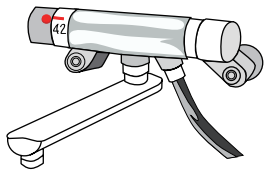
ご注意

扉を開閉するときは、リモコン本体と扉の隙間に指を挟まないようにご注意ください。特に小さいお子様には十分ご注意ください。

混合水栓（蛇口）について

■混合水栓（蛇口）の種類

●給湯機を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合水栓（蛇口）も大切な役割があります。
ご家庭で一般的にお使いになる混合水栓には下表のような種類があります。特徴をよく理解し安全に使用してください。

	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観			
概要	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して流量を調節します。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や流量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

●シングルレバーの混合水栓は、出湯、停止、温度や流量の調節が簡単にできるので、台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。

●サーモスタット付混合水栓は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用されています。サーモスタット付混合水栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。シャワーはお湯を直接、からだや頭にかけますので、誤って熱い湯が出ると大変危険です。サーモスタット付混合水栓をご使用ください。

お知らせ

サーモスタット付混合水栓を使用する場合は、リモコンの給湯温度を混合水栓の設定温度より約 10℃高くしてください。低いと混合水栓で設定した湯温にならないことがあります。

■混合水栓（蛇口）の上手な使い方

レバー、ハンドルの開閉は水側からゆっくりと

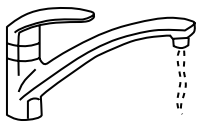
●ほかの場所で給湯温度を変更している場合もあります。混合水栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。

●給湯中に設定温度を変えたり、給湯量（混合水栓の開き具合）を変えたときや、一旦給湯を止めたあと短時間の内に再度使用する場合、設定温度のお湯になるまでにしばらく時間がかかります。

適度な流量で使用する

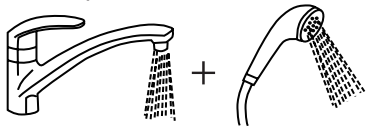
●流量が少ないと

流量が極端に少ないと、温度が不安定になったり水が出たりします。



●流量が多いと

一度に大量にお湯を出したり、シャワーと台所などを同時に使用すると、温度が低くなることがあります。
その場合は混合水栓を少し閉めてください。



⚠警告

給湯時は混合水栓のレバーやハンドル以外に手をふれない

やけど注意

●高温の湯の使用時および使用直後は混合水栓が熱くなっています。
やけどにご注意ください。

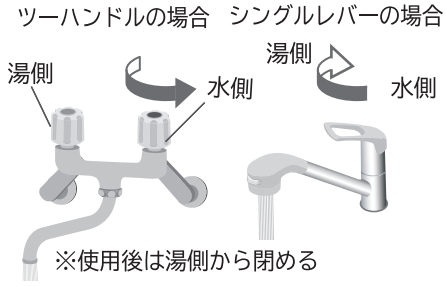


⚠注意

混合水栓は水側から開く

やけど注意

●まず水側を開いてから湯側を徐々に開いて適温にしてください。
湯側だけ開くと、高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があり、非常に危険です。



はじめてお使いのときの確認

1 使用できる状態かを確認します。

1. 貯湯ユニットのタンク専用止水栓は「開」になっていますか？ →P.16
2. 200V電源ブレーカーのスイッチは「ON」になっていますか？ →P.16
3. 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチは「ON」になっていますか？ →P.15

2 台所リモコンの表示画面はバックライトが点灯していますか？

- ●点灯していないときは 給湯温度 ボタンを押してみてください。
- ●それでも点灯しない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。
- ●表示画面が見にくい場合は、コントラスト設定をしてください。 →P.12

3 時刻は現在時刻と合っていますか？

- ●合っていなければ「一括設定」で時刻のほか、必要項目のすべてを確認・設定してください。 →P.21
- ●「一括設定」ができたら 4 に進みます。

4 残湯量目盛を確認します。

- ●目盛が  より多い場合は、お湯を使うことができます。 ※残湯量の見かた。 →P.14
- ●目盛が  ような場合は、次の確認をしてください。

A 「沸き増し」が表示されている場合

- ●  が表示されるまでお待ちください。（約60分～120分）

B 「沸き増し」が表示されていない場合

- ● タンク沸き増し ボタンを押す。

 が表示されたらお湯を使うことができます。

※残湯量の見かた。 →P.14

お願い

- ●タンク専用止水栓が「閉」になっている場合や、スイッチが「OFF」になっている場合は、お買い上げの販売店または工事店に「スイッチを「ON」にすれば使用できるか」「タンク専用止水栓を「開」にすれば使用できるか」をお問い合わせいただき、使用できることを確認してください。
- ●使用できない場合は、お買い上げの販売店または工事店に作業をご依頼ください。
※作業は有償になることがあります。

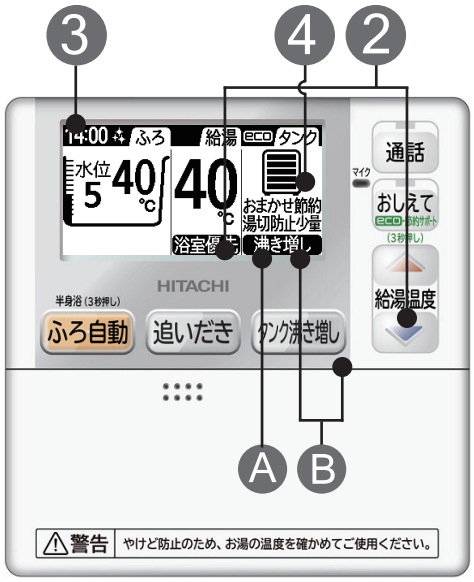
表示画面について

各リモコンは、約30秒以上ボタン操作をしないと自動的にバックライトが消えます。再度ボタンを押すことで、バックライトが再点灯します。

ご注意 時刻表示について

時刻が現在時刻と合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。確認をお願いします。

台所リモコン



音声ガイドについて

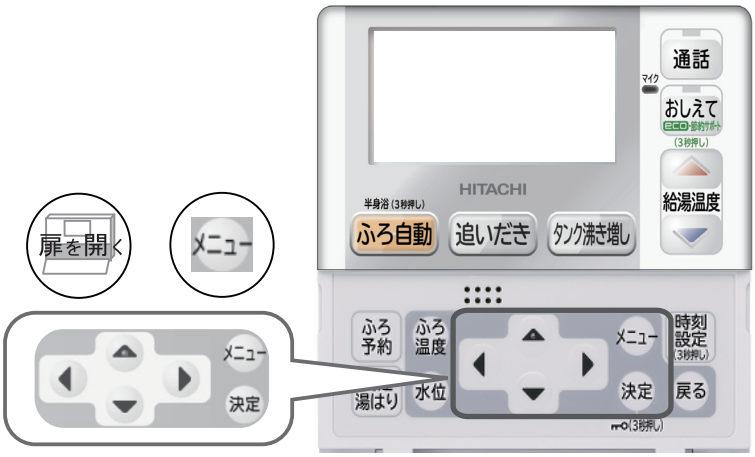
音声ガイドは、「しんせつ」「標準」「切」の３つのモードがあり、モードにより音声ガイドの内容が異なります。
本説明書は「しんせつ」モードで説明しています。 →P.60

一括設定

■現在時刻・日付、電力契約の種類など、お使いはじめに必要な設定を一括で設定します。

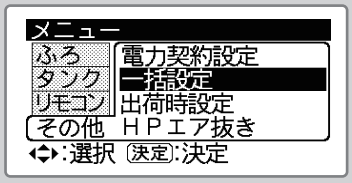
●台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンどちらでも設定できます。
●このページでは、「一括設定」で行う各設定の流れを説明します。各設定の詳細説明は、それぞれの説明ページをご覧ください。
●設定項目
①電力契約設定　②沸き上げ設定
③湯切れ防止設定　④節約設定
⑤ふろ保温時間　⑥音声ガイド
⑦ガイド・ブザー音量　⑧日付設定
⑨時刻設定
●その他の設定について
給湯温度やふろ温度の設定は、給湯機をお使いになりながら、適切な設定を行ってください。

台所リモコン・ふろリモコン



で、「その他」「一括設定」を選択し、決定 を押す。

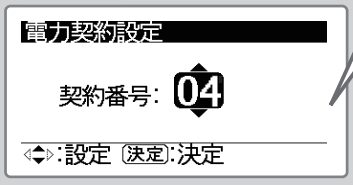
●「電力契約設定」の入力画面になります。



1 で、「契約番号」を設定し、決定 を押す。

●「沸き上げ設定」の入力画面になります。

→P.56

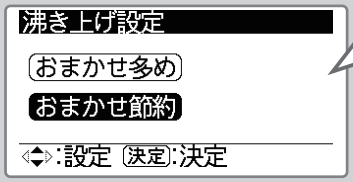


●電力会社との契約内容に合った番号を設定してください。正しく設定されていない場合電力料金が割高になる場合があります。設定する番号は、日立固有の番号です。

2 で、「沸き上げ」モードを選択し、決定 を押す。

●「湯切れ防止」の入力画面になります。

→P.57

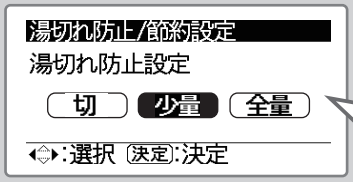


●タンクに沸き上げるお湯の設定です。
●お使いはじめは「おまかせ節約」に設定し、しばらくの間ご使用ください。昨日までの7日間の使用量を学習しながら、適切なお湯の量を自動で沸き上げます。頻繁にお湯が不足する場合は「おまかせ多め」に変更してください。

3 で、「沸き上げ量」を選択し、決定 を押す。

●「切」を選択した場合は、「ふろ保温時間」の入力画面になります。
●「少量」または「全量」を選択した場合は、「節約設定」の入力画面になります。

→P.58

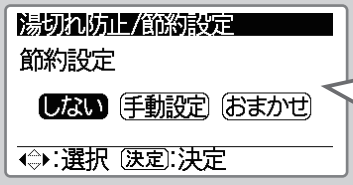


●お湯が少なくなった場合に昼間沸き上げるお湯の量を設定します。
●使用状況により「沸き上げ設定」とあわせて設定内容を見直してください。

4 で、「節約設定」を選択し、決定 を押す。

●「しない」または「おまかせ」を選択した場合は、「ふろ保温時間」の入力画面になります。
●「手動設定」を設定した場合は、「時刻入力画面」になります。

→P.58

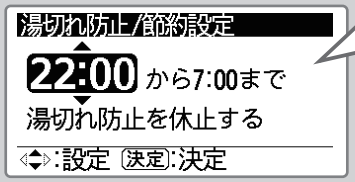


●お湯を最後に使う時間が決まっている場合は、節約のため「手動設定」または「おまかせ」を設定します。決まっていない場合は「しない」を設定してください。

5 ▲▼で、「時刻」を設定し、決定を押す。

●「ふろ保温時間」の入力画面になります。

→P.58

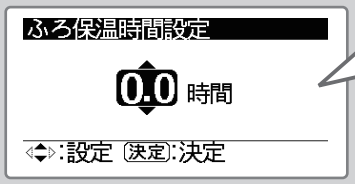


●設定した時刻から湯切れ防止運転を休止します。お湯を最後に使用する時刻を設定してください。

6 ▲▼で、「時間」を設定し、決定を押す。

●「音声ガイド」の入力画面になります。

→P.59



●湯はり終了後の保温運転時間です。節約のため、入浴が終わっても保温していることが無いよう、適切な時間を設定してください。
●保温する必要がない場合は、0時間に設定してください。

7 ◀▶で、「音声ガイド」を選択し、決定を押す。

●「ガイド・ブザー音量」の入力画面になります。

→P.60



●「しんせつ」に設定すると、給湯機の動作状態やリモコンの操作方法をお知らせします。
●お使いはじめは「しんせつ」に設定していただくと便利です。

8 ▲▼で、「ガイド・ブザー音量」を設定し、決定を押す。

●「日付設定」の入力画面になります。

→P.60



●設定した音量で「音量○○です」とお知らせしますので、聞き取りやすい音量に設定してください。

9 ◀▶で、「年」「月」「日」を選択 ▲▼で、それぞれを設定し、決定を押す。

●「時刻設定」の入力画面になります。

→P.61



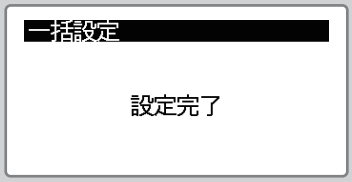
●今日の年月日を設定してください。

10 ◀▶で、「時」「分」を選択 ▲▼で、それぞれを設定し、決定を押す。

●「設定完了」画面が表示されます。
●自動で「標準画面」に戻ります。

→P.61





お知らせ

●給湯温度やふろ温度の設定は、給湯機をお使いになりながら、適切な設定を行ってください。

「給湯」を使う

■台所・洗面所の混合水栓（蛇口）でお湯を使う

1 「給湯温度」表示を確認する。

●適温であれば、4 に進みます。

●温度を変更する場合は、2 へ進みます。

2 「浴室優先」表示を確認する。

●「浴室優先」が表示されていなければ変更できます。 3 に進みます。

●「浴室優先」が表示されている場合は、ふろリモコンの「浴室優先」ボタンを押して表示を消します。 →P.24

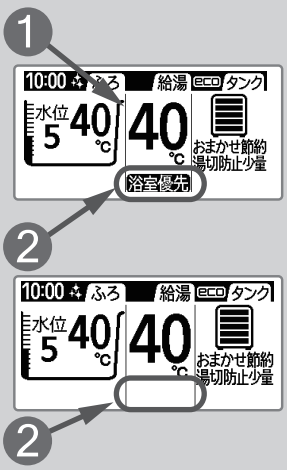
3 給湯温度 を押し、適切な温度に設定する。

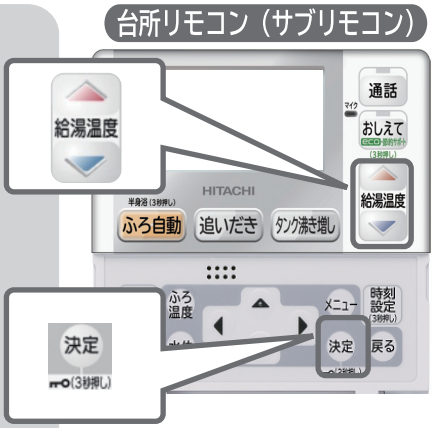
●温度表示は、下に示したように設定できます。

低温	35℃‥‥48℃	50℃	55℃	60℃
（水温）	（1℃刻み）			

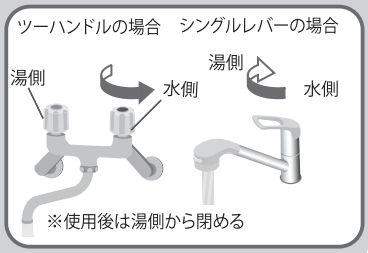
4 混合水栓（蛇口）を開く。

●水側を開いてから、湯側を徐々に開いて適温にします。湯側から開くと急に熱いお湯がでたり、飛び散ることがあります。





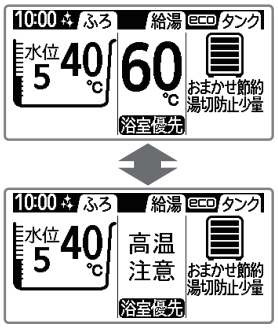




■50℃・55℃・60℃に設定した場合

●やけどに注意していただくため、下のような音声、表示でお知らせします。

音声 給湯温度を設定しました。熱いお湯が出ます。ご注意ください。



■チャイルドロック設定

扉を開く

■ふろリモコンの操作をできなくする機能です。
（台所リモコン、サブリモコンから設定できます。）

■設定する

決定 (3秒押し) を画面が変わるまで（約3秒）押す。

1 「ロック入」画面が表示されます。
●自動で「標準画面」に戻ります。

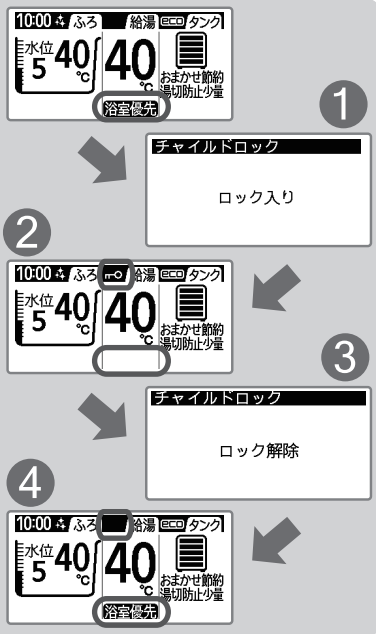
2 「標準画面」に が表示されます。
●「浴室優先」が設定されていた場合「浴室優先」は解除されます。

■解除する

決定 (3秒押し) を画面が変わるまで（約3秒）押す。

3 「ロック解除」画面が表示されます。
●自動で「標準画面」に戻ります。

4 「標準画面」から の表示が消えます。
●「浴室優先」が設定されていた場合は、「浴室優先」が再設定されます。



ご注意

●「浴室優先」が表示されていない場合の給湯温度変更は、浴室でシャワーを使っていないことを確認してから行ってください。

お知らせ

●台所リモコン（サブリモコン）で給湯温度を変更するときに、「浴室優先」が設定されていると次のような表示でお知らせします。

浴室優先中

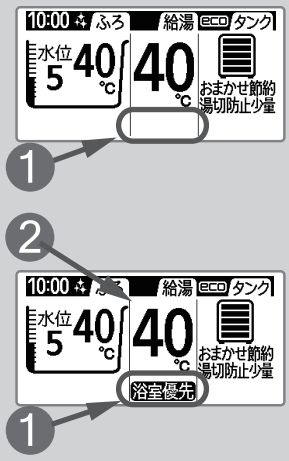
●「チャイルドロック」設定中に給湯温度を変更する場合は、浴室でシャワーを使っていないことを確認してから台所リモコンで行ってください。

■浴室・洗面所でシャワーを使う

1 「浴室優先」表示を確認する。

●「浴室優先」が表示（ボタン点灯）されていれば、 2 に進みます。

●「浴室優先」が表示されていない場合は、「浴室優先」ボタンを押して表示させます。



2 「給湯温度」表示を確認する。

●適温であれば、 4 に進みます。

●温度を変更する場合は、 3 へ進みます。

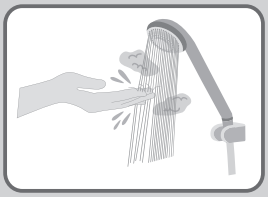
3 給湯温度 を押し、適切な温度に設定する。

●設定できる温度、温度表示は、台所リモコンと同じです。 →P.23

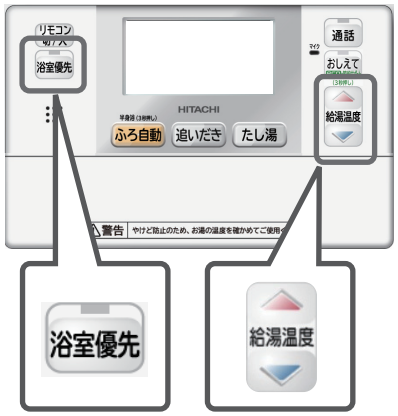


4 シャワーを出す。

●熱いお湯が出ることがあります。
シャワーは指先にかけながら開き、お湯の温度を確かめてからお使いください。



ふろリモコン



ご注意

●シャワー使用時は、安全のため、必ず「浴室優先」にしてください。シャワー使用中に台所リモコンで給湯温度を変更されることを防ぎます。

■浴室優先設定

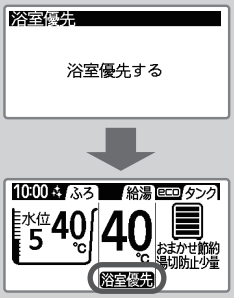
■台所リモコン（サブリモコン）の給湯温度変更を禁止する機能です。

■設定する

浴室優先（消灯） を押す。

浴室優先（点灯）

●ランプが点灯、「浴室優先」が表示されます。

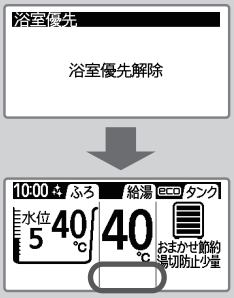


■解除する

浴室優先（点灯） を押す。

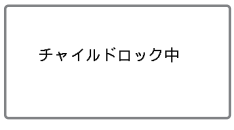
浴室優先（消灯）

●ランプが消灯、「浴室優先」の表示が消えます。



お知らせ

●ふろリモコンを操作したときに、「チャイルドロック」が設定されていると次のような表示でお知らせします。

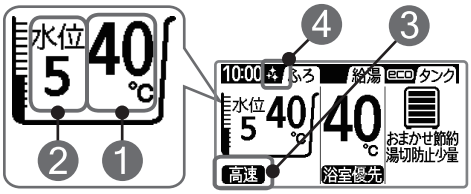
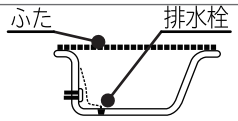
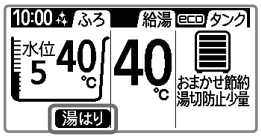


●「浴室優先」設定中でも、「チャイルドロック」を設定すると、台所リモコン（サブリモコン）で給湯温度が変更できます。ご注意ください。

●ふろリモコンを「切」にした場合、「浴室優先」が解除されます。
浴室でシャワーなどをお使いになる場合は、ふろリモコンを「入」にしてご使用ください。

「ふろ」を使う

■湯はりから入浴までの手順

手順		頁
準備する	「ふろ」機能の設定確認をします。（　）内は工場出荷時設定 ❶ ふろ温度（40℃）の確認 ❷ ふろ水位（5）の確認 ❸ 高速湯はり（設定なし）の確認 ❹ 自動洗浄（設定あり）の確認  ●保温時間（2 時間）と保温機能（温度と水位）も確認します。→P.59	→P.26
	●浴そうの排水栓を閉じ、ふたをします。 	
「ふろ自動」運転をする 「湯はり」運転	ふろ自動 を押します。設定された温度と水位に湯はりします。 **自動湯はり**・・・水位を自動で確認しながら、設定された水位まで湯はりします。浴そうに残り湯があっても湯はりできます。（湯はり量は設定された水位により変化します。） **高速湯はり**・・・設定された水位に応じた量のお湯を湯はりします。自動湯はりに比べ約 3 分早く湯はりできます。浴そうに残り湯がある場合は、「高速湯はり」を行わないでください。 湯はり中は表示画面に「湯はり」が表示されます。 （高速湯はり時は、「高速」「湯はり」を表示）  ⚠ 警告 湯はり中に入浴しない。高温の湯が出てやけどすることがあります。 **設定された温度と水位に湯はりされると、リモコンの表示と音声でお知らせし、湯はり運転は自動的に終了します。**	→P.27
「保温」運転	**湯かげんを確認してから入浴してください。** 保温時間が設定されていると、自動的に保温運転に切り替わります。 お湯が冷めると・・・自動で追いだきをして設定温度まで温めます。 お湯が減ると・・・・・・自動でたし湯をして設定水位まで湯量を増やします。→P.59 保温運転中は表示画面に「保温中」と保温運転の「残り時間」が表示されます。  **保温運転中に入浴し終わったときは、ふろ自動 を押し、「保温運転（「ふろ自動」運転）を停止しましょう。** 保温運転中は、温度と水位を保つため、タンクのお湯が使われています。 設定された保温時間が経過すると、「保温運転（「ふろ自動」運転）は自動的に停止します。	→P.28
ふろ自動運転終了後	**ふろ追いだき配管の自動洗浄**・・・「自動洗浄」設定されていると、浴そうのお湯を排水すると、自動的にふろ追いだき配管の洗浄運転を行います。	→P.26
	凍結防止・・・・・・・・・・・・冬季は、浴そうのお湯は残しておきます。外気温度が下がると、浴そうのお湯で、ふろ配管の凍結防止運転を自動的に行います。	→P.46

■湯はり終了後にできること（湯はり中は操作できません）

追いだき	●湯量はそのままで、温度を高くします。	→P.29
たし湯	●設定されたふろ温度の湯を約 20 L 足し、湯量を増やします。	→P.30
さし水	●水を約 15 L 足し、温度を下げます。	→P.31
高温さし湯	●高温のお湯を約 20 L 足し、湯量を増やし温度を上げます。	→P.32

■ふろ温度／水位／高速湯はり／自動洗浄の設定

●「ふろ自動」運転（「湯はり」運転）を行う前に「温度」「水位」「高速湯はり」「自動洗浄」の確認と設定を行います。

※保温時間と保温機能はあらかじめ設定を行っておいてください。 →P.59

■「ふろ温度」 扉を開く

1 ふろ温度 を押す。

●「ふろ温度」が反転表示します。

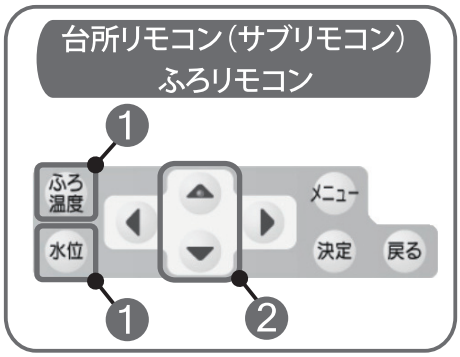


2 ▲▼ で設定する。

●数秒後、「ふろ温度」の反転表示が解除されます。

※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。





●設定できる温度範囲は、次の通りです。
・低温（水温）
・35℃･･･48℃（1℃刻み）

■「水位」 扉を開く

1 水位 を押す。

●「水位」が反転表示します。



2 ▲▼ で設定する。

●数秒後、「水位」の反転表示が解除されます。

※変更しない場合は、そのまま「決定」ボタンを押してください。



●水位は、「1」から「12」の範囲で約3cm刻みで設定できます。

■「高速湯はり」 扉を開く

■設定する

高速湯はり または、高速湯はり を押す。

●「標準画面」に 高速 が表示されます。

●「ふろ自動運転」時は、設定された水位に応じた湯量を定量で湯はりします。

●「自動湯はり」に比べ、約3分早く湯はりできます。



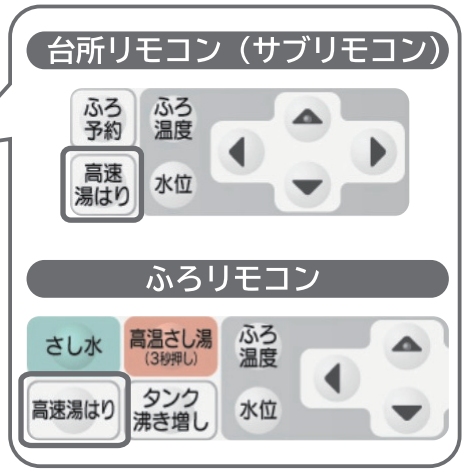
■解除する

高速湯はり または、高速湯はり を押す。

●「標準画面」から 高速 の表示が消えます。

●湯はりの時に「自動湯はり」になります。





■「自動洗浄」 扉を開く

■設定する

自動洗浄 を押す。

●「標準画面」に が表示されます。

●浴そうの排水時にふろ追いだき配管の自動洗浄を行います。



■解除する

自動洗浄 を押す。

●「標準画面」から の表示が消えます。

●浴そうの排水時にふろ追いだき配管の自動洗浄は行いません。





お知らせ 自動洗浄について

●自動洗浄は「ふろ自動」ボタンを押して湯はりを行った場合に運転します。
混合水栓（蛇口）から直接浴そうへお湯をためた場合、自動洗浄は運転しません。

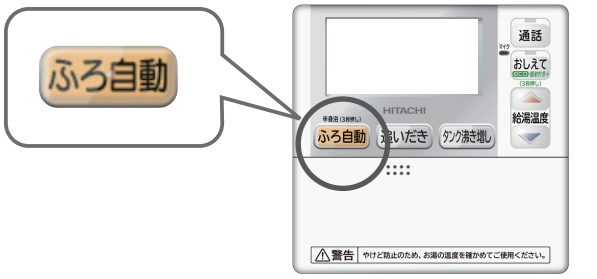
→P.28

「ふろ」を使う（続き）

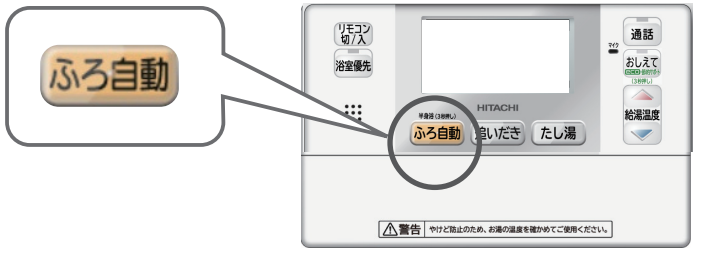
■「ふろ自動」運転（「湯はり」運転と「保温」運転）のしかた

●台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのどちらでも操作できます。
●湯はりには「自動湯はり」と「高速湯はり」の２種類の湯はり方法があります。
●「ふろ自動」ボタンを押すだけで、あらかじめ設定された温度、水位、湯はり方法で湯はりを行います。
●また「保温時間設定」「保温機能設定」が設定されていると、湯はり終了後に設定された時間まで、自動で「追いだき」や「たし湯」を行い、温度と水位を保つ保温運転を行います。→P.59

台所リモコン（サブリモコン）



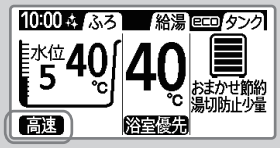
ふろリモコン



湯はり方法の確認・設定

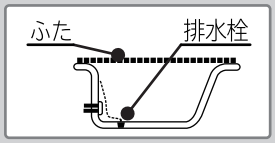
「自動湯はり」「高速湯はり」を選択する。→P.26

●残り湯がある場合は、「自動湯はり」に設定してください。（「高速」の表示を消す）
●「高速湯はり」にする場合は、必ず浴そうのお湯をすべて排水してください。



おふろの準備

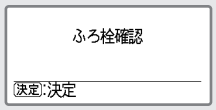
浴そうの排水栓を閉じ、ふたをする。



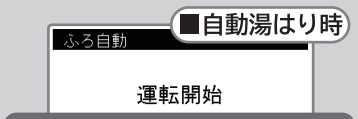
湯はり開始

ふろ自動 を押し、ボタンを点灯させる。

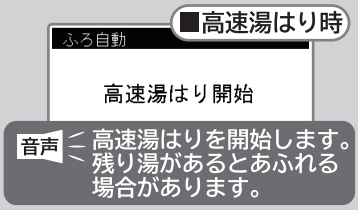
●自動運転で湯はりが開始され、文字と音声でお知らせします。
●湯はり中は「標準画面」に「湯はり」が表示されます。
●浴そうの排水栓を閉じ忘れた場合は、下記の点検表示が表示されます。→P.65



■自動湯はり時



■高速湯はり時

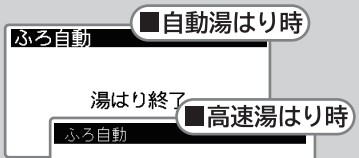




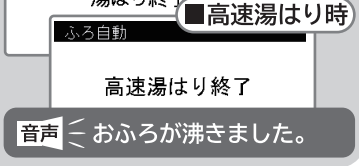
湯はり終了

●設定された湯はり温度、湯はり水位になると湯はりを終了し、表示と音声でお知らせします。
●高速湯はりは、表示と音声で終了をお知らせした後、しばらくは、湯はり温度を確認するため、浴そうのお湯を循環します。

■自動湯はり時

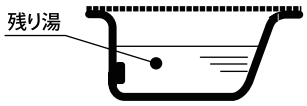


■高速湯はり時



ご注意

●残り湯がある場合は、「高速湯はり」を行わないでください。
●残り湯の量がふろ循環アダプターより上にある場合に「高速湯はり」を行うと自動的に、水位を確認する「自動湯はり」に切り替わります。
●残り湯の量によっては、「高速湯はり」を行うとあふれることがありますのでご注意ください。



お知らせ

●湯はり中にシャワーや台所でお湯を使うと、湯はり時間が長くなったり、湯はりが中断することがありますが、異常ではありません。
●「自動湯はり」はお湯の温度や水位を確認するために一時的に湯はりを中断することがあります。
●「高速湯はり」は、湯はり終了後、ふろ配管内の空気を浴そうに出すためにポンプが運転します。
●タンク内のお湯の温度が低い場合、残湯量があっても設定水位・温度にならない場合があります。そのときは、音声でお知らせします。「タンク沸き増し」ボタンを押してください。

お知らせ ふろ水位について

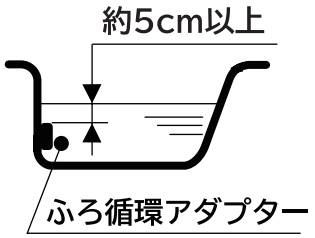
●夏季など水温が高いときに、設定温度、設定水位を低くして湯はりを行うと、設定水位より高い水位となる場合がありますが異常ではありません。

お知らせ 残り湯からの運転について

●「湯切れ防止」が設定されている場合、残り湯がある状態からの「自動湯はり」（「ふろ自動」）運転や、残り湯の「追いだき」運転をすると、残湯量目盛が十分あってもタンクのお湯の沸き上げを開始することがあります。
●タンク内のお湯の温度が低くなり、途中で湯はりが停止する場合があります。
●冬季、前日の残り湯からの沸かし直し（追いだき）は、タンクのお湯をたくさん使う（湯温が下がる）ので湯切れの原因になる場合があります。また、湯はり中にタンク内の温度が低くなり、途中で湯はりが停止する場合があります。残り湯を完全に抜いてから湯はりをしてください。
●残り湯の水位がふろ循環アダプターの上端位置付近にある場合は、正常に湯はりが動作しないことがあります。このような場合は、お湯を少し抜いてください。

お願い 冬季の排水について →P.46

●冬季は、凍結防止のため残り湯をふろ循環アダプター上端より5cm以上残しておいてください。外気の温度が下がると、ふろ配管に浴そうのお湯を自動で循環させて凍結を防止します。



お知らせ

●冬季は凍結防止運転が動作するため、ふろ自動運転の終了後に入浴すると、ふろ循環アダプターから冷めたお湯が出てくる場合があります。入浴する場合は、再度ふろ自動運転を行ってください。

保温・たし湯

●「保温時間設定」「保温機能設定」が設定してあれば、湯はり終了後に、設定された時間まで、自動で「追いだき」や「たし湯」を行い、温度と水位を保つ保温運転を行います。
●残りの保温時間が表示されます。



●保温中は、残り時間を表示でお知らせします。
※工場出荷時の保温時間設定は2時間、保温機能設定は温度・水位です。

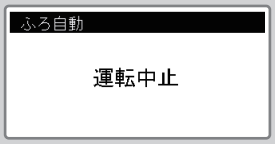
ご注意

●「保温中」に浴そうのお湯がふろ循環アダプター付近まで下がった場合「ふろ栓確認」が表示されることがあります。→P.65

途中で止めたいとき

ふろ自動 を押し、ボタンを消灯させる。

■こんなときには、途中で止めてください。
●全員の入浴が終了したとき
●しばらくの間入浴する人がいないとき



お願い

●ふろ自動運転中は、おふろの温度が下がると、自動で「追いだき」をします。ふろ保温時間を短めに設定するとともに、入浴し終わった後は、ふろ自動運転を止めてください。

排水

浴そうの排水栓を開いて、排水をします。

●「自動洗浄」が設定されている場合は、排水時に配管の自動洗浄を行います。
●「自動洗浄」は、1回当たり約8Lの水道水を使用します。



お知らせ

●ふろ自動運転終了後、浴そうのお湯を使用し、ふろ循環アダプター付近までお湯が減ると、自動洗浄が動作する場合がありますが、異常ではありません。

⚠警告

やけど注意

湯はり中に入浴しない
●高温の湯が出て、やけどをすることがあります。

入浴中は、ふろ循環アダプターに近づかない
●「ふろ自動」「追いだき」「高温さし湯」の時に高温の湯が出て、やけどすることがあります。

自動洗浄中に浴そうに入らない
●高温の湯が出て、やけどをすることがあります。

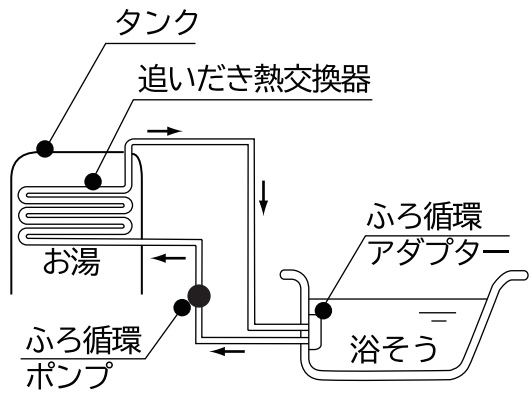


「ふろ」を使う（続き）・追いだき／

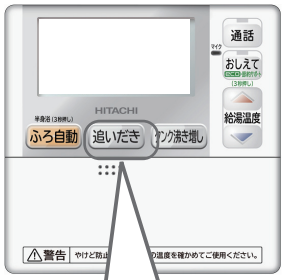
●電気料金を節約するために、追いだきのしくみをご理解いただき、正しくお使いください。

追いだきのしくみ

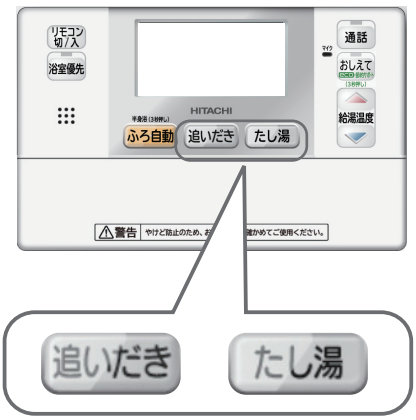
（追いだきは、タンクのお湯の熱を利用します）



台所リモコン（サブリモコン）



ふろリモコン



●ふろ自動運転中や、ふろリモコンの「追いだき」ボタンを押して追いだきをすると、浴そうのお湯をタンク上部の「追いだき熱交換器」に通して温めます。

※「追いだき」をすると、タンク内のお湯は熱を奪われて温度が下がるため、残湯量が少なくなり使用できるお湯の量が少なくなります。頻繁な追いだきは湯切れ（タンクのお湯がなくなる）の原因になります。

■追いだきをする

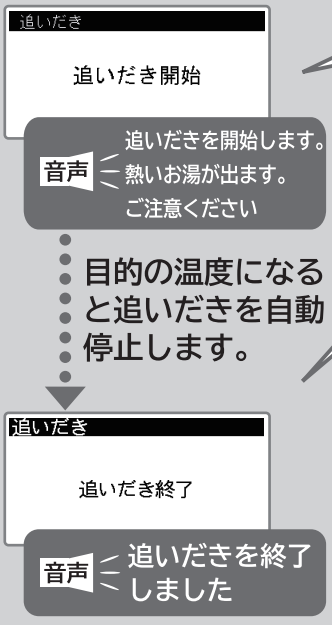
浴そうのお湯の量はそのままで、温め直したいときに使用します。

追いだき を押す。

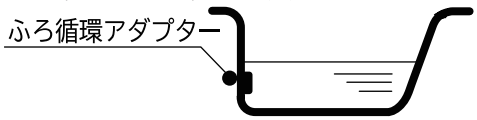
●追いだきを開始します。

●追いだき中は画面に「追いだき」が表示されます。





●追いだきには、ふろ循環アダプター上端以上の水位が必要です。



●浴そうのお湯の温度が、ふろ温度設定より低い場合、設定温度まで追いだきして自動停止します。

●浴そうのお湯の温度が、ふろ温度設定以上の場合、約 2℃湯温が上昇するよう追いだきして、自動停止します。

お知らせ

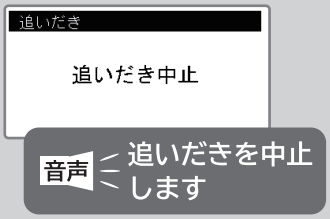
●タンク内のお湯の温度が低く、追いだき運転ができない場合、画面に「追いだきできません」が表示されます。そのときは「タンク沸き増し」ボタンを押してください。



●残湯量の表示があっても、追いだきの途中でタンク内の温度が低くなり、追いだきを停止することがあります。そのときは「タンク沸き増し」ボタンを押してください。また、追いだきを多く使用される場合は「湯切れ防止」の設定をおすすめします。

途中で止めたいとき

追いだき を押す。



たし湯

上手にお使いいただくためのポイント

■長時間の追いだきは控えめに

●特に冬季、前日の残り湯の追いだきによる沸かし直しは、タンクのお湯をたくさん使うので湯切れしやすくなります。ふろ設定温度と残り湯の温度差が大きい場合は、浴そうの残り湯を完全に抜いて新たに湯はりをしてください。

■ふろ保温時間の設定は短めに

●ふろ自動運転中は、浴そうのお湯の温度が下がると自動で追いだきをします。ふろ保温時間は短めに設定するとともに、入浴し終わった後は、ふろ自動運転を止めてください。

■追いだきをするときのタンク設定は

●「追いだき」するときは、タンクの中に 60℃以上の熱いお湯がないと、リモコンの残湯量目盛があっても追いだきに時間がかかったり、追いだきできないことがあります。追いだきをするときの沸き上げ設定は「おまかせ・多め」をおすすめします。
（リモコンの残湯量目盛は、約 45℃以上のお湯の量を表示します）

■たし湯をする

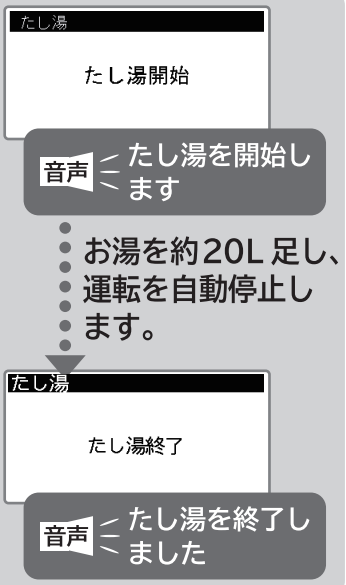
■浴そうのお湯の量を増やしたいときに使用します。ふろ温度のお湯を約 20L 足します。
●ふろリモコンで操作します。

たし湯 を押す。

●運転を開始します。

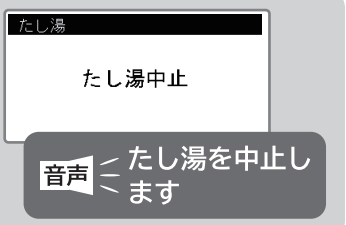
●たし湯中は画面に「たし湯」が表示されます。





途中で止めたいとき

たし湯 を押す。



お知らせ

●「追いだき」「たし湯」開始後しばらくは、配管に残っている水が出ます。また、ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。

⚠ 警告

入浴中は、ふろ循環アダプターに近づかない

やけど注意

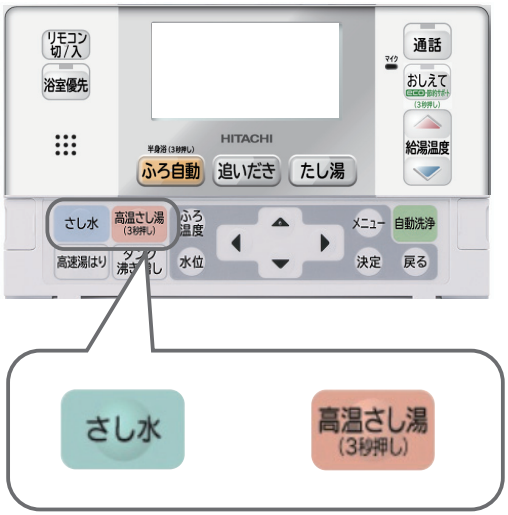
●「追いだき」「たし湯」中に高温の湯が出て、やけどすることがあります。



「ふろ」を使う（続き）・さし水／高温さし湯

■ふろリモコンで操作します。

ふろリモコン



お知らせ

- ●「さし水」動作開始後、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。また、「高温さし湯」動作開始後しばらくは、配管に残っている水が出ます。
- ●シャワーや台所などでお湯を使用しているときに、「さし水」「高温さし湯」を行うと、シャワーや台所のお湯の温度や流量が変わることがあります。
- ●タンクのお湯の温度が低い場合、設定より低い温度になることがあります。また、残湯量表示が点灯していても、「高温さし湯」が動作しなかったり、「高温さし湯」が途中で停止したりすることがあります。
- ●ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。

■さし水をする

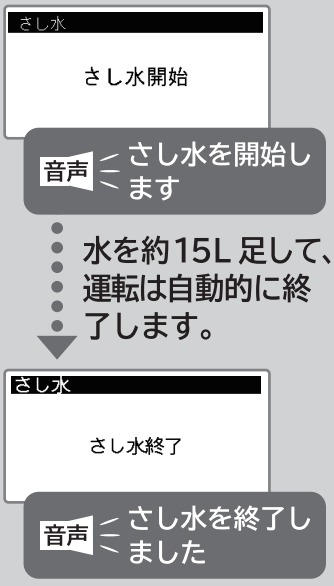
扉を開く

●浴そうのお湯の温度を下げたいときに使用します。水を約15L 足します。

さし水 を押す。

- ●運転を開始します。
- ●さし水中は画面に「さし水」が表示されます。



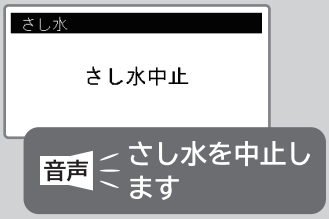


ご注意

- ●「さし水」開始後、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。

途中で止めたいとき

さし水 を押す。



■高温さし湯をする



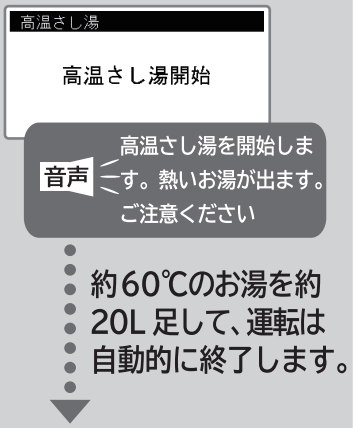
●浴そうのお湯の温度を上げたいときに使用します。約60℃のお湯を約 20L 足します。

高温さし湯（3秒押し）を画面が変わるまで長押しする。

●高温さし湯を開始します。

●高温さし湯中は画面に「高温さし湯」と表示されます。

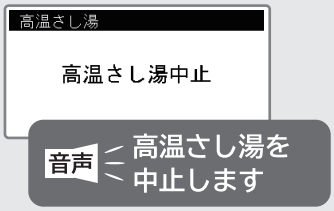




途中で止めたいとき

高温さし湯（3秒押し）を押す。

●画面の「高温さし湯」の表示が消えます。



お知らせ

●「高温さし湯」開始後しばらくは、配管に残っている水が出ます。また、「さし水」開始後、配管に残っている熱いお湯が出る場合があります。

●ふろ循環アダプターから、泡や音が出ることがありますが正常な動作です。

⚠警告

入浴中は、ふろ循環アダプターに近づかない

やけど注意

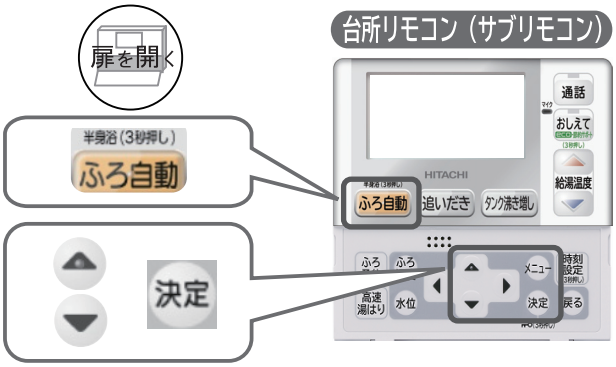
●「高温さし湯」中に高温の湯が出て、やけどすることがあります。また、「さし水」中は冷たい水が出ます。

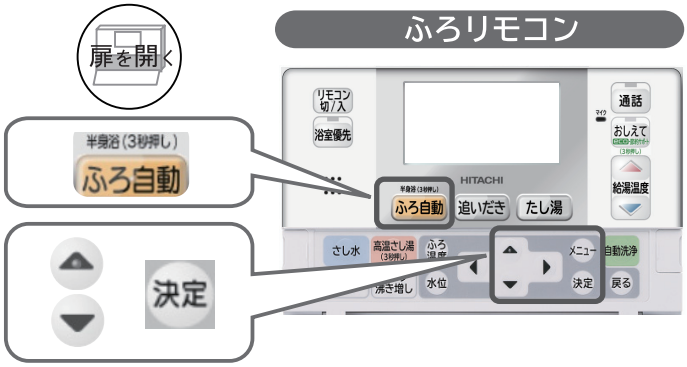


便利な機能

■半身浴をする

●半身浴機能は、自動で水位「１」（ふろ循環アダプター上端から約 5cm 上）に湯はりする機能です。湯はり後自動で３時間の保温運転を行います。なお、水位と保温時間の変更はできません。





※下記は、温度 39℃に設定した例です。

おふろの準備

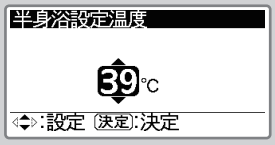
浴そうの湯をすべて抜いて、排水栓を閉じてふたをする。

※残り湯からの半身浴湯はりはできません。

湯はり温度の設定

半身浴（3秒押し） ふろ自動 を画面が変わるまで押しつづける。

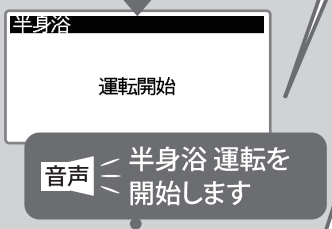
▲▼ を押し、「温度」を設定する。



湯はり開始

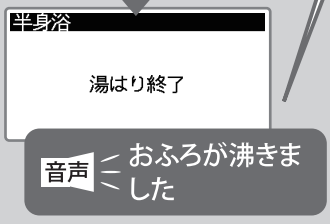
決定 を押す。

●半身浴の湯はりを開始します。



湯はり終了

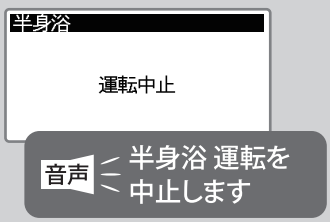
●湯はり終了後、３時間の保温運転を行います。



途中で止めたいとき

半身浴（3秒押し） ふろ自動 を押す。

●半身浴運転を中止します。



●温度は、38℃～41℃の範囲で設定できます。
※工場出荷時は38℃に設定されています。

●湯はり中は表示でお知らせします。



●湯はりの終了は、音声と表示でお知らせします。

●「保温中」表示は、湯はり終了から３時間点灯します。



お知らせ

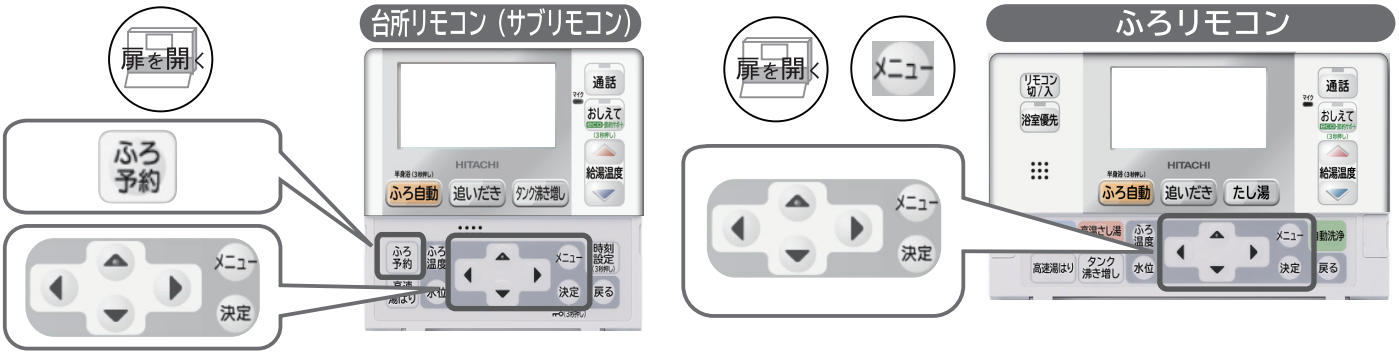
●半身浴の湯はりは予約ができません。
●湯はり中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯はり時間が長くなったり、湯はりが中断・停止することがありますが、異常ではありません。
●保温運転終了後、浴そうのお湯を使用し、ふろ循環アダプター付近までお湯が減ると、自動洗浄が運転する場合がありますが、異常ではありません。

ご注意

●「保温運転中」に浴そうのお湯がふろ循環アダプター付近まで下がった場合「ふろ栓確認」が表示されることがあります。
→P.65

■ふろ予約する

●湯はり終了時刻が予約できます。帰宅後すぐ入浴したいときなどに便利です。
●予約時刻は記憶されません。ご使用のつど設定してください。
●台所リモコン（サブリモコン）、ふろリモコンのとちらでも操作できます。手順説明の表示画面は台所リモコンです。



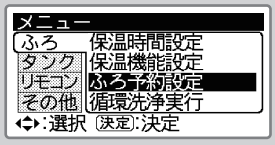
※下記は、18：30 に設定した例です。

1 ■台所リモコンの場合

ふろ予約 を押す。

■ふろリモコンの場合

メニュー /「ふろ」/「ふろ予約設定」を選択し、決定 を押す。



●新規の場合「ふろ予約設定」画面になります。
2 へ進みます。
●既に予約中の場合は、予約中の場合は へ進みます。

2 で「時」「分」を合わせ

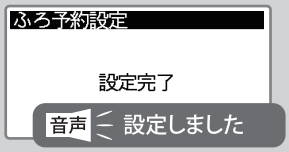
決定 を押す。



●「設定完了」画面になります。



●数秒後に「標準画面」に戻ります。



予約中の場合は

●設定済みの予約時間と次の操作が表示されます。
確認後、◀ ▶ で項目を選択し、決定 を押す。



■「継続」を選択した場合は、「設定完了」画面を約３秒表示し、「標準画面」に戻ります。
■「変更」を選択した場合は、手順 2 へ進みます。
■「取消」を選択した場合は、「予約取消」の画面を表示し、「標準画面」に戻ります。



ご注意

●リモコンに設定されている現在時刻を基準に予約されます。リモコンの現在時刻は正しく合わせてください。
●水圧の変動などで、おふろの湯はり完了時刻が、予約した時刻とずれる場合があります。

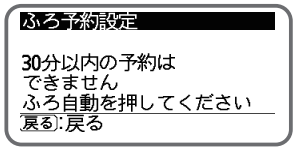
お知らせ

●既に予約設定済みの場合は画面に「ふろ予約」が表示されています。



お知らせ

●現在時刻から予約時刻までの時間が 30 分以内の設定はできません。



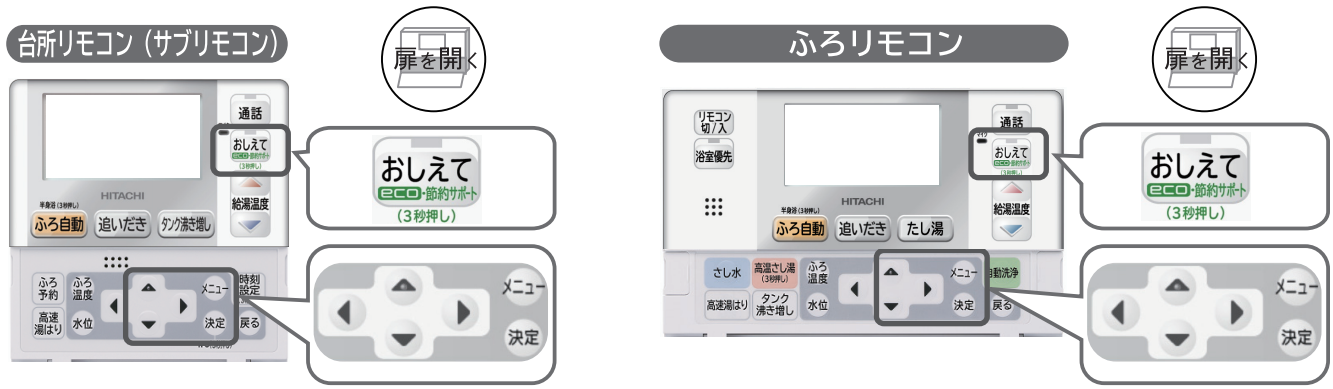
●現在時刻より前の予約時刻は、翌日の予約になります。

●設定完了後は「ふろ予約」が表示されます。

便利な機能（続き）

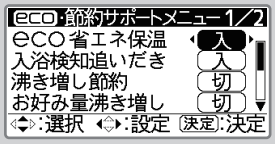
■eco・節約サポートメニューの設定

■「eco・節約サポートメニュー」は、1/2 頁の「eco」運転をさせるための設定メニューと2/2 頁の「節約」をサポートするためのメニューから構成されます。



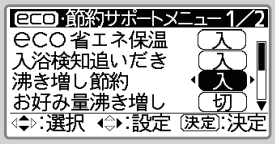
1 おしえて eco・節約サポート を画面が変わるまで押し続ける。

●「eco・節約サポートメニュー 1/2」画面になります。４つのメニューの設定状況が表示されます。



2 でメニューを選択し、

で「入」または「切」を設定する。



3 決定 を押す。

●「標準画面」に戻ります。
「eco 省エネ保温」を「入」と設定した場合標準画面に「eco」が表示されます。



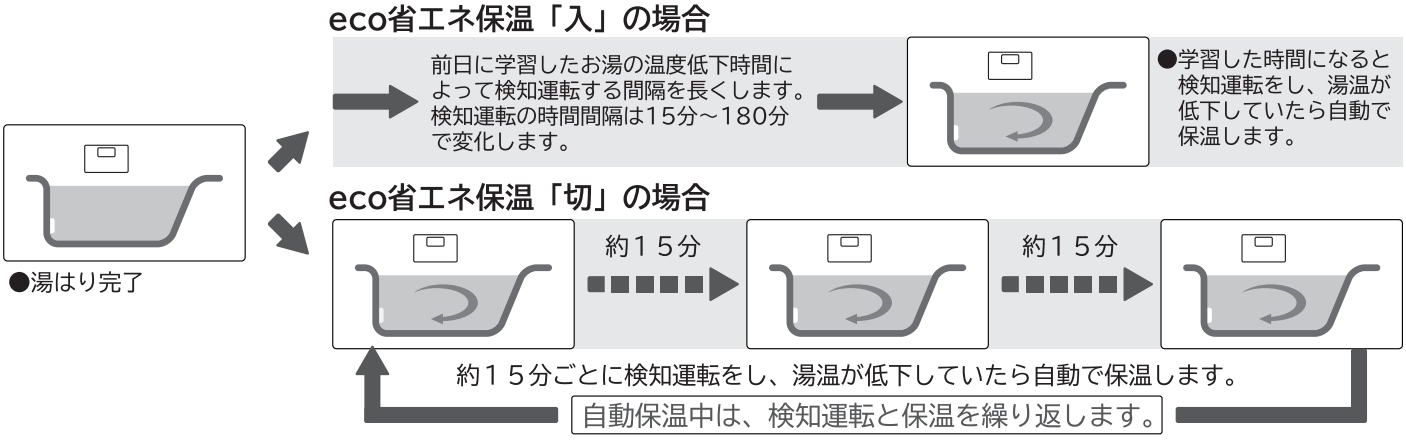
お知らせ

●工場出荷時設定は以下です。

eco 省エネ保温　・・・「入」
入浴検知追いだき・・・「入」
沸き増し節約・・・・・「切」
お好み量沸き増し・・・「切」

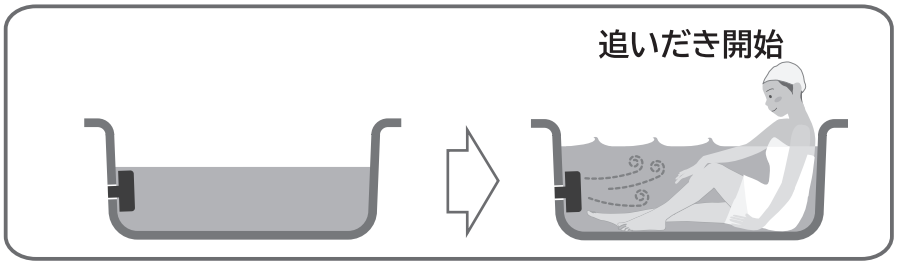
■eco 省エネ保温とは

●浴そうのお湯の温度の低下時間を学習して、温度の低下時間が長い場合は、検知運転（お湯の温度を測る運転）する間隔を長くすることで検知運転の回数を減らし、省エネを図る機能です。「保温時間設定」が 0 時間の場合は動作しません。➔P.59 冷めにくい浴そうの場合、検知運転する間隔が長くなります。



■入浴検知追いだきとは

●人が入浴をしていないとき、または浴そうから出たあとに、無駄な追いだきを行わない機能です。
●浴そうに人が入ったことを検知すると、自動でおふろの追いだきを行います。
●「入浴検知追いだき」が「入」設定で、ふろ自動 ボタンが点灯している場合に作動します。



お知らせ

●浴そうに人が入ったことの検知は浴そうの水位上昇で行います。子供の入浴など水位の変化が小さい場合には、入浴を検知できないことがあります。
●入浴検知追いだき運転の開始直後に、ふろ循環アダプターから冷めたお湯が出てくる場合がありますが、ふろ配管内の冷えた水ですので異常ではありません。

⚠警告

入浴中は、ふろ循環アダプターに近づかない

やけど注意

●「入浴検知追いだき」中に高温の湯が出て、やけどすることがあります。



■沸き増し節約とは

昨日までの 7 日間のお湯の使用状況を学習し、タンク内のお湯が深夜時間帯まで足りていると判断した場合、翌日の朝（B ゾーン開始時 ➔P.56）まで、「湯切れ防止」による沸き上げを行わないようにして、電気代を節約する機能です。「湯切れ防止」が設定されていても、昼間時間帯、朝晩リビングには沸き上げを行いません。

お知らせ

●突然の来客など、いつもよりお湯を多くを使用する場合には、「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き増しをしてください。 ➔P.43
●「入」に設定すると、「湯切れ防止 / 節約設定」は「おまかせ」に設定されます。 ➔P.58
●「入」→「切」に設定すると「湯切れ防止 / 節約設定」は「しない」に設定されます。 ➔P.58

■お好み量沸き増しとは

●手動で「タンク沸き増し」を行うとき、必要なお湯の量を沸き上げることによって省エネする機能です。「お好み量沸き増し」が「切」の場合、「タンク沸き増し」はタンク全量を沸き上げますが、「入」の場合、沸き上げる湯量はリモコンの残湯量目盛に合わせた 5 段階から選ぶことができます。操作方法は、➔P.44をご覧ください。

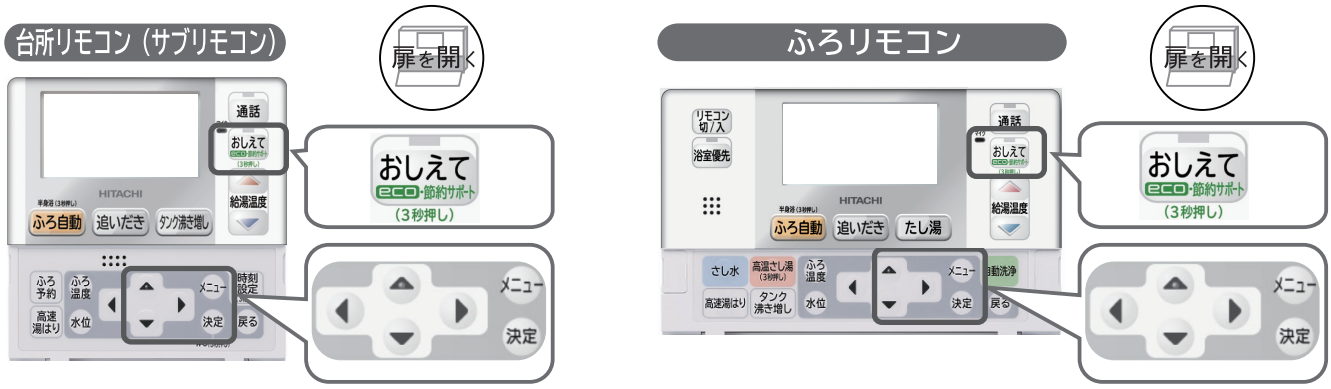
お好み量沸き増し「切」の場合	お好み量沸き増し「入」の場合
●タンクの残湯目盛がどの状態からでも、残湯量目盛 5 目盛まで沸き増しします。 タンクの残湯量目盛 沸き増し量	●タンクの残湯量目盛に応じ、沸き増し量が選べます。選んだ残湯量目盛になるまで沸き増します。 タンクの残湯量目盛 選べる沸き増し量

便利な機能（続き）

■eco・節約サポートメニューの設定（続き）

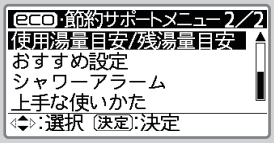
■使用湯量目安 / 残湯量目安

いつもに比べてお湯を使いすぎていないか、いつものペースでお湯を使うと不足しないかを調べることができます。



1 おしえて を画面が変わるまで押し続ける。

▼ を4回押し、「使用湯量目安/残湯量目安」を選択し、決定 を押す。



●「使用湯量目安」画面になります。

2 使用湯量を確認します。

●使用湯量目安は、表示した時刻までに使ったお湯の量を、給湯設定温度に換算し、本日、昨日、週平均（昨日までの6日間の平均）を〔リットル〕で表示します。また、昨日と週平均は、1日分についても合わせて表示します。

確認後、決定 を押す。

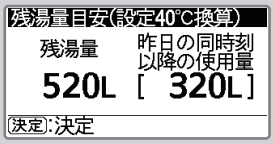


●「残湯量目安」画面になります。

3 残湯量を確認します。

●残湯量目安は、給湯設定温度に換算した、今後使えるお湯の量の目安です。現在の残湯量と昨日の同時刻以降の使用湯量を〔リットル〕で表示します。

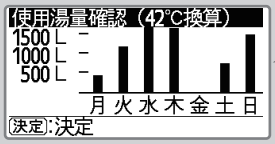
確認後、決定 を押す。



●「使用湯量確認」画面になります。

4 昨日までの7日間のタンクのお湯の使用実績をグラフで確認します。

確認後、決定 を押す。



●「標準画面」に戻ります。

お知らせ

- 「使用湯量目安」「残湯量目安」の表示される数値は、目安です。10L単位で表示します。
- 「使用湯量目安」は、給湯やふろ機能で実際に使用した湯量の合計を給湯設定温度に換算して表示します。ふろの追いだきで使用した熱量は、含みません。
- 残湯量が多くてもふろ自動や追いだきに時間がかかることがあります。
- 「使用湯量目安」は貯湯ユニットから出た湯量を表示します。混合水栓の「水側」の水量は、使用湯量に含まれません。
- 「使用湯量目安」の1日分は、0時00分から23時59分までの数値になります。
- 本日は、0時00分に0Lになります。
- タンクのお湯と水から給湯設定温度または42℃換算とするため、タンクのお湯の温度を一定としたとき、水温の高い夏のほうが水温の低い冬に比べ、使えるお湯の量は多くなります。

●昨日の同時刻以降の使用量を考慮して、使えるお湯の量（残湯量）が少ない場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 ➔P.43

●昨日までの7日間のタンクのお湯の使用実績は、お湯の使用量を42℃換算した湯量で表示しています。
●ふろの追いだきも含めて換算していますので、実際に使用したお湯の量とは異なります。

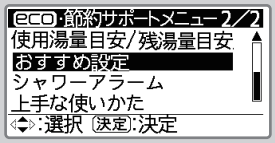
■おすすめ設定

深夜時間帯にお湯を沸かすための「沸き上げ設定」➔P.57がお湯の使いかたにあった適切な設定になっているかを確認するための機能です。また、お湯が足りなくなることを防ぐための「湯切れ防止設定」➔P.58の確認です。

1 おしえて を画面が変わるまで押し続ける。

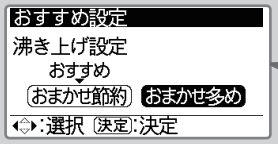
▼ を5回押し、「おすすめ設定」を選択し、決定 を押す。

●「沸き上げ設定」画面になります。



2 ◀ ▶ で沸き上げ設定を選択して 決定 を押す。

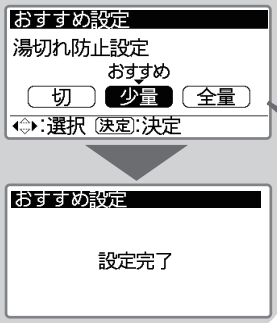
●「湯切れ防止設定」画面になります。



●「沸き上げ設定」は、昨日までの６日間の使用実績に応じて、おすすめを表示しています。使用量が急に多くなると湯が足りなくなる場合があります。その場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。➔P.43

3 ◀ ▶ で沸き上げ設定を選択して 決定 を押す。

●設定完了画面になり、「標準画面」に戻ります。



●「湯切れ防止設定」のおすすめは、少量を表示します。

お知らせ

●既に設定されている沸き上げ設定や湯切れ防止設定を反転表示しています。

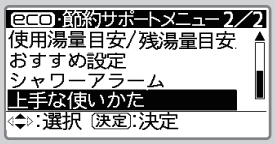
■上手な使いかた

エコキュートの上手な使いかたが、リモコン画面で確認できます（11 項目）。

1 おしえて を画面が変わるまで押し続ける。

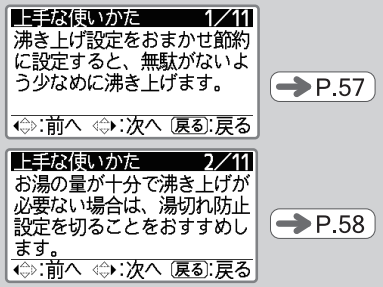
▼ を7回押し、「上手な使いかた」を選択し、決定 を押す。

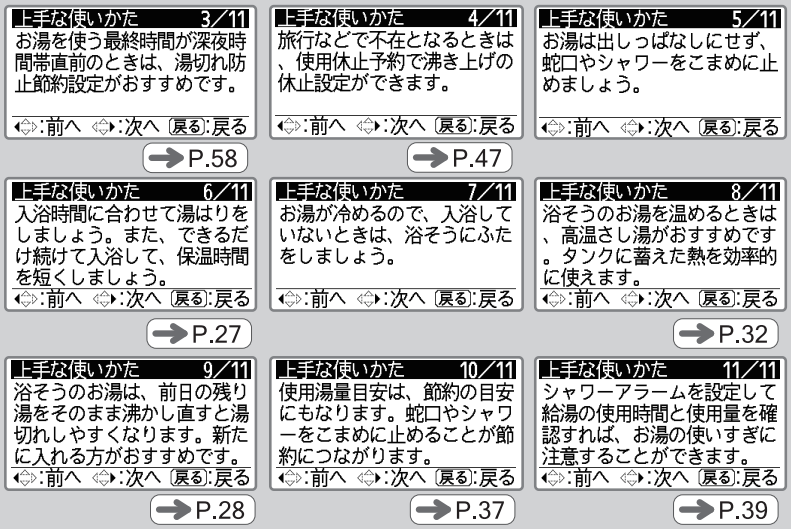
●「上手な使いかた」画面になります。



2 ◀ ▶ で画面を確認する。

確認後、戻る を2回押すと標準画面に戻ります。



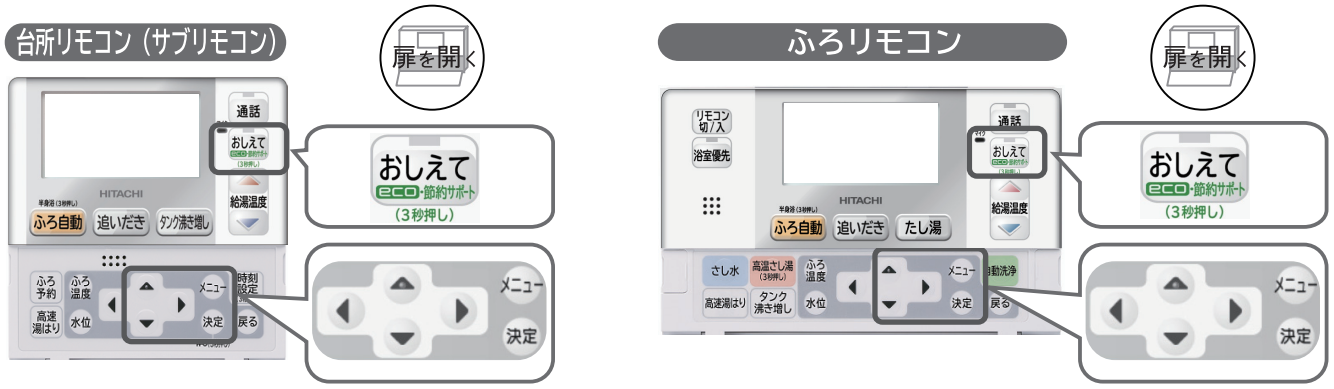


便利な機能（続き）

■eco・節約サポートメニューの設定（続き）

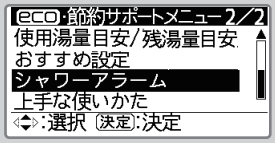
■シャワーアラーム

シャワー（浴室）や蛇口（台所）などでお湯を使用したときに、あらかじめ設定した連続使用時間を超えると、3段階のアラームでお知らせする機能です。



1 おしえて を画面が変わるまで押し続ける。

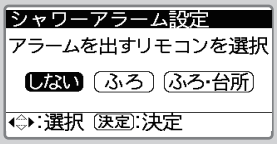
▼ を6回押し、「シャワーアラーム」を選択し、決定 を押す。



●「シャワーアラーム設定」画面になります

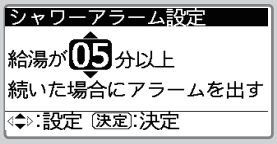
2 ◀ ▶ アラームを出すリモコンを選択する。

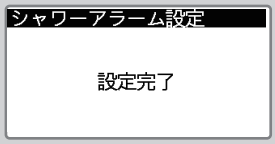
選択後、決定 を押す。



3 ▲ ▼ で1段階目のアラームを出す時間を設定する。

設定後、決定 を押す。





●設定完了画面になり、「標準画面」に戻ります。

お知らせ

- 「シャワーアラーム」は、工場出荷時「しない」に設定されています。
- 「シャワーアラーム」を設定している場合、食洗器を使用すると、シャワーアラーム画面が表示される場合があります。
- 「シャワーアラーム」を出す時間は 1 ～ 99 分で設定できます。
- 「シャワーアラーム」を設定しても表示されない場合があります。この場合は、設定時間を短くしてください。

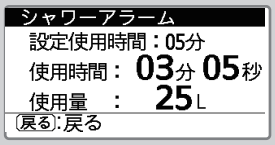
■シャワーアラーム（続き）

給湯を連続で使用すると、使用時間、使用量の画面が表示されます。

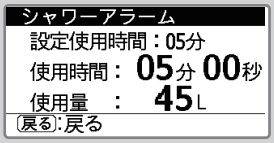
※下記は、シャワーアラーム設定を 5 分間で設定した場合です。

1 給湯を連続で使用すると、使用開始してからの時間と使用量の画面が表示されます。

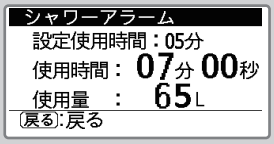
●使用量が、設定使用時間 ×4 L 以上になると、自動的にシャワーアラーム画面が表示されます。



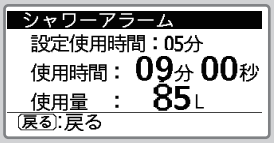
2 給湯を連続で５分間使用すると、リモコンから「ピー」とアラーム音が鳴り、バックライトが点滅します。



3 さらに給湯を連続で2分間使用すると、リモコンから「ピー、ピー」とアラーム音が鳴り、バックライトが点滅します。



4 さらに給湯を連続で2分間使用すると、リモコンから「ピー、ピー、ピー」とアラーム音が鳴り、バックライトが点滅します。以降連続で使用続けると、２分毎にリモコンから「ピー、ピー、ピー」とアラーム音が鳴り、バックライトが点滅します。



途中で給湯温度設定を変更する場合

給湯温度 で、変更する。

変更後は、決定 を押す。

●「シャワーアラーム」画面になります。



●「シャワーアラーム」画面表示中に、「給湯温度」を変更したい場合に使用します。

途中で標準画面に戻す場合

戻る で、標準画面に戻る。

●標準画面に戻ると「シャワーアラーム」画面は、表示されません。



●「シャワーアラーム」画面表示中に、「給湯温度」ボタン以外のボタン操作をしたいときに使用します。

お知らせ

●シャワーアラーム画面表示中は、「給湯温度」「戻る」ボタン以外は、使用できません。

●「浴室優先」が設定されていると、台所リモコン (サブリモコン) からの給湯温度の変更は、できません。

●使用量は、貯湯ユニットから出た湯量を表示します。混合水栓の「水側」の水量は、使用量に含まれません。

●リモコンの給湯温度設定を高くすると、シャワーアラーム画面が表示されないことがあります。

●浴室で給湯を使用していなくても、台所や洗面所などで連続して給湯を使用すると、シャワーアラーム画面を表示します。

●最初少ない湯量で給湯し、途中から湯量を増やしても、シャワーアラーム画面が表示されないことがあります。

●複数箇所で、給湯された場合、使用時間と使用量は、その合計の使用時間と使用量が表示されます。

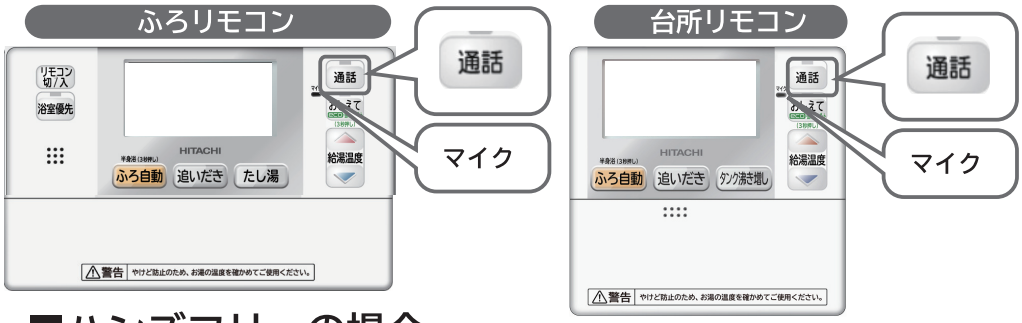
●給湯を停止してから次の給湯までの間隔が約 10 秒以内の場合は、使用時間と使用量がクリアされず、前回の使用時間と使用量に加算されて表示されます。

●点検表示が表示されているときは、「シャワーアラーム」画面は表示されません。

便利な機能（続き）

■インターホンを使う

●ふろリモコンと台所リモコンの間で通話ができます。
●相手側の呼び出しが、ふろリモコン、台所リモコンのどちらからでも行えます。
●「通話」ボタンを押さずに会話できる「ハンズフリー」と、「通話」ボタンを押しながら話し掛ける「プレストーク」の２種類があります。
●工場出荷時の設定は両リモコンとも「ハンズフリー」になっていますが、「ハンズフリー」でうまく会話ができないときは、「プレストーク」に切り替えてご使用ください。切り替え方法は ➔P.63 をご覧ください。



■ハンズフリーの場合

ふろリモコンからの呼出し

ふろリモコン

通話 を押す。

●ボタンから指を離して台所からの応答をお待ちください。

台所リモコン



●「通話」ボタンのランプが点灯し、呼出音のあとに音声でお知らせします。

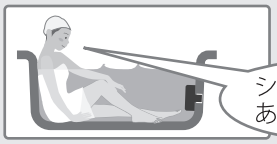
音声 ピピピッ おふろで呼んでいます。

●リモコンに向かって話し掛けます。



どうしました？

●相手の話が終わったら、リモコンに向かって話し掛けます。



シャンプーがありません

台所リモコンからの呼出し

ふろリモコン



●「通話」ボタンのランプが点灯し、呼出音のあとに音声でお知らせします。

音声 ピピピッ

台所リモコン

通話 を押す。

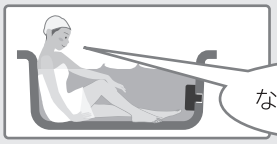
●ボタンから指を離して浴室からの応答をお待ちください。

●相手の話が終わったら、リモコンに向かって話し掛けます。



シャンプーはありますか？

●リモコンに向かって話し掛けます。



なんですか？

■音量を変える

扉を開く

●音量を変えたいときは、通話中に扉内の ▲▼ で変更します。



残りの通話時間を表示します。表示がなくなると通話が終了し、標準画面に戻ります。
通話を途中で中止する場合は、「戻る」ボタンを押してください。

お知らせ

●台所リモコンとふろリモコンは同時に話すことはできません。先に話し掛けたほうが優先になります。相手の話が終わったら話し掛けてください。
●最初の会話は、音声が途切れる場合があります。
●通話中は、画面の明るさが暗くなりますが異常ではありません。
●雑音の大きい場所では、通話ができない場合があります。その場合は、シャワーを止める・テレビの音量を下げるなど雑音を小さくしてから通話を行ってください。
●雑音がなくても、片方のリモコンの声しか聞こえない場合があります。この場合は、「通話」ボタンを押しながら話し掛けてください。または、「プレストーク」に切り替えてください。（「通話音量」/「機能設定」）➔P.63
「通話」ボタンを押しながら話し掛ける方法に切り替わります。

■ハンズフリーでの誤動作

●ハンズフリーでは、リモコンが声を自動認識し、先に話し掛けた方の声のみをマイクで聞き取り、相手側のスピーカーから声を出します。また、声が途切れたことを自動認識し、自動で非通話状態にします。このため、下記のようなことが原因で自動切換えが正しく行われず、「片方のリモコンからしか話し掛けられない」など、会話がうまくできないことがあります。

■テレビが近くにあるため、テレビの音量を下げないとリモコンが誤動作する。
■小さいお子さんが声を出すため、会話が途切れてしまう。
■窓を開けているときが多いため、自動車など戸外の雑音でリモコンが誤動作する。

このようなときは、「プレストーク」に切り替えてご使用ください。
「プレストーク」では、操作する方同士が会話の切り替えを行いますので、切り替えの誤動作を防ぐことができます。

■プレストークの場合

ふろリモコンからの呼出し

ふろリモコン

通話 を押す。

●ボタンから指を離して台所からの応答をお待ちください。

台所リモコン



●「通話」ボタンのランプが点灯し、呼出音のあとに音声でお知らせします。

音声 ピピピッ おふろで呼んでいます。

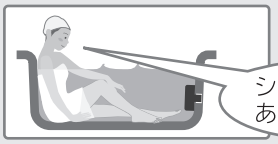
通話 を押す。

●「通話」ボタンを押したままリモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら指を離します。



どうしました？

●相手の話が終わったら、「通話」ボタンを押したまま、リモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら指を離します。



シャンプーがありません

台所リモコンからの呼出し

ふろリモコン

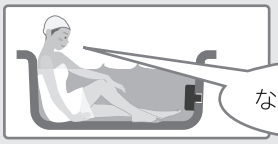


●「通話」ボタンのランプが点灯し、呼出音のあとに音声でお知らせします。

音声 ピピピッ

通話 を押す。

●「通話」ボタンを押したままリモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら指を離します。



なんですか？

台所リモコン

通話 を押す。

●ボタンから指を離して浴室からの応答をお待ちください。

●相手の話が終わったら、「通話」ボタンを押したままリモコンに向かって話し掛けます。話が終わったら指を離します。



シャンプーはありますか？

■音量を変える



●音量を変えたい時は、通話中に扉内の ▲▼ で変更します。



残りの通話時間を表示します。表示がなくなると通話が終了し、標準画面に戻ります。
通話を途中で中止する場合は、「戻る」ボタンを押してください。

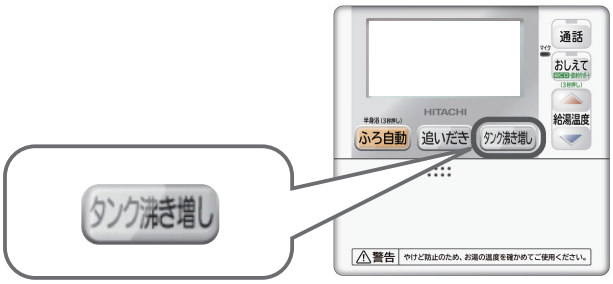
お知らせ

●台所リモコンとふろリモコンは同時に話すことはできません。同時に「通話」ボタンを押した時は、台所リモコンが優先となります。
話が終わったら「通話」ボタンから指を離してください。
●相手の話が終わったら話し掛けてください。
●通話中は、画面の明るさが暗くなりますが異常ではありません。
●「湯切れ確認」→P.14、「点検表示」→P.65、「その他の表示」→P.66が表示中は、インターホンは使用できません。

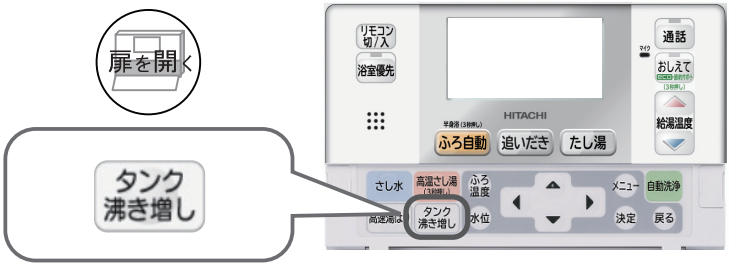
お湯が不足しそうなとき（タンク沸き増しをする）

●急な来客などでたくさんのお湯が必要になったとき、「タンク沸き増し」ボタンを押すと１回だけ「沸き増し（沸き上げ）」運転をします。

台所リモコン（サブリモコン）

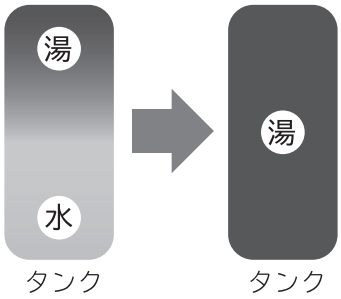


ふろリモコン



■タンク沸き増しとは

●「沸き増し」を行うと、たくさんのお湯を使用しても不足しないように、タンク内全体をお湯にします。お湯が不足する前に沸き増しを行います。
●沸き上げ量は、[eco] メニューの「お好み量沸き増し」を「入」にしている場合は５段階から選択できます。「切」の場合はタンク内全体をお湯にします。
●１時間で沸き増しできるお湯（約 40℃）の量の目安は「約 120Ｌ（冬季）～ 240Ｌ（夏季）」

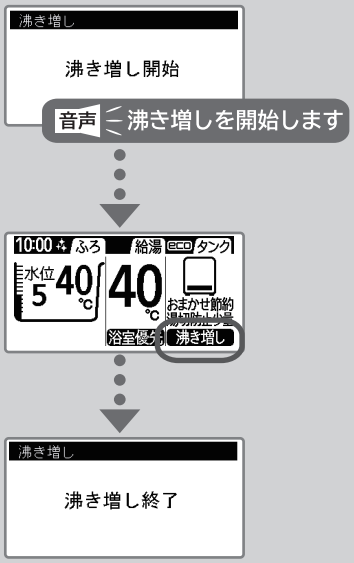


■「お好み量沸き増し」設定が「切」の場合

沸き増しをする

タンク沸き増し または、タンク沸き増し を押す。

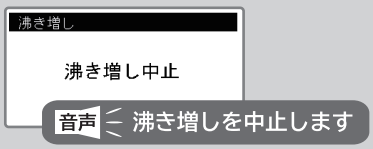
●「タンク沸き増し」を開始します。
●画面に「沸き増し」が表示されます。



途中で止めたいとき

タンク沸き増し または、タンク沸き増し を押す。

●「タンク沸き増し」を中止します。



お知らせ

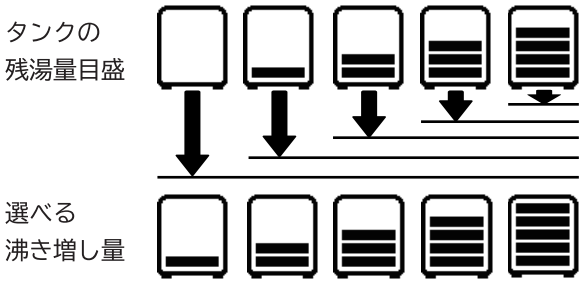
●タンク内に十分のお湯があるときは、「タンク沸き増し」ボタンを押しても、「タンク沸き増し」運転をしないことがあります。

ご注意

●昼間時間帯の「タンク沸き増し」運転は電気料金が割高になります。
●頻繁にお湯が不足するような場合は、「沸き上げ設定」の設定内容を確認し、深夜時間帯の沸き上げ量が少ない場合は「沸き上げ設定」を変更してください。→P.57

■「お好み量沸き増し」設定が「入」の場合

●タンクの残湯量目盛に応じ、沸き増し量が選べます。選んだ残湯量目盛になるまで沸き増します。

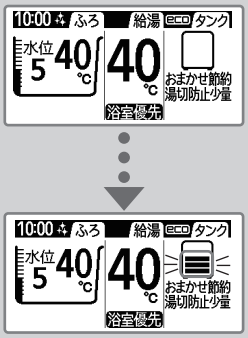


※タンク残湯量がない状態から残湯量３目盛りまで沸き上げる場合の例です。

沸き増しをする

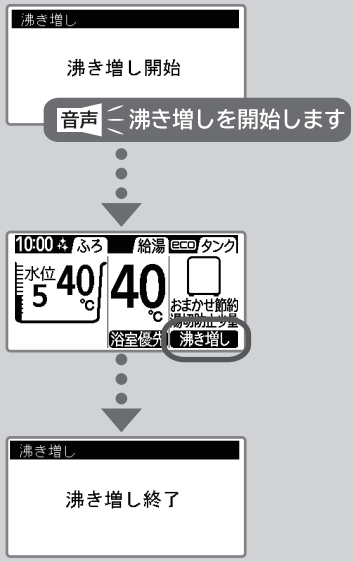
1 タンク沸き増し または、タンク沸き増し を3回押す。

●画面の「タンク残湯表示」が３目盛り点滅します。



2 決定 を押す。

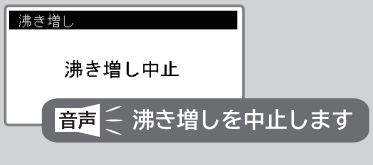
●「タンク沸き増し」を開始します。
※残湯表示が点滅中、５秒間操作をしない場合も沸き増しを開始します。
●画面に「沸き増し」が表示されます。



途中でやめたいとき

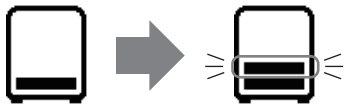
タンク沸き増し または、タンク沸き増し を押す。

●「タンク沸き増し」を中止します。



お知らせ

●既に残湯量目盛が表示しているときは、その残湯量目盛を起点として、その上の目盛が点滅します。



●「タンク沸き増し」ボタンを押すごとに残湯量目盛の点滅が増えます。５つ目の目盛が点滅した状態から更にボタンを押すと、最初の残湯量目盛表示に戻ります。この状態を選択した場合、タンク沸き増しは行いません。
●タンク内に十分のお湯があるときは、「タンク沸き増し」ボタンを押しても、「沸き増し」運転しないことがあります。

ご注意

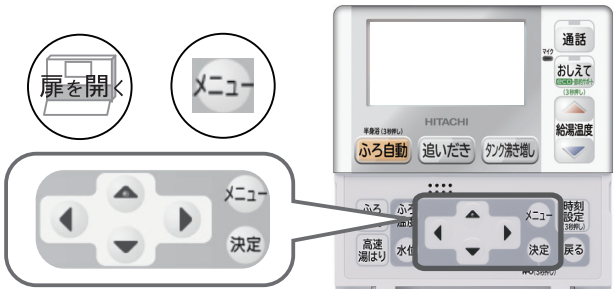
●昼間時間帯の「タンク沸き増し」運転は電気料金が割高になります。
●頻繁にお湯が不足するような場合は、「沸き上げ設定」の設定内容を確認し、深夜時間帯の沸き上げ量が少ない場合は「沸き上げ設定」を変更してください。→P.57

使ったお湯と使えるお湯の量を知りたいとき

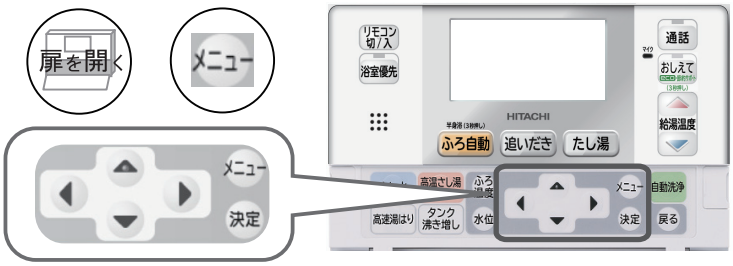
■残湯量確認/使用実績(使用湯量確認)

いつもに比べてお湯を使いすぎていないか、いつものペースでお湯を使うと不足しないかを調べることができます。また、昨日までの７日間のタンクのお湯の使用実績を見ることができます。

台所リモコン

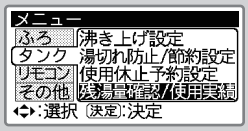


ふろリモコン



1  で、「タンク」「残湯量確認/使用実績」を選択し、

決定 を押す。



●「使用湯量目安」の画面になります。

2 使用湯量を確認します。

●使用湯量目安は、表示した時刻までに使ったお湯の量を、給湯設定温度に換算し、本日、昨日、週平均（昨日までの６日間の平均）を〔リットル〕で表示します。また、昨日と週平均は、１日分についても合わせて表示します。

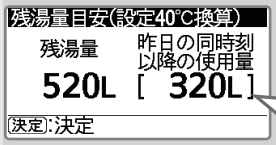


確認後、決定 を押す。

●「残湯量目安」画面になります。

3 残湯量を確認します。

●残湯量目安は、給湯設定温度に換算した、今後使えるお湯の量の目安です。現在の残湯量と昨日の同時刻以降の使用湯量を〔リットル〕で表示します。

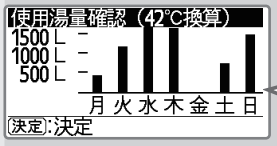


確認後、決定 を押す。

●「使用湯量確認」画面になります。

4 昨日までの7日間のタンクのお湯の使用実績をグラフで確認します。

確認後、決定 を押す。



●「標準画面」に戻ります。

お知らせ

●「使用湯量目安」「残湯量目安」の表示される数値は、目安です。10L 単位で表示します。

●「使用湯量目安」は、給湯やふろ機能で実際に使用した湯量の合計を給湯設定温度に換算して表示します。ふろの追いだきで使用した熱量は、含みません。

●残湯量が多くてもふろ自動や追いだきに時間がかかることがあります。

●「使用湯量目安」は貯湯ユニットから出た湯量を表示します。混合水栓の「水側」の水量は、使用湯量に含まれません。

●「使用湯量目安」の１日分は、０時 00 分から 23 時 59 分までの数値になります。

●本日は、０時 00 分に０Ｌになります。

●タンクのお湯と水から給湯設定温度または 42℃換算とするため、タンクのお湯の温度を一定としたとき、水温の高い夏のほうが水温の低い冬に比べ、使えるお湯の量は多くなります。

●昨日の同時刻以降の使用量を考慮して、使えるお湯の量（残湯量）が少ない場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 ➔P.43

●昨日までの７日間のタンクのお湯の使用実績は、お湯の使用量を 42℃換算した湯量で表示しています。

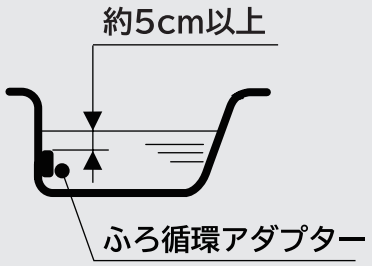
●ふろの追いだきも含めて換算していますので、実際に使用したお湯の量とは異なります。

凍結防止について（外気温が低いとき）

●各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、貯湯ユニットや配管が破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、お買い上げの販売店または工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

浴そうのお湯は抜かない

冬季は、凍結防止自動運転のため、浴そうのお湯をふろ循環アダプター上端より5cm以上残しておいてください。
凍結防止自動運転は循環ポンプを運転しますので運転音がします。



●外気温度が下がると、ふろ配管に浴そうのお湯を自動で循環させて凍結を防止します。

●凍結防止運転中はリモコンに「凍結防止」を表示します。

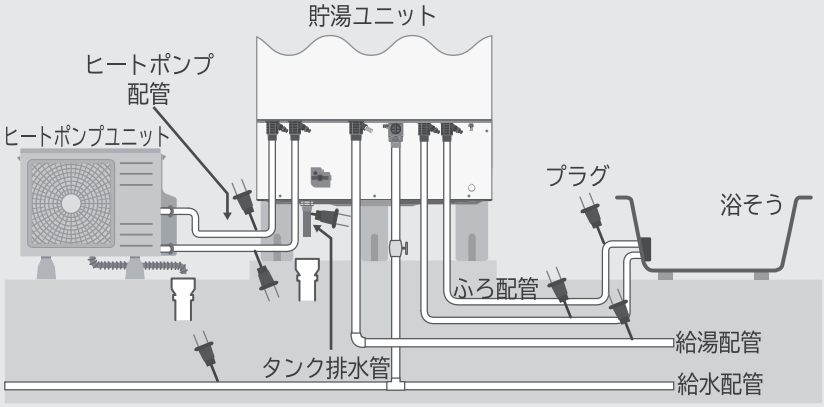


混合水栓を少し開いておく

1. 給湯温度を「低温」に設定します。
2. 混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。
   - シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして開けます。
   - ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度に開けます。
   - サーモスタット付きの場合は、混合水栓の設定温度を40℃前後にしてください。

凍結防止ヒーターを使う

1. 凍結防止ヒーターが、下図のように巻かれていることを確認します。
2. 使用時は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。



ご注意

●浴そうにお湯がない場合、循環ポンプは運転しますが、ふろ配管の凍結防止はできませんのでご注意ください。また、この場合、ふろ配管内の水が浴そうに排出され、浴そうでゴボゴボ音がします。

●冬季は凍結防止運転が動作するため、ふろ自動運転の終了後に入浴すると、ふろ循環アダプターから冷めたお湯が出てくる場合があります。

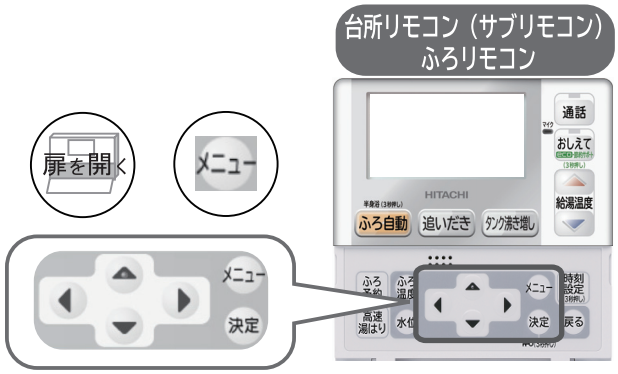
お願い

●配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●凍結しない季節になったら、プラグをコンセントから抜いてください。

数日間お湯を使わないとき（使用休止を予約する）

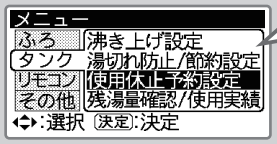
●旅行へ出かけるなど、お湯を使わないことが事前にわかっている場合は、タンクの使用を休止することが予約できます。
●休止できる日数は、1日～31日間設定できます。
●休止日は、最大6か月先の月まで予約できます。
●使用休止中も気温が低くなると、凍結による機器の破損を防ぐため、沸き上げる場合があります。



※10月20日から使用を休止し、10月30日からお湯の使用を再開する場合の例です。
この設定をすると、29日の深夜時間帯から沸き上げを再開し、30日朝（深夜時間帯終了後）にはお湯が使用できます。

1 で「タンク」/「使用休止予約設定」を選択し、決定 を押す。

●「使用休止予約設定」の入力画面になります。



●既に「使用休止予約」が設定済みの場合は、休止予約済みの場合 に進みます。

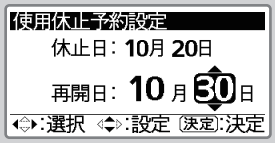
2 で「休止日」を設定し、決定 を押す。

●「再開日」の入力画面になります。



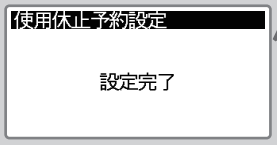
3 で「使用再開日」を設定し、決定 を押す。

●確認画面になります。



4 確認後、決定 を押す。

●設定完了画面になり、「標準画面」に戻ります。
●再開日の朝（深夜時間帯終了時）からお湯が使えます。



●設定すると「使用休止予約」が画面に表示されます。
●使用休止期間に入ると、「使用休止中」が画面に表示されます。

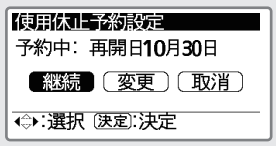


●使用休止期間が終了すると「使用休止中」の表示が消えます。

休止予約済みの場合

予約内容が表示され、継続／変更／取消の選択画面が表示されます。

■「継続」：休止予約を継続
■「変更」：予約の変更
　2 から操作してください。
■「取消」：休止予約の取り消し



ご注意

●冬季に気温が低くなるときは元電源を「OFF」しないでください。凍結防止運転が行えず、機器が凍結し、故障の原因になります。
また、使用休止予約の設定はしないでください。 貯湯ユニットや配管が凍結し、故障の原因 になります。

1か月以上お湯を使用しないとき(排水のしかた)

●1か月以上使用しないときは、運転を止め貯湯ユニット、ヒートポンプユニットおよび配管の水を抜いてください。
●ふたたび使用するときは、「貯湯ユニットに給水するとき」→P.45にしたがって貯湯ユニットへ給水してください。

1 混合水栓を開く

●ぬるい水が出てくるまで開いておきます。貯湯ユニット排水時に熱湯が排水されることを防止します。(貯湯ユニットの排水温度は45℃以下にしてください)

2 貯湯ユニットのお湯を排水する

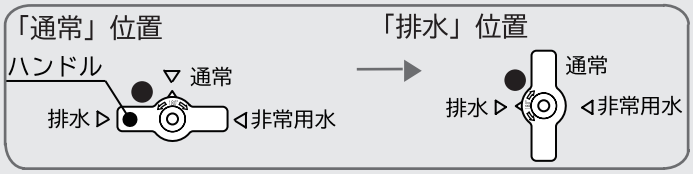
1 **漏電遮断器のスイッチを「OFF」にします。**

2 **脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーまたは配管カバーを外します。**

3 **タンク専用止水栓を閉じます。**
●貯湯ユニットへの給水を止めます。タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。

4 **逃し弁のレバーを上げます。**

5 **タンク排水栓のハンドルを左へ90°回し、「排水」位置にします。**



貯湯ユニットの水を排水します。排水口から水があふれないようタンク排水栓の開き具合を調節してください。
※排水は約30分～1時間かかります。

6 **貯湯ユニットの「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ふろ往き側水抜き栓」、「ふろ戻り側水抜き栓」、「ふろ循環ポンプ水抜き栓」、「ヒートポンプA側水抜き栓」、「ヒートポンプB側水抜き栓」を開きます。**

3 ヒートポンプユニットの水抜きをする

1 **ねじを取りはずし、カバーをツメ(6か所)が抜けるまで下方へスライドさせて外します。**

2 **ヒートポンプユニットの「熱交下水抜き栓」、「熱交上水抜き栓」、「入水金具水抜き栓」を開きます。**

4 排水栓、水抜き栓を閉じる

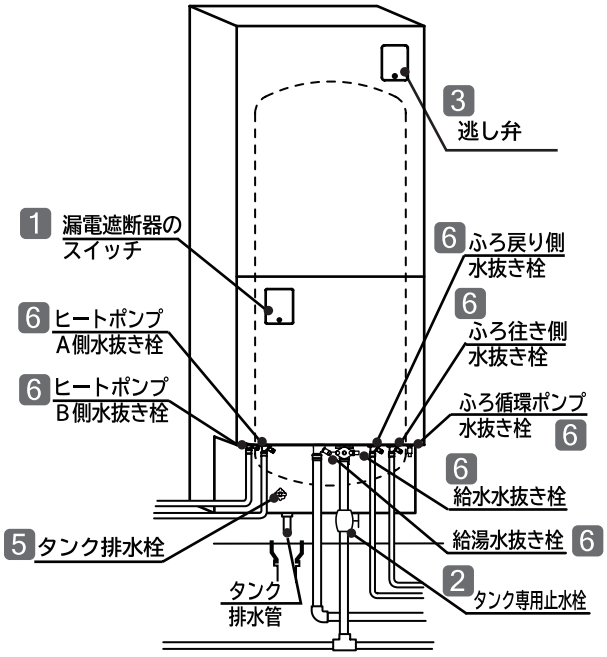
●排水栓および全ての水抜き栓から水が出なくなったら、

1 **貯湯ユニットの「タンク排水栓」を「通常」位置にし、各「水抜き栓」を閉じます。**
※脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、元どおり取り付けてください。

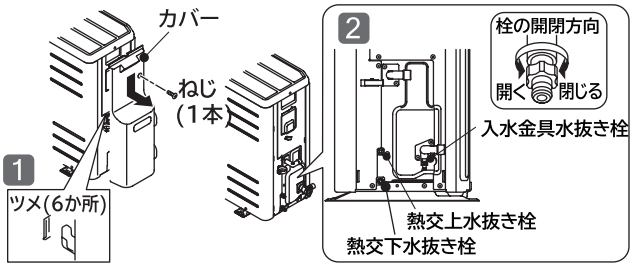
2 **ヒートポンプユニットの各「水抜き栓」を閉じます。**

3 **ヒートポンプユニットの「カバー」を元通り取り付けます。**

2 貯湯ユニット



3 ヒートポンプユニット



お願い

●水抜き終了後、「排水栓」、各「水抜き栓」が閉まっていることを確認してください。
●凍結するおそれの高い地域の場合は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。
●前日から準備できる場合、使用休止予約を行ってください。むだな沸き上げを行いません。
→P.43

⚠警告

やけど注意

やけどのおそれあり。
●高温の湯を排水することがあります。

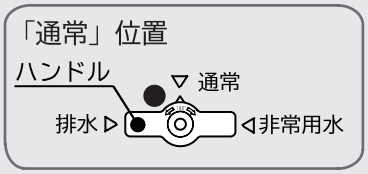
貯湯ユニット給水をするとき

●ご使用前に貯湯ユニットを満水にしてヒートポンプユニットのエア抜きを行う必要があります。
●BHP-F56LU 型の場合は、以下の手順に従ってください。
BHP-F56LD 型の場合は、この操作以外に給湯回路部のエア抜きが必要なため、お買い上げの販売店または工事店に作業を依頼してください。（有償になります）

1 貯湯ユニットに給水する

1 脚カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーを外します。

2 タンク排水栓を「通常」の位置にします。



3 「給水水抜き栓」、「給湯水抜き栓」、「ふろ往き側水抜き栓」、「ふろ戻り側水抜き栓」、「ふろ循環ポンプ水抜き栓」、「ヒートポンプ A 側水抜き栓」、「ヒートポンプ B 側水抜き栓」が閉じていることを確認します。

4 逃し弁のレバーを上げます。

5 タンク専用止水栓を開き、タンクへの給水を行います。
タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。

6 タンク排水管から水が出ることを確認します。
(連続で水が出てきたら満水です。約30～40分かかります。)

7 逃し弁のレバーを下げます。

2 ヒートポンプユニットのエア抜きをする

1 ねじを取りはずし、カバーをツメ（6か所）が抜けるまで下方へスライドさせて外します。

2 「熱交下水抜き栓」を開きます。3 分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認しましたら閉じます。

3 「熱交上水抜き栓」を開きます。3 分以上開き、勢いよく水が出てくることを確認してください。確認したら閉じます。

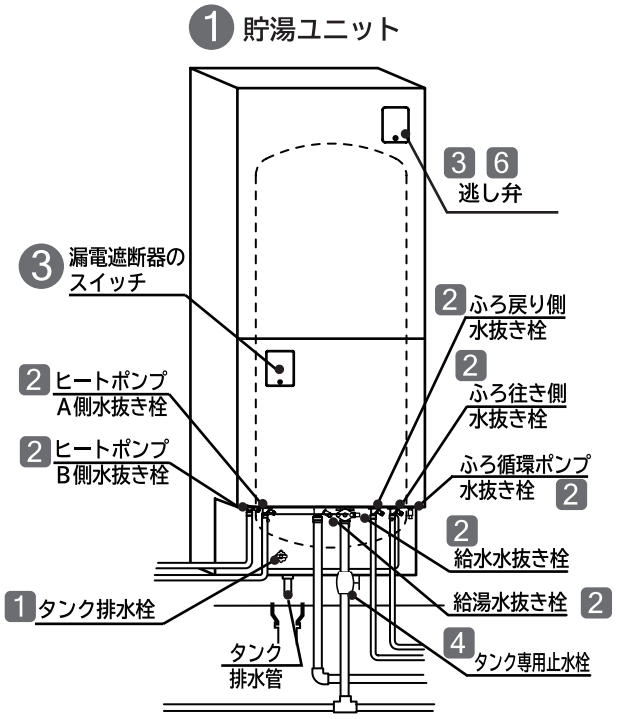
4 カバーを元どおり取り付けます。

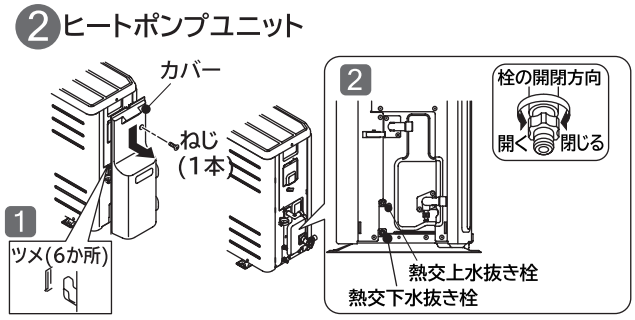
3 電源を入れる

1 脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、元どおり取り付けてください。

2 200Vの電源ブレーカーを「ON」にします。

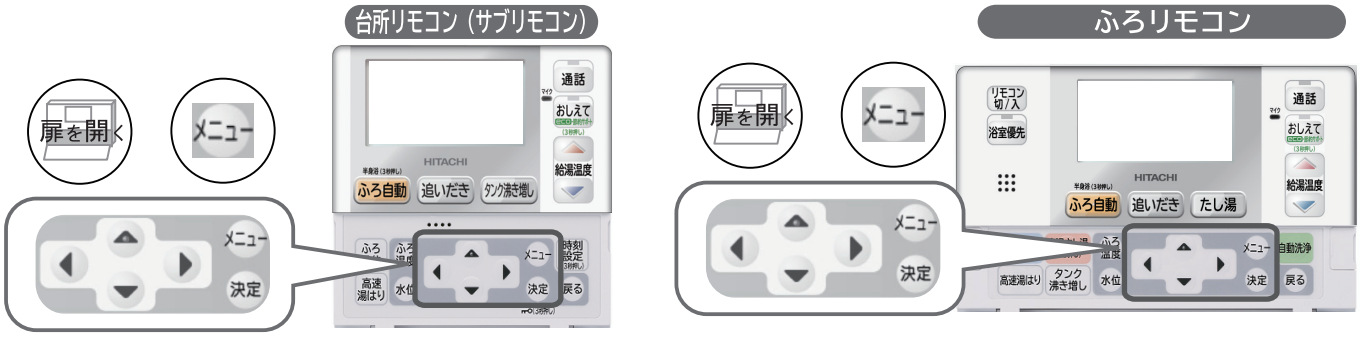
3 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチを「ON」にします。





お願い

●必ず、貯湯ユニットを満水にし、ヒートポンプユニットのエア抜きが完了していることを確認してから電源を入れてください。

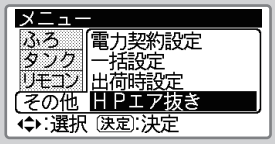


4 ヒートポンプ配管のエア抜きをする

1  で「その他」/「ＨＰエア抜き」を選択し、

 を押す。

●「ＨＰエア抜き」画面になります。



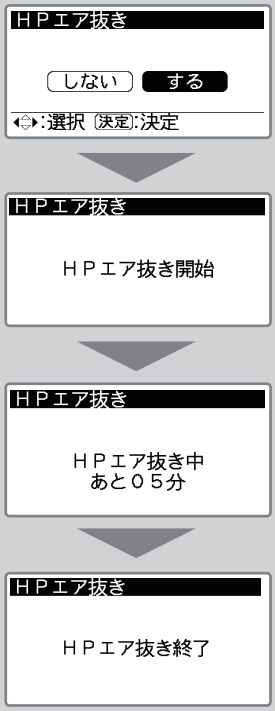
---

2  で「する」を選択し、

 を押す。

●ヒートポンプ配管のエア抜きを行います。
ヒートポンプ配管のエア抜きは５分行います。終了したら自動的に「ＨＰエア抜き終了」の画面に変わります。

●「ＨＰエア抜き終了」の画面から約２秒後自動的に標準画面に戻ります。



タンクのお湯を非常時使用するとき

●万一の災害時に、タンクのお湯を非常用生活用水として利用できます。
●飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする。

2 脚カバーを外す。

※脚カバーを取り付けている場合は、ねじを外し、脚カバーを外してください。

3 タンク専用止水栓を閉じる。

●タンクへの給水を止めます。タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。

4 逃し弁を開く。

●タンクに空気を入れ、取水できるようにします。

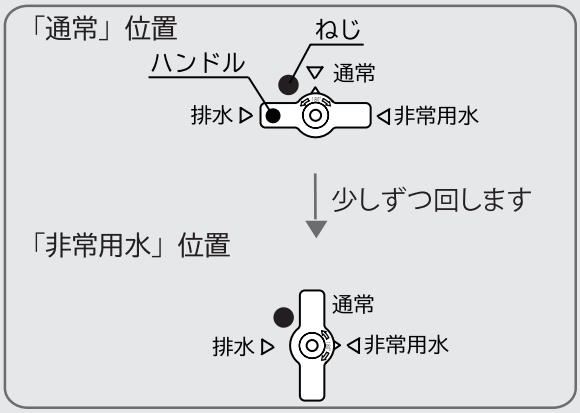
5 取水ホースを取り出す。

●取水ホースを貯湯ユニットの外に引き出し、バケツなどで受けてください。

6 タンク内のお湯（水）を出す。

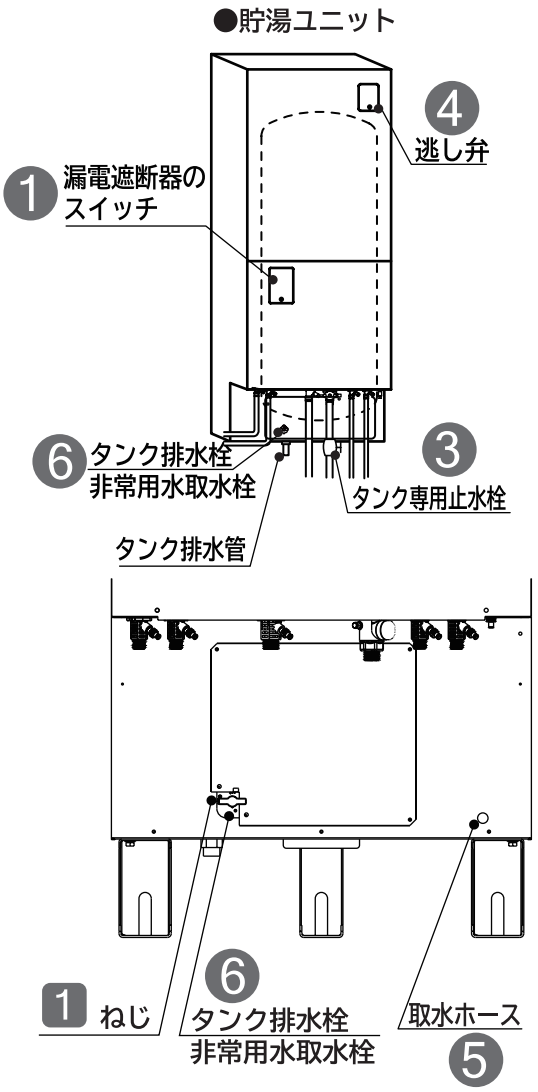
1 ねじを取り外します。

2 ハンドルを少しずつ右に回します。
※早く回すと、お湯（水）が勢いよく出ますので、ご注意ください。



3 止めるときは、ハンドルを左に回し、「通常」位置に合わせてください。

4 1 で取り外したねじを取り付けてください。



お願い

●取水ホースからは、お湯（水）が出てきますが、使いはじめは、湯アカなどが出ますのでしばらく洗い流してください。取水後は、「タンク排水栓」を「通常」位置でに戻してください。

●災害が復旧し、給湯機としてふたたび使用するときは、「貯湯ユニットに給水するとき」→P.49に従って貯湯ユニットに給水してください。

⚠ 警告

やけど注意

取水中、熱湯（最高90℃）が出る場合があります。
非常用水使用時は湯温を確かめて熱に強い容器を使用してください。

停電のとき

●停電中は、「給湯」、「ふろ機能」とも使用できません。
BHP-F56LD 型はタンク内にお湯が残っていても、シャワーや蛇口を開くと水が出てお湯は出ません。
BHP-F56LU 型は、タンクにお湯が残っていれば、シャワーや蛇口を開くとお湯が出ます。ただし、リモコンに設定した温度のお湯にはなりません。また、熱いお湯が出る場合がありますのでご注意ください。
●停電復帰時、時刻がずれたり各リモコンの設定が変わる場合がありますので、各リモコンの設定を確認してください。

リモコン	項目	停電復帰時の設定値
台所リモコン（サブリモコン） 	日付 時刻	ずれている場合があります。現在の日付・時刻に合わせてください。 →P.61・62
ふろリモコン 	その他	設定値は記憶されていますが、停電前と変わっていないか確認してください。

お願い

停電復帰時は、必ず「リモコン」の時刻を確認してください。

●時刻が違っている場合は、電気料金が割高になる場合がありますので、現在時刻を合わせてください。

お知らせ

●浴そうの湯はり中に停電した場合、停電が復帰しても湯はりは再開しません。湯はりをしたい場合は浴そうのお湯を全部抜いてから「ふろ自動」ボタンを再度押してください。

断水のとき

●断水のときは「タンク専用止水栓」を閉じてください。
断水中は貯湯ユニット内に給水されないためお湯は出ません。
●断水時にはすべての混合水栓（蛇口）を水側にして、混合水栓（蛇口）を開けないでください。
●断水復帰後、混合水栓（蛇口）の水側を開けて、水の汚れがなくなったのを確認してから、「タンク専用止水栓」を開いて使用を再開してください。
●断水復帰直後は、水圧が低い場合がありますので、ご使用は水圧が高くなるまで待ってください。

ご注意

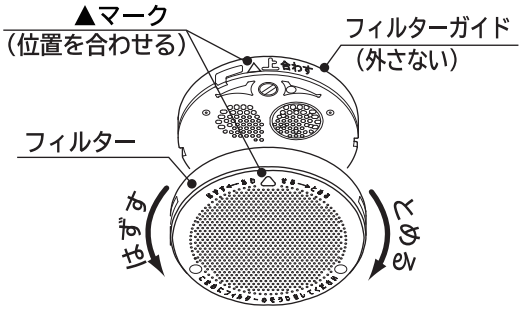
●タンク専用止水栓を閉じないでそのまま使用すると、次のような原因になります。
・濁った水で貯湯ユニットのストレーナ部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る。
・貯湯ユニットに空気が入り断水復帰後、設定温度のお湯が出なかったり、湯温が安定しない。

お手入れと点検

日常のお手入れ

■ふろ循環アダプターの掃除

●浴そうのふろ循環アダプターが汚れていると、湯はりなどのふろ機能が正常に動作しなかったり、汚れが浴そう内に流れ出したりすることがあります。こまめに掃除してください。



1 **浴そうのお湯を排水した後、「ふろ循環アダプター」のフィルターを外す。**

※フィルターガイドは外さないでください。

2 **歯ブラシなどで水洗いする。**

●フィルターおよびフィルターガイドに付着した湯あかはこまめに掃除してください。

3 **フィルターを元どおり取り付けてる。**

●取り付け時は、フィルターガイドの「△」のマークにフィルターの「△」を合わせてはめ込み右に止まるまで回してください。

※フィルターは**無理にはめ込まない**でください。

お知らせ

●ふろ循環アダプターの種類によりフィルターの外し方が異なる場合があります。

■リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れたときは、乾いた布や水に濡らした布を固く絞ってふいてください。

●汚れが落ちにくい場合は、台所中性洗剤を薄めて使い、ぬるま湯を含ませた布で拭き取ってください。

ご注意 リモコンの掃除は・・

●「台所用中性洗剤」以外の洗剤「ベンジン」「シンナー」などは、リモコンの変形や変色の原因になります。使用しないでください。

●水洗いはしないでください。故障の原因になります。

月に1度のお手入れと点検

■時刻の確認

月に一度は時刻を確認し、正確な現在時刻に合わせてください。

●リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。 →P.62

■漏電遮断器の点検

●漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

1 **テストボタンを押す。** →P.15

●スイッチが「ON」→「OFF」になれば正常です。

2 **スイッチを「ON」に戻します。**

お願い **テストボタンを押しても「OFF」にならない場合は、「電源ブレーカー」を「OFF」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。**

⚠警告

漏電遮断器の動作を確認する。

動作確認

●故障のまま使用すると感電することがあります。

●確認後は操作カバーを閉じてください。開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

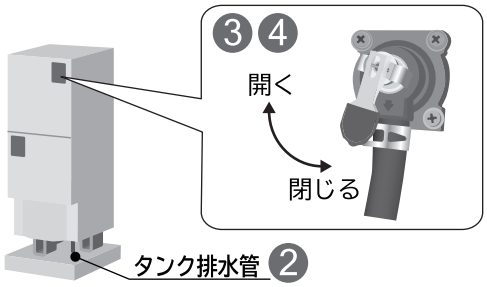


年に２～３度のお手入れと点検

■逃し弁の点検

●逃し弁は、沸き上げ時にタンク内の膨張水を排出し、タンク内が高圧になるのを防ぎます。

1. 沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」または「沸き増し」が表示）でないことを確認する。
2. タンク排水管からお湯（水）が出ていないことを確認する。
3. 逃し弁のレバーを上げ（開）、タンク排水管からお湯（水）が出ることを確認する。
4. 逃し弁のレバーを下げて、お湯（水）が止まることを確認する。
   ●お湯（水）が止まらないときは、レバーを２～３回、上げ下げしてください。



⚠警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。
●手を触れるとやけどをすることがあります。

お願い

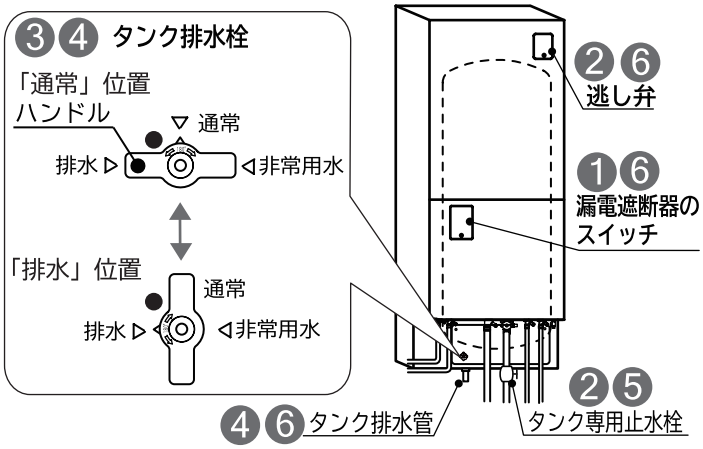
●**逃し弁の点検は、沸き上げ中に行わないでください。**
●点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げて閉じてください。
●レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯（水）が出ない場合や、レバーが下がっているのに、お湯（水）が出る場合は、弁類の故障が考えられます。
漏電遮断器のスイッチを「OFF」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

お知らせ
●「沸き上げ」または「沸き増し」中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。

■貯湯ユニットの掃除

●使用中、タンク底部に湯アカなどの沈でん物がたまります。タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。

1. 沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」または「沸き増し」が表示）でないことを確認し、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする。
2. 脚カバーある場合は、ねじを外し、脚カバーを外す。
3. タンク専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げる。
   ●タンク専用止水栓が右図の位置にない場合、お買い上げの販売店に位置をお問い合わせください。
   ●BHP-F56LD 型の場合は ③操作は必要ありません。④へ進んでください。また、⑥の操作も必要ありません。
4. タンク排水栓のハンドルを左に 90° 回し「排水」位置とし、約2分間排水する。
5. タンク排水栓のハンドルを右に 90° 回し、「通常」位置とし、タンク排水管からお湯が出ないことを確認する。
6. タンク専用止水栓を開ける。
7. タンク排水管からお湯（逃し弁からのお湯）が出てきたら逃し弁のレバーを下げる。
   ●お湯が止まらない場合は、逃し弁のレバーを２～３回、上げ下げしてください。
8. 脚カバーまたは配管カバーを取り付けている場合は、元どおり取り付ける。
9. 漏電遮断器のスイッチを「ON」にする。



※脚カバーがある場合は、ねじを外し、脚カバーを外してください。

⚠警告

貯湯ユニットの排水時は、お湯に手を触れない。
●熱いお湯が出てやけどをすることがあります。

■配管の点検

貯湯ユニット周囲が漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。

●特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。ドレンホースから、水が出ていないことを確認してください。

お手入れと点検（続き）

ふろ追いだき配管の自動洗浄

■ふだんの洗浄（自動洗浄）

●ふろ自動運転終了後に浴そうのお湯を排水するときに、追いだき用配管内に残った湯水を水道水で流してふろ追いだき配管を自動洗浄することができます。→P.26
●配管の汚れを防ぐために自動洗浄を設定しておくことをおすすめします。

⚠警告

やけど注意

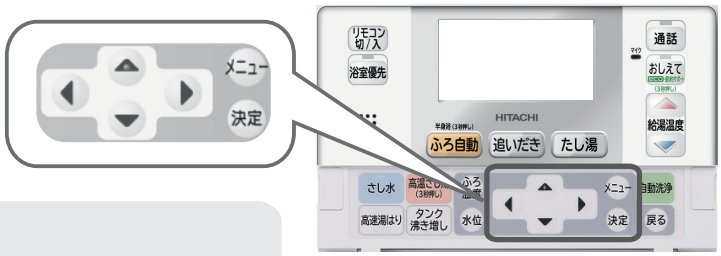
自動洗浄中に浴そうに入らない

●追いだき配管内に残っている高温のお湯が、ふろ循環アダプターから出て、やけどをすることがあります。
●浴そうの排水後の掃除には十分ご注意ください。排水後すぐに浴そうを掃除するとやけどをすることがあります。
●浴そうの掃除は、ふろ循環アダプターからお湯が出なくなったことを確認後、完全に排水された後に行ってください。

■半年に一度の洗浄（循環洗浄）

●市販の洗浄剤を使用して、ふろ追いだき配管を洗浄します。ふろ追いだき配管にたまった湯アカを洗い流し、汚れの付着を軽減するために、半年に１回程度「循環洗浄」を行ってください。
●排水時の自動洗浄で汚れが浴そうに排出された場合は、そのつど洗浄剤を使用して循環洗浄を行ってください。

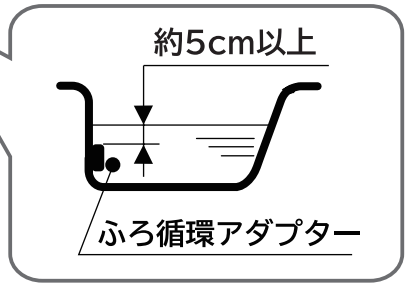
ふろリモコン



洗浄の準備

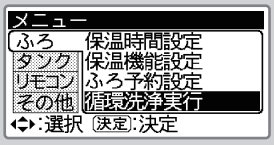
●浴そうのお湯をふろ循環アダプター上端より上に５cm 以上残しておく。
●浴そうに洗浄剤を入れます。使用上の注意、安全上の注意は洗浄剤の説明書に従ってください。





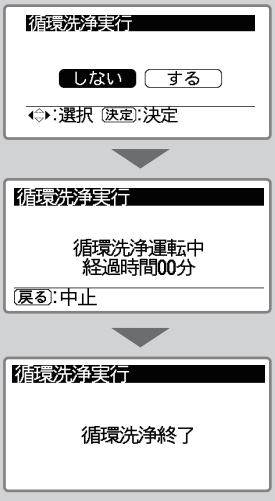
1 「ふろ」/「循環洗浄実行」を選択し、決定 を押す。

●「循環洗浄実行」の入力画面になります。



2 ◀ ▶ で「する」を選択し、決定 を押す。

●約 10 分間、洗浄剤がふろ追いだき配管内を自動で循環し、ふろ追いだき配管を洗浄します。
●途中で中止する場合は、「戻る」ボタンを押します。
●その後、約３分間水道水が注水され配管内のすすぎを行います。



洗浄後

●浴そうの排水栓を開いて排水する。
●浴そうの掃除をする。
浴そうには洗浄剤が付着しますので、ふろ追いだき配管洗浄後は、浴そうの掃除をしてください。

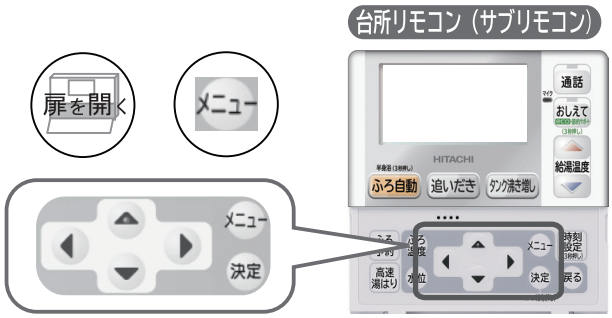
ご注意

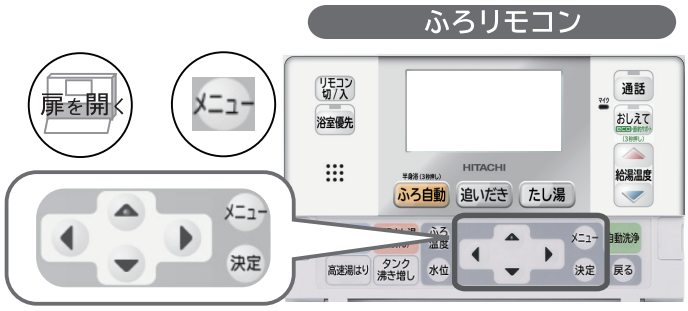
●ふろ追いだき配管の洗浄を行うと、残湯量が少なくなります。（タンク内の温度が下がります）お湯をたくさん使う予定がある場合は、お湯を使い終わった後で循環洗浄をしてください。

推奨洗浄剤

●商品名　ジャバ１つ穴用
●発売元　ジョンソン株式会社

給湯機の設定





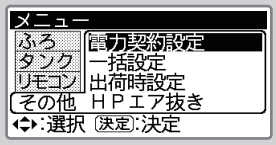
■電力契約の設定

●電力契約が設定済みであるか、販売店または工事店に確認してください。
設定がされている場合は、変更する必要はありません。

●「一括設定」による設定の場合は 2 からの操作になります。→P.21

1 「その他」/「電力契約設定」を選択し、決定 を押す。

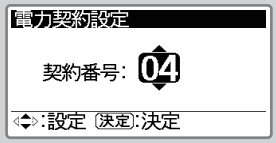
●「電力契約設定」の設定画面になります。



2 ▲▼ で契約番号を選択する。

●下記の図表を参照して、番号を選択します。

決定 を押す。



ご注意

●電力契約番号の設定が誤っていると電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよくお確かめの上設定してください。

お知らせ

●電力契約番号は、当社独自の番号であり、電力会社が定めるものではありません。

■電力契約の番号と時間帯概要（2013年1月現在）

※グラフの上の数字は時刻を表しています。契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合わせください。
Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

●契約名称と設定する契約番号

電力会社	契約名称	契約番号
北海道電力	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯22時～6時）	07
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯23時～7時）	08
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯24時～8時）	09
	eタイム3	06
東北電力	やりくりナイト8	00
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06
東京電力	おトクなナイト8	00
	電化上手	02
	おトクなナイト10	06
中部電力	タイムプラン	00
	Eライフプラン	04
北陸電力	エルフナイト8	00
	エルフナイト10プラス	05
	エルフナイト10	06
関西電力	時間帯別電灯	00
	はぴｅタイム	02
中国電力	エコノミーナイト	01
	ファミリータイム	03
四国電力	電化Deナイト、得トクナイト	00
九州電力	時間帯別電灯	00
	電化deナイト	05
	よかナイト10	06
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	Eeらいふ	02

●契約番号と時間帯名称

契約番号	時間帯名称
00	0 深夜時間帯Aゾーン 7 昼間時間帯Bゾーン 23 深夜 24
01	0 深夜時間帯Aゾーン 8 昼間時間帯Bゾーン 23 深夜 24
02	0 深夜時間帯Aゾーン 7 朝晩・リビングBゾーン 10 昼間時間帯Cゾーン 17 朝晩・リビングBゾーン 23 深夜 24
03	0 深夜時間帯Aゾーン 8 朝晩・リビングBゾーン 10 昼間時間帯Cゾーン 17 朝晩・リビングBゾーン 23 深夜 24
04	0 深夜時間帯Aゾーン 7 朝晩・リビングBゾーン 9 昼間時間帯Cゾーン 17 朝晩・リビングBゾーン 23 深夜 24
05	0 深夜時間帯Aゾーン 8 朝晩・リビングBゾーン 10 昼間時間帯Cゾーン 17 朝晩・リビングBゾーン 22 深夜 24
06	0 深夜時間帯Aゾーン 8 昼間時間帯Bゾーン 22 深夜 24
07	0 深夜時間帯Aゾーン 6 昼間時間帯Bゾーン 16 ピークCゾーン 18 昼間時間帯Bゾーン 22 深夜 24
08	0 深夜時間帯Aゾーン 7 昼間時間帯Bゾーン 16 ピークCゾーン 18 昼間時間帯Bゾーン 23 深夜 24
09	0 深夜時間帯Aゾーン 8 昼間時間帯Bゾーン 16 ピークCゾーン 18 昼間時間帯Bゾーン 24

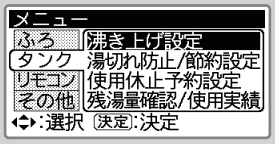
給湯機の設定（続き）

■沸き上げ設定

●沸き上げる湯量を設定します。使用するお湯の量に合った設定をしてください。
●工場出荷時は、「おまかせ 節約」に設定されています。
●使えるお湯の量は、「沸き上げ設定」のほかに「湯切れ防止設定」で変わります。「湯切れ防止設定」も必ずご確認ください。

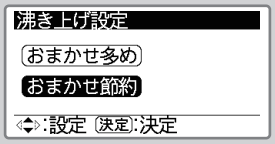
1 「タンク」/「沸き上げ設定」を選択し、決定 を押す。

●「沸き上げ設定」画面になります。



2 で湯量を選択する。

●下の沸き上げ設定の目安を参照して、選択します。決定 を押す。



お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。➔P.21

お知らせ

●既に設定されている沸き上げ設定を反転表示します。
●設定は下の「沸き上げ設定の目安」表を参考に設定してください。

■沸き上げ設定の目安

沸き上げ設定	沸き上げ内容と設定の目安
おまかせ節約 (約 65 ~ 90℃)	昨日までの 7 日間の平均使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯の残りが少なくなるように、少なめに沸き上げる設定です。 **●お湯の使用量が少ない場合の設定です。** ※頻繁にお湯が不足（湯切れ）する場合は、「おまかせ多め」に設定を変更してください。
おまかせ多め (約 70 ~ 90℃)	昨日までの 7 日間の最大使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯が不足（湯切れ）しにくいように、多めに沸き上げる設定です。 **●家族が多いなど、お湯の使用量がわからない場合の設定です。** ※お湯の使用量が分からない場合はこの設定にして、頻繁にお湯が余る場合は、「おまかせ節約」に設定を変更してください。

お湯の使用量が多く、深夜時間帯の沸き上げだけではお湯が不足する場合は、不足分を電力契約のBゾーン時間帯（➔P.56）で沸き上げます。

お知らせ

●沸き上げ設定の温度はヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。ヒートポンプユニットから貯湯ユニットまでの配管の長さ、配管の保温状態、外気温度などによりタンクにたまるお湯の温度は沸き上げ温度より低くなります。
●追いだきを多く使う場合は、「おまかせ多め」を使用してください。「おまかせ節約」の場合、湯量が不足し、追いだきできなくなる場合があります。なお、「おまかせ多め」でも湯量が不足し、追いだきができなくなる場合は「タンク沸き増し」ボタンを を押して沸き上げを行ってください（➔P.43）。
●不足分の B ゾーン時間帯沸き上げは残湯量目盛の上から 2 目盛り目が消灯するころに開始します（➔P.14）。そのため、「湯切れ防止 少量」よりも先に沸き上げ運転を行いますが異常ではありません。
●不足分の B ゾーン時間帯での沸き上げは「湯切れ防止」設定を「切」にすると行いません。湯切れする場合は、「湯切れ防止」設定「少量または全量」を設定してください（➔P.58）。

■湯切れ防止 / 節約設定

■湯切れ防止設定とは

タンク内のお湯が減るたびに自動で「湯切れ防止」機能がはたらき、湯切れ（お湯の不足）を防ぐ設定です。昼間（電力契約のＢゾーンやＣゾーン時間帯）にも「湯切れ防止」機能がはたらくため、電気料金が割高になる場合があります。「湯切れ防止」で設定できるお湯の量には、「少量」と「全量」があります。

通常は				お湯を多く使用したい日は			
湯 水	「少量」 ➡ 残湯量が少なくなると	湯 水	追加で約120Lをお湯にします	湯 水	「全量」 ➡ 約75Lお湯を使用すると	湯	タンク全体をお湯にします

お知らせ

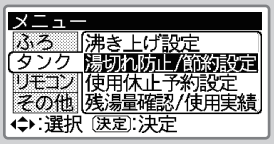
●残湯量の検知はタンクの湯の温度で行うためタンクの湯の温度によっては、残湯量が多い場合でも「湯切れ防止」機能がはたらく場合があります。

■節約設定とは

電気料金を節約するための設定です。湯切れが発生しても、電気料金を節約するために「湯切れ防止」機能を翌日のＢゾーン開始時刻（➡P.56）まで休止する機能です。朝7時から設定できます。

1 「タンク」/「湯切れ防止/節約設定」を選択し、決定 を押す。

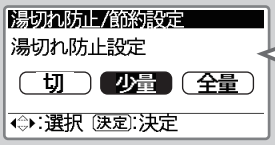
●「湯切れ防止設定」画面になります。



2 ◀ ▶ で湯量を選択する。

決定 を押す。

●節約設定の画面になります。

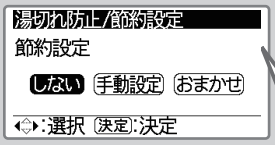


●既に設定されている内容を反転表示します。
●湯切れ防止設定を「切」に設定すると「湯切れ防止」機能ははたらきませんので、湯切れする可能性があります。
●湯切れ防止設定を「切」に設定した場合、設定はここで完了し、3「節約設定」画面にはなりません。

3 ◀ ▶ で「節約設定」を選択し、

決定 を押す。

●時刻入力の画面になります。

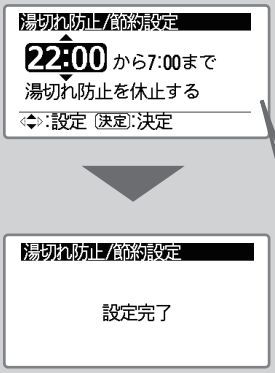


●既に設定されている内容を反転表示します。
●節約設定を「しない」「おまかせ」に設定した場合、設定はここで完了し、4「時刻入力」画面にはなりません。
●「おまかせ」と「沸き増し節約（➡P.36）」は同じ機能です。「おまかせ」に設定すると、「沸き増し節約」も「入」に設定されます。

4 ▲ ▼ で湯切れ防止を休止する開始時刻を設定し、

決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。



●設定は「7:00」から30分刻みで設定できます。
●時刻を設定するとその時刻以降は翌日のＢゾーン開始時刻まで「湯切れ防止」機能は、はたらきませんので湯切れする可能性があります。

お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は2から操作します。➡P.21

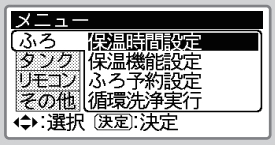
給湯機の設定（続き）

■保温時間設定

■ふろ自動運転で、湯はり終了後の保温する時間を設定します。
●保温時間を０時間に設定すると保温はしません。（ふろ自動運転は、湯はりのみになります）
●最大６時間まで保温することができますが、節電のため余分な保温はしないようにしてください。

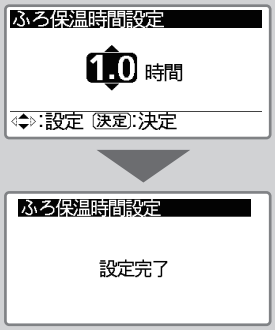
1 「ふろ」/「保温時間設定」を選択し 決定 を押す。

●「ふろ保温時間設定」の画面になります。



2 ▲▼ で時間を設定し 決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。



お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。➡P.21

お知らせ

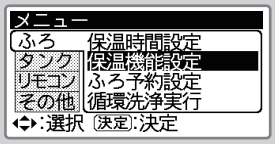
●0.5 時間（30 分）単位で最大 6 時間まで設定できます。

■保温機能設定

■ふろ自動運転で、湯はり終了後の保温機能を設定します。
●浴そうのお湯が冷めると、設定した「ふろ温度」まで自動で「追いだき」をし、保温時間の間「ふろ温度」を一定に保ちます。
●浴そうのお湯の量が減ると、設定した「水位」まで自動で「たし湯」をし、保温時間の間「水位」を一定に保ちます。
●「温度のみ」を選択すると「ふろ温度」のみを一定に保ちます。
●「保温時間」を０時間に設定した場合は保温機能は働きません。

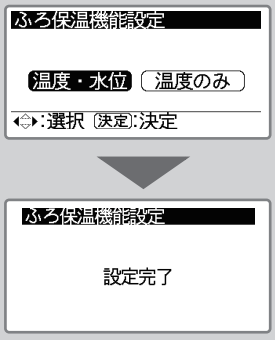
1 「ふろ」/「保温機能設定」を選択し 決定 を押す。

●「ふろ保温機能設定」の画面になります。



2 ◀▶ で保温機能を選択し 決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。



ご注意

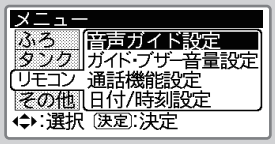
●浴そうのお湯の温度は、配管の長さや浴そうの放熱などにより、設定されたふろ温度より低い場合があります。
●ジェットバスなどで水位が安定しない場合は、「温度のみ」に設定してください。

■音声ガイド設定

■台所・ふろリモコンには、操作方法や設定内容をお知らせする音声ガイド機能がついています。
●音声ガイドの内容を設定します。
●台所リモコン（サブリモコン）とふろリモコンで別々に設定できます。

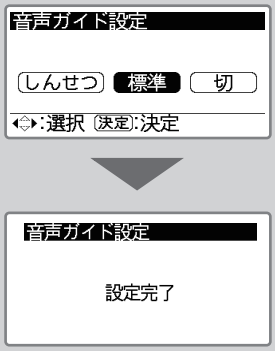
1 「リモコン」/「音声ガイド設定」を選択し 決定 を押す。

●「音声ガイド設定」の画面になります。



2 ◀ ▶ で音声ガイドを選択し 決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。



お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。➡P.21

お知らせ

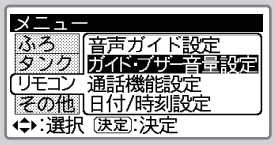
●「しんせつ」に設定すると、操作方法や機能動作に関する内容、設定内容をお知らせします。
●「標準」に設定すると、動作中の機能が停止した場合や安全に関わることなどをお知らせします。

■ガイド・ブザー音量設定

■運転の開始や終了などをお知らせする音声やブザー音、「おしえて」ボタンの音声ガイドの音量が変更できます。

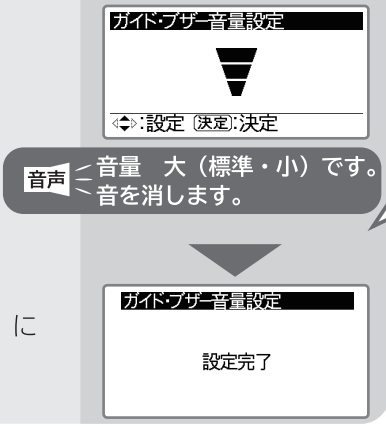
1 「リモコン」/「ガイド・ブザー音量設定」を選択し、 決定 を押す。

●「ガイド・ブザー音量設定」の画面になります。



2 ▲ ▼ で音量を選択し 決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。



お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。➡P.21

●「音量」を設定するごとに、対応する音量でお知らせします。
●同じ音量でも深夜など雑音の少ない環境では大きく聞こえたり、雑音の多い昼間は聞き取りにくかったりすることがあります。

給湯機の設定（続き）

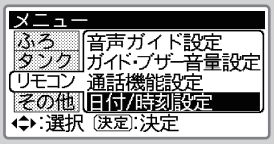
■日付 / 時刻の設定

■使いはじめには、必ず日付・時刻を設定してください。
●時刻は月に一度は確認し、現在時刻に合わせてください。
●現在時刻に合っていないと、深夜時間帯前に沸き上げを行ってしまうなど、電気料金が割高になってしまうことがあります。
●台所リモコン（サブリモコン）・ふろリモコンのどちらでも設定できます。一方のリモコンで日付・時刻を設定すれば、もう一方のリモコンの日付時刻も設定されます。

1 「リモコン」/「日付/時刻設定」を選択し

決定 を押す。

●「日付設定」の入力画面になります。



2 で年・月・日を選択し
現在日付を設定します。

決定 を押す。

●「時刻設定」の画面になります。

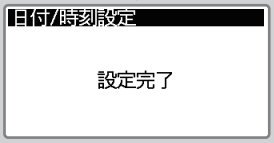


3 で時・分を選択し
現在時刻を設定します。

決定 を押す。

●「設定完了」の画面になり、「標準画面」に戻ります。





お知らせ

●「一括設定」による設定の場合は 2 から操作します。P.21

お知らせ

●時刻は 24 時間表示です。
昼の 12 時は「12：00」
夜の 12 時は「0：00」
に設定します。

■時刻設定（ダイレクトボタンから操作）

■台所リモコン（サブリモコン）には、「時刻設定」ボタンがあり、簡単に時刻の設定ができます。
●時刻のずれを修正する場合など、日付の設定が不要な場合に便利です。
●ふろリモコンには「時刻設定」ボタンはありません。

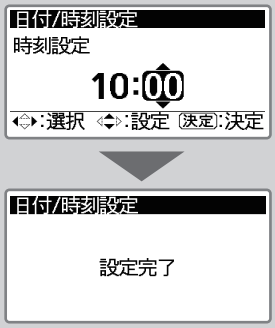
台所リモコン（サブリモコン）



■時・分の設定

1 時刻設定（3秒押し）を画面が変わるまで押しつづける。

●日付設定の画面になります。



で時・分を選択し現在時刻を設定する。

決定 を押す。

●設定完了の画面になり、「標準画面」に戻ります。

お知らせ

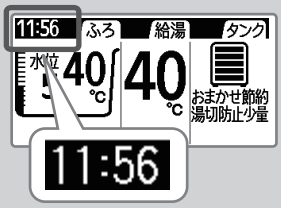
●メニュー一覧の「日付 / 時刻設定」で行う時刻設定と同じ機能、同じ操作方法で設定できます。

■正時設定（０分調整）

●電話などの時報に合わせて０分調整をします。
●リモコンの時刻表示が毎時５５～０５分の間にボタンを押すと００分にセットできます。

1 時刻設定（3秒押し）押す。

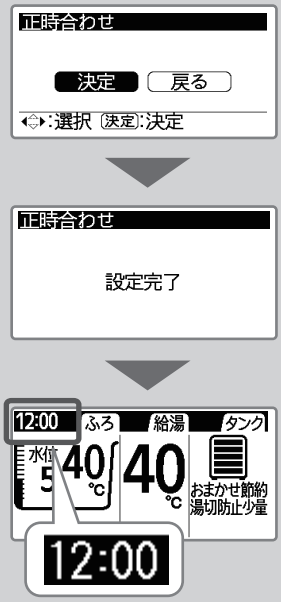
●「正時合わせ」設定画面が表示されます。



2 時報に合わせて 決定 を押す。

●「設定完了」画面が表示されます。

●リモコンの時計が「００分」にセットされます。



お知らせ

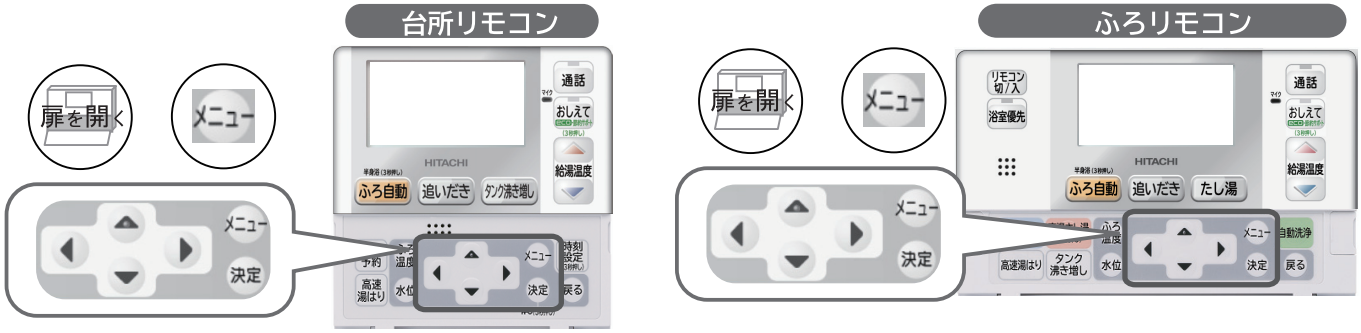
●正時（しょうじ）とは、「7 時ちょうど（7：00）」や「12 時ちょうど（12：00）」のように、「毎時 0 分」をいいます。
●毎時 05 分～ 54 分の間時刻に設定が必要な場合は、「時・分の設定」に従って設定してください。

給湯機の設定（続き）

■通話機能設定

■ふろリモコンと台所リモコンの間で通話する音量、通話方式を設定します。

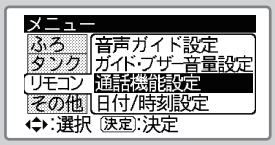
●音量はふろリモコンと台所リモコン各々で設定します。



1  で「リモコン」「通話機能設定」を選択し

決定 を押す。

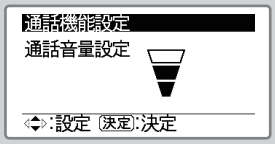
●「通話音量」の画面になります。



2  で「音量」を選択し

決定 を押す。

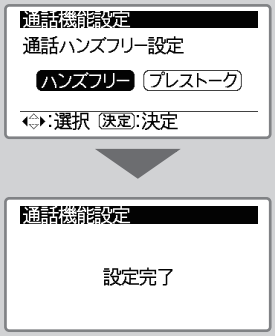
●「通話ハンズフリー設定」の画面になります。



3  で「方式」を選選択し

決定 を押す。

●「設定完了」画面になり、「標準画面」に戻ります。



お知らせ

●台所リモコンとふろリモコン間で通話中に「通話音量」を変更することができます。

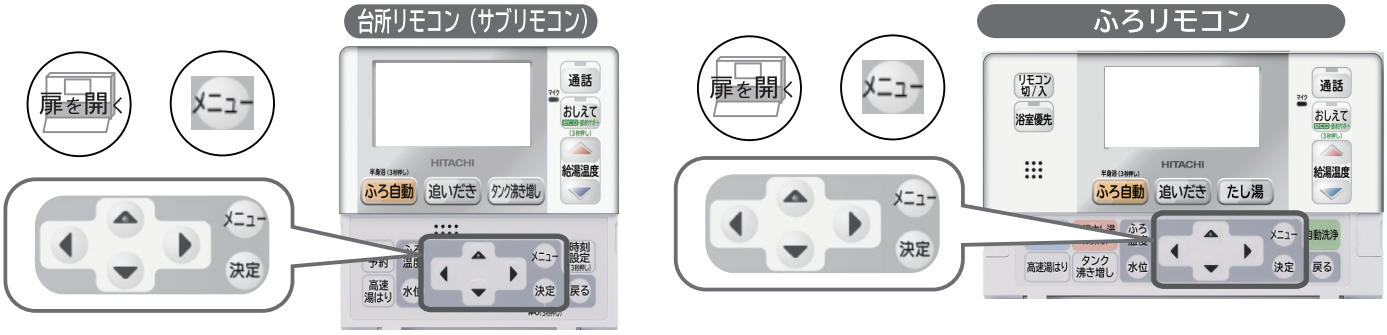
→P.41

■工場出荷時設定

■各設定を工場出荷時の設定に戻します。

●工場出荷時設定を行った後は、必ず一括設定を行ってください。→P.21

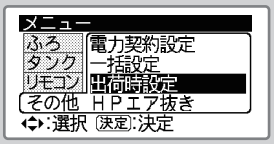
●その他の設定（給湯温度・ふろ温度など）は給湯機をお使いになりながら適切な設定を行ってください。



1  で「その他」/「出荷時設定」を選択し

決定 を押す。

●「出荷時設定」の画面になります。

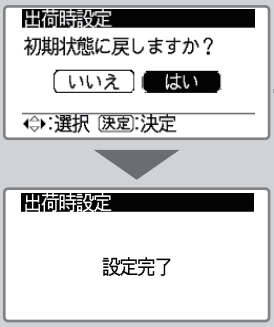


2  で「はい」を選択し

決定 を押す。

●「設定完了」画面になります。

●自動で「再起動します。しばらくお待ちください」の画面を表示後、自動で「標準画面」に戻ります。



●「いいえ」を選択すると現在の設定を継続します。

■設定項目一覧

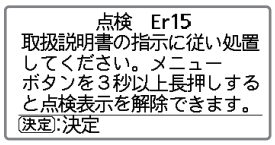
設定項目	工場出荷時設定	頁
給湯温度	４０℃	→P.23
ふろ温度	４０℃	→P.26
ふろ水位	５	→P.26
高速湯はり	切	→P.26
ふろ保温時間	２：００	→P.59
保温機能	温度・水位	→P.59
沸き上げ	おまかせ 節約	→P.57
湯切れ防止	少量	→P.58
ふろ予約	なし	→P.34
チャイルドロック	切	→P.23
浴室優先	入	→P.24
半身浴温度	３８℃	→P.33
電力契約	０４	→P.56
節約設定	しない	→P.58
使用休止予約	なし	→P.47
使用休止予約の休止日	なし（解除）	→P.47
使用休止予約の再開日	なし（解除）	→P.47

設定項目	工場出荷時設定	頁
自動洗浄	する	→P.26
音声ガイド（台所リモコン）	しんせつ	→P.60
音声ガイド（ふろリモコン）	しんせつ	→P.60
音声ガイド（サブリモコン）	しんせつ	→P.60
ガイド・ブザー音量（台所リモコン）	標準	→P.60
ガイド・ブザー音量（ふろリモコン）	標準	→P.60
ガイド・ブザー音量（サブリモコン）	標準	→P.60
コントラスト（台所リモコン）	レベル８	→P.12
コントラスト（ふろリモコン）	レベル８	→P.12
コントラスト（サブリモコン）	レベル８	→P.12
通話音量（台所リモコン）	標準	→P.41
通話音量（ふろリモコン）	標準	→P.41
通話ハンズフリー設定	ハンズフリー	→P.63
eco省エネ保温	入	→P.35
入浴検知追いだき	入	→P.36
沸き増し節約	切	→P.36
お好み量沸き増し	切	→P.36
シャワーアラーム	しない	→P.39

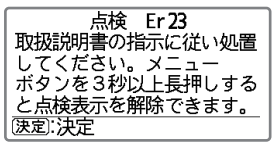
リモコンにこんな表示がでたら

■点検表示

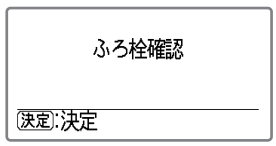
点検が必要な状況になった場合、各リモコンに点検表示の解除方法が表示されバックライトが点滅します。下記の点検表示画面が表示される場合は、お客様で処置をしてください。



（点検　Er15）



（点検　Er23）



（点検　C23）

●各リモコンに上記の点検表示が表示された場合、お客様で処置ができます。下記記載の処置をしてください。

点検表示と現象	原因	処置
Ｅｒ15 ふろ湯はりができない。	●貯湯ユニットへ水の供給がされていない。	●タンク専用止水栓を全開にしてください。
	●断水している	●断水が終わるまで待ってください。
Ｃ 23 Ｅｒ23 ふろ湯はりができない。	●浴そうの排水栓をしていない。	●浴そうの排水栓を閉じてください
	●ふろ循環アダプターのフィルターが目づまりしている。→P.53	●ふろ循環アダプターのフィルターを掃除してください。
Ｃ 23 自動運転中にたし湯ができない。	●ふろ自動運転中に浴そうの排水栓を抜いた。	●ふろ自動運転中に排水栓を抜かないでください。
	●ふろ自動運転中に、浴そうのお湯を多量にくみだした。	●ふろ自動運転中は、浴そうのお湯を多量にくみださない。
Ｃ 23 追いだきができない。	●ふろ配管内に空気がたまっている	●たし湯またはさし水を行い、配管内の空気を浴そうへ出してください。
	●半身浴湯はりの自動保温中に水位がふろアダプター付近まで下がった	●半身浴湯はりの自動保温中に浴そうのお湯を排水しないでください。

処置後の手順





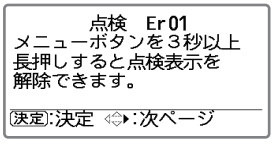
1 処置をした後、「決定」ボタンを押してください。点検表示画面から標準画面に戻りますが、時刻表示部に点検表示が残りバックライトが点滅します。

2 「メニュー」ボタンを３秒以上押して点検表示を消します。一度リモコンの表示が消え、標準画面に戻り、通常通り使用できるようになります。

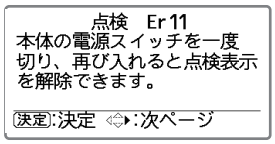
3 処置をしても、なお点検表示が表示される場合や該当する原因がない場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。→P.77

下記の点検表示が表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。点検表示の解除方法は各表示によって異なります。

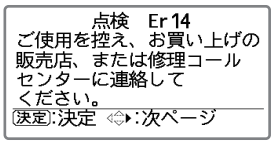
●下記に点検表示画面の例を示します。



（点検　Er01）



（点検　Er11）



（点検　Er14）

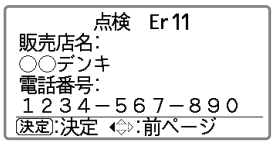
点検表示	処置
Ｅｒ01 ～ 14 Ｅｒ16 ～ 21 Ｅｒ24 ～ 99	●貯湯ユニット関係の点検が必要です。 ●リモコンに表示される点検表示内容に従い、表示を解除してください。
ＨＥ 01 ～ 16、19 ＨＥ 22 ～ 44	●ヒートポンプユニット関係の点検が必要です。 ●リモコンの「メニュー」ボタンを３秒以上押し点検表示を解除してください。

点検表示	処置
ＨＥ 17、20、21 Ｃ－09	●ヒートポンプ配管の点検が必要です。 ●リモコンの「メニュー」ボタンを３秒以上押し点検表示を解除してください。

※ＨＥ－17、ＨＥ－20、ＨＥ－21、Ｃ－09 が再度、表示される場合は、ヒートポンプ配管の点検が必要です。お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。 →P.77

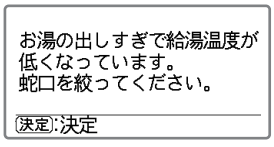
お知らせ

●試運転時販売店が連絡先の登録を行っている場合、65、66ページの点検表示画面で各リモコンの「 ▸ 」を押すと、点検表示画面から販売店名と連絡先の電話番号が表示されます。



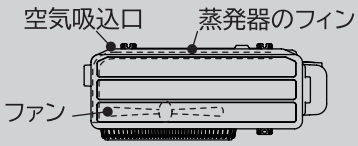
■その他の表示(BHP-F56LD型のみ)

■BHP-F56LD 型は、タンクのお湯を使用して給湯用熱交換器で水道水を温め、リモコンで設定した温度のお湯をつくるため、（ → P.1 ）タンク内の温度が低い、給水温度が低い、給湯流量が多過ぎるなどの場合に、給湯用熱交換器の給湯能力が不足し設定温度のお湯が出ないときに表示します。蛇口を絞ると設定温度のお湯が出る場合があります。



●表示された場合、蛇口を絞り設定温度のお湯が出る、または「決定」ボタンを押すと通常画面に戻ります。

お困りのときは 修理を依頼される前に、確認してください。

	こんなときには	処置と確認事項
貯湯ユニット	タンク排水管から水が出ている	●沸き上げ中（リモコンに「沸き上げ」や「沸き増し」が表示されているとき）に膨張水の排出を行っている。 →正常な動作です。沸き上げ中は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。通常一晩で 10L ～ 20L 排水します。
		●沸き上げ中でないときに、お湯や水が排水される場合は、逃し弁の点検を行ってください。→P.54
	「タンク沸き増し」を行うと残湯量目盛が一気に増える、または、全て点灯表示する	●タンクのお湯の温度が、残湯量目盛の点灯表示する約 45℃付近となっているため、短時間の「タンク沸き増し」でタンクのお湯の温度が上昇して残湯量目盛が一気に増える、または全て点灯表示することがあります。
ヒートポンプユニット	昼間時間帯に沸き上げを行う	●お湯が不足しないように、沸き上げを行っています。正常な動作です。残湯量目盛がすべて表示されている場合でも「湯切れ防止」を設定していると、沸き上げを行うことがあります。→P.57 →P.58
		●外気温度が低いとき、凍結防止運転のため、沸き上げを行う場合があります。正常な動作です。
	深夜時間帯になっても沸き上げを開始しない	●朝方に沸き上がるように水温や残湯量に合せて、沸き上げ開始時間を調整するためで（ピークシフト機能）、正常な動作です。
	深夜時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	●タンク内の残湯量が多い場合は、早く沸き上げ終了することがあります。
	ヒートポンプユニットのドレンから水が出る	●沸き上げ中は、大気から熱を吸収するときに結露した水を排水します。正常な動作です。
	ヒートポンプユニットの底面から水が漏れている	●ドレンホースに波うちがなく、下り勾配になっていることを確認してください。 ●外気温や湿度によって、底面に結露することがあります。
	沸き上げ中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる	●冬季は、蒸発器のフィンに霜がつくことがありますが、正常な動作です。 
	ヒートポンプユニットが運転 / 停止を繰り返す	●外気温度が低いとき、蒸発器の除霜のために、ファンの運転 / 停止を繰り返します。正常な動作です。
	ヒートポンプユニットから運転音がする	●沸き上げ中や凍結防止運転中は、運転音がします。 また、外気温度が低いときは、運転音が大きくなる場合がありますが、異常ではありません。
	使用休止設定中なのにヒートポンプユニットが運転する	●外気温度が低いとき、凍結防止運転のため、沸き上げを行う場合があります。正常な動作です。
給湯	お湯が出ない お湯の出が悪い	●タンク専用止水栓が閉じている。 →タンク専用止水栓を開いてください。→P.16
		●断水している／給水圧が低い。 →断水が終わるのを待ってください。
		●配管が凍結している。 →お買い上げの販売店または工事店へご連絡ください。

こんなときには		処置と確認事項
給湯	お湯がぬるい お湯が足りない （残湯量目盛が 消えている）	●沸き上げ設定が、「おまかせ 節約」である。 →沸き上げ設定を「おまかせ 多め」にしてください。
		●使用休止予約設定になっている。（リモコンに「使用休止中」の表示がある） →使用休止予約設定を取り消し、「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 →P.43 →P.47
		●深夜時間帯（夜間沸き上げ運転中）にお湯をたくさん使用した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 →深夜時間帯（夜間沸き上げ運転中）に湯はりなど大量のお湯を使うと、翌朝、十分に沸き上がらないことがあります。「湯切れ防止」を設定してください。→P.58
		●いつもに比べてお湯をたくさん使用した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。→P.43 →お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ設定を変更するか、「湯切れ防止」の設定をしてください。→P.57 →P.58
		●混合水栓から出るお湯は、配管の放熱によって低くなることがあります。 →リモコンの給湯温度（「▲」ボタン）を高くしてください。→P.23
		●サーモスタット付混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらない。 →リモコンの給湯温度を混合水栓側の設定温度より約10℃高くしてください。→P.19
		●タンクのお湯の温度が、設定した給湯温度より低い場合、設定温度のお湯は出ません。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。→P.43
		●逃し弁からお湯が漏れている可能性があります。 →逃し弁の点検を行ない漏れがないことを確認してください。→P.54 漏れがある場合、お買い上げの販売店、または工事店に連絡してください。→P.77
	給湯温度が変化する 水になる	●下記の場合が考えられますが、異常ではありません。 ・水道の圧力が変動した場合。 ・給湯量を変更した場合。 ・給湯量が極端に少ない場合（混合水栓の湯側の量が少ない場合）。 ・湯はりやたし湯、高温さし湯、さし水と給湯を同時に使用した場合。 ・シャワーと台所など同時に使用した場合。 ・シャワーを一旦止め、しばらくして再給湯した場合。
	お湯から油が出る、 お湯が臭い	●お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。異常ではありません。 なお、しばらくしても油や臭いが消えない場合は、タンクの湯の入れ替え、配管工事時に取り付けた配管材料などの確認が必要です。お買い上げの販売店または工事店に連絡してください。
	お湯が白く濁って 見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。異常ではありません。

お困りのときは（続き）修理を依頼される前に、確認

	こんなときには	処置と確認事項
おふろ	湯はりができない	●タンクにお湯がない。（残湯量目盛が少ない） →P.14 →残湯量目盛が３つ以上ないと湯はりが途中で止まることがあります。「タンク沸き増し」ボタンを押して、しばらくして（約１時間）から湯はりを行ってください。→P.43
	水でしか湯はりしない	●ふろ温度の設定が「低温」になっていないか確認してください。
	湯はりができない 湯はりが途中で止まる	●タンクのお湯の温度が低い。（残湯量目盛は出ている） →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。残湯量目盛は約 45℃以上のお湯の量を表示します。タンクのお湯の温度が、湯はり温度より約5℃以上高くないと、「湯はりができない」「途中で止まる」ことがあります。
	「ふろ自動」「追いだき」を行うと残湯量目盛が一気に消えるまたは全て消える	●タンクのお湯の温度が残湯量目盛の点灯表示する約 45℃付近の温度のため、お湯を使用することで一気にタンクのお湯が低下するためです。異常ではありません。→P.14
	「ふろ自動」で湯はり終了後に保温機能の時間が残っているが、「運転中止」になる	●湯はりでタンクのお湯を使用したため、保温機能運転開始時にタンクのお湯の温度が低下した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。お湯ができた後に、「たし湯」「追いだき」を行う場合は、手動で行ってください。→P.29 →P.30 →P.43
	「ふろ自動」保温機能の時間が残っているが、「運転中止」になる	●保温機能運転中にタンクのお湯の温度が低下した。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。お湯ができた後に、「たし湯」「追いだき」を行う場合は、手動で行ってください。→P.29 →P.30 →P.43
	「高温さし湯」ができない	●タンクのお湯の温度が低い。（残湯量目盛は出ている） →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。「高温さし湯」は、タンクに約 60℃以上のお湯が必要です。→P.43
	「たし湯」ができない	●タンクのお湯の温度が低い。（残湯量目盛は出ている） →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。→P.43
	残湯量目盛は数目盛または全て点灯しているのに、「ふろ自動」「追いだき」「たし湯」「高温さし湯」ができない	●タンクのお湯の温度が残湯量目盛の点灯表示する約 45℃付近の温度のため、お湯が不足している状態です。異常ではありません。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。→P.43
	残湯量目安（給湯設定温度換算）で残りの湯量があるのに、「ふろ自動」「追いだき」「たし湯」「高温さし湯」ができない	●残湯量が十分あっても、タンクの湯温が低いときは、ふろ自動や追いだき、高温さし湯ができないことがあります。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。→P.43

確認してください。

	こんなときには	処置と確認事項
おふろ	浴そうのお湯が熱い	●ふろ温度の設定を低くしてください。または「さし水」ボタンを押してください。
		●追いだき中になっている場合は、再度「追いだき」ボタンを押してを中止してください。
	浴そうのお湯がぬるい	●ふろ温度の設定を高くしてください。または「追いだき」ボタンを押してください。
	浴そうのお湯が少ない	●ふろ水位の設定を高くしてください。または「たし湯」ボタンを押してください。
	浴そうのお湯が多い	●ふろ水位の設定を低くしてください。
	「追いだき」ができない	●タンクのお湯の温度が低い。（残湯量目盛は出ている） →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。残湯量目盛は約 45℃以上のお湯の量を表示しますが、追いだきはタンクのお湯と熱交換するため、タンクのお湯が約 60℃以上必要です。→P.29 →P.43
		●浴そうのお湯が少ない →追いだきは、「ふろ循環アダプター」上端以上お湯があるときに使用できます。水位が低いときは、「高温さし湯」、「たし湯」を行ってください。→P.29 →P.30 →P.32
	「追いだき」が途中で停止する	●ふろ循環アダプターのフィルターを掃除してください。→P.53 ●タンクのお湯の温度が低い。（「追いだきできません」が表示している） →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。→P.43
	朝の浴そうに水がたまっている	●ふろ配管内の残っていた水が出ています。正常な動作です。
		●夜間に凍結防止運転をしています。冬季に起こる正常な現象です。→P.46
	入浴時にふろ循環アダプターから水が出る	●冬季は凍結防止運転を行うため、ふろ配管内の水が浴そうに排出されます。入浴中は、「ふろ自動」を運転してください。冬季に起こる正常な現象です。→P.28 →P.46
	浴そうからゴボゴボ音がする	●冬季は凍結防止運転を行うため、ふろ配管内の水が浴そうに排出され浴そうでゴボゴボ音がします。冬季に起こる正常な現象です。→P.46
		●湯はり時や追いだき時にふろ配管内の空気が排出される音です。異常ではありません。

お困りのときは（続き）修理を依頼される前に、確認

	こんなときには	処置と確認事項
おふろ	ふろ循環アダプターからポンプ音がする	●冬季は凍結防止運転を行うため、凍結防止のためポンプを運転して浴そうのお湯を循環させるため音がします。冬季に起こる正常な現象です。→P.46
		●湯はり中またはふろ自動運転中にポンプが空気を吸い込む音がする場合があります。湯はりが終わると音はしなくなります。異常ではありません。
	浴そうからポンプ音がする	●冬季は凍結防止運転が動作するため、凍結防止のためポンプを運転して浴そうのお湯を循環させるため音がします。冬季に起こる正常な現象です。→P.46
	ふろ循環アダプターから汚れが出る	●ふろ追いだき配管内にたまった汚れを排出することがあります。ふろ追いだき配管の自動洗浄または循環洗浄をしてください。→P.55
	断続的に湯はりを行う	●湯はり中は、温度や水位確認のため、何度か湯はりを止めますが正常な動作です。
	浴そうのお湯が青く見える 浴そうや洗面用具に青い線がつく	●光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが、異常ではありません。汚れを放置すると取れにくくなりますので浴室用洗剤で掃除してください。
	浴そうの水位が不安定	●ふろの水位データが異常となっている。 →水位の再設定を行ってください。→P.74 再設定を行っても直らない場合、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡してください。
		●浴そうを新しくしたことにより水位が不安定となった場合は、水位の再設定行ってください。→P.74
	自動洗浄しない	●自動洗浄が設定されていないときは、自動洗浄しません。ふろリモコンで「自動洗浄」をボタンを押してください。時刻表示の横に「  」が出ます。
		●「ふろ自動」運転後に設定しても自動洗浄は行いません。「ふろ自動」を運転する前に「自動洗浄」を設定してください。
		●自動洗浄は「ふろ自動」ボタンを押して湯はりを行った場合に運転します。蛇口から直接浴そうへお湯をためた場合は、自動洗浄は運転しません。
		●浴そうのお湯を使用するなど、ふろ循環アダプター付近までお湯が減ると、すでに自動洗浄が動作している場合があります。一度動作すると、その後、排水しても自動洗浄を行いません。

認してください。

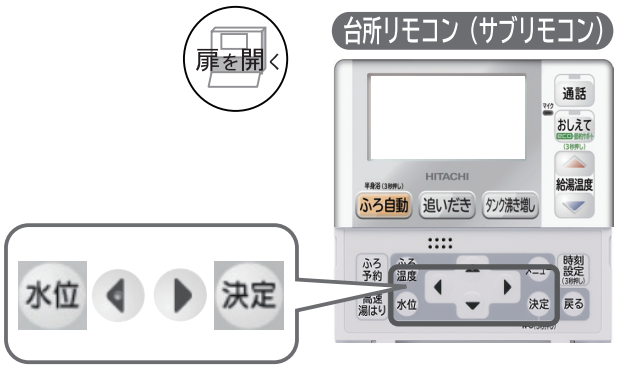
こんなときには		処置と確認事項
リモコン	リモコンの表示部が消えている（電源が入らない）	●200V 電源ブレーカーが「OFF」になっている。電源ブレーカーを「ON」にしてください。 →P.16
		●漏電遮断器のスイッチが「OFF」になっている。スイッチを「ON」にしてください。再度「OFF」になる場合は、「OFF」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。 →P.15
		●停電している。停電が終わるまで待ってください。
	リモコンのバックライトが消える	●リモコンのバックライトは約 30 秒で自動で消えます。正常な動作です。
	台所リモコンで給湯温度の変更ができない	●浴室優先が設定されている。（リモコンに「浴室優先」が表示されている）解除してください。 →P.24
	ふろリモコンで温度の変更などボタン操作ができない	●チャイルドロックが設定されている。（リモコンに「  」が表示されている）解除してください。 →P.23
	音声ガイドが出ない	●音量ガイドが「切」の設定になっている。「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。 →P.60
		●音量設定が「切」の設定になっている。「切」以外の音量を設定にしてください。 →P.60
	リモコンを操作しても操作音が出ない	●音量設定が「切」の設定になっている。「切」以外の音量を設定にしてください。 →P.60
	インターホンが聞き取りにくい	●会話は、リモコンから30cmくらい離れて行ってください。離れ過ぎ、近づき過ぎ、声が大きいなどの場合、相手のリモコンで会話が途切れたり、音が割れて聞きとりにくい場合があります。 また、周囲の雑音（シャワーやテレビなど）が大きいと相手の話す声が途切れることがあります。
	インターホンを使用するとキーンという音がする	●リモコンの取り付け状態や場所により、キーンという大きな音（ハウリング）が発生することがあります。音量を「標準」または「小」に下げてご使用ください。
	インターホンの音が小さくなることがある	●リモコンのスピーカー部に水がかかると、音が小さくなったり、聞こえなくなったりすることがありますが異常ではありません。水が乾くと直ります。なお、リモコンのスピーカー部には、シャワー等の水を直接かけないようにしてください。
	お湯を使用していないのに使用湯量目安が勝手に増えた	●使用湯量目安は、給湯で使用した湯量とふろの湯はりなどのふろ機能で使用した湯量の合計を給湯設定温度に換算して表示しています。

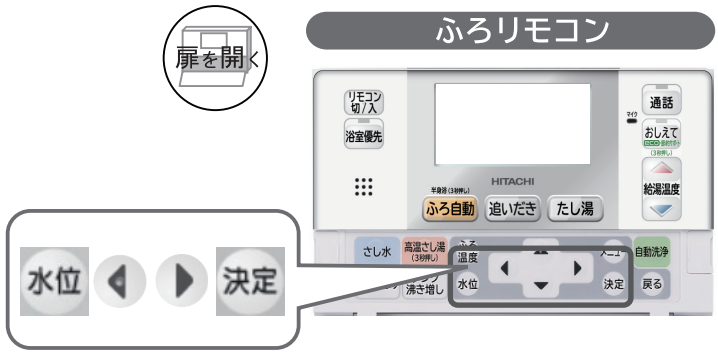
お困りのときは（続き）修理を依頼される前に、確認してください。

	こんなときには	処置と確認事項
リモコン	グラフ表示される使用湯量確認（42℃換算）と使用湯量目安（給湯設定温度換算）とが合わない	●使用湯量確認（42℃換算）には、追いだきの熱量も換算していますので、使用湯量目安の湯量とは異なります。
	沸き上げ設定をおすすめに変更したが、湯が足りない	●おすすめは、昨日までの 6 日間の使用実績に応じて表示しています。使用量が急に多くなると、湯が足りなくなることがあります。異常ではありません。 →「タンク沸き増し」ボタンを押してください。 →P.43
	沸き上げ設定をおすすめに変更したが、湯が余る	●おすすめは、昨日までの 6 日間の使用実績に応じて表示しています。使用量が急に少なくなると、湯が余ります。異常ではありません。
	シャワーを使用していないのにシャワーアラーム画面が表示される	●浴室でシャワーなど給湯を使用していなくても、台所や洗面所などで連続して給湯を使用すると、シャワーアラーム画面を表示します。正常な動作です。
	シャワーを使用していてもシャワーアラーム画面が表示されない	●シャワーアラーム設定で、リモコンが選択されていないためです。 →リモコンを選択してください。 →P.39 ●シャワーの勢いが弱く、設定流量に達していないためです。 →アラームを出す時間をはやくしてください。 →P.39

ふろ水位データの再設定

●おふろのお湯があふれる、水位が安定しないときに行ってください。
再設定をしても、水位が安定しない場合は、お買い上げの販売店または「修理コールセンター」にご連絡ください。





■ふろ初期データの消去

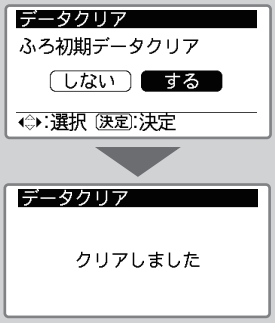
1 水位 を画面が変わるまで押しつづける。

●「ふろ初期データクリア」の画面になります。



2 ◀ ▶ で「する」を選択し 決定 を押す。

●「データクリア」画面になり、標準画面に戻ります。

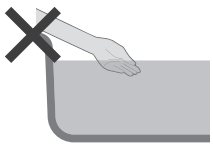


■ふろ初期データの再設定

●ふろ初期データの再設定は、最初の湯はりの時に行います。→P.27
●浴そうにお湯（水）がない状態で湯はりを行ってください。
●その際、浴そうの形状を確認しながら湯はりするため、湯はり時間がかかります。

ご注意

● ふろ水位再設定の湯はり中、浴そうの水に触れないでください。触れると水位が正常に設定できないおそれがあります。



用語集

ふだん聞きなれない
用語や混同しやすい
用語を説明します。



沸き上げ
（わきあげ）

主に深夜時間帯に、自動でヒートポンプユニットがお湯を沸かすこと
→P.1

タンク沸き増し
（タンクわきまし）

主に昼間時間帯に、手動でヒートポンプユニットでお湯を沸かすこと
→P.43

湯切れ防止
（ゆぎれぼうし）

タンクのお湯を使うたびに、自動でヒートポンプユニットがお湯を沸かすこと
→P.58

追いだき
（おいだき）

浴そうのお湯の温度を高くすること
→P.29

高温さし湯

高温のお湯を浴そうのお湯に足して、温度と水位を高くすること
→P.32

たし湯

ふろ温度のお湯を浴そうのお湯に足して、水位を高くすること
→P.30

さし水

水を浴そうのお湯に足して、温度を低くすること
→P.31

電力契約番号

電力契約名称に対応した、リモコン設定用の日立独自の契約番号のこと
→P.56

タンク専用止水栓
（たんくせんようしすいせん）

タンク内への水道水給水を止めるための栓のこと
→P.16

タンク排水栓
（タンクはいすいせん）

タンク内のお湯（水）を出すための栓のこと
→P.15

タンク排水管

タンク内のお湯（水）の出口のこと
→P.16

ふろ温度

ふろ自動運転で浴そうに湯はりするときのお湯の温度のこと
→P.26

混合水栓
（こんごうすいせん）

お湯と水を混ぜて１つの蛇口から出すことができる水栓のこと
→P.19

残湯量
（ざんとうりょう）

タンク内にあるお湯の量のこと
→P.14

給湯温度

台所や洗面所、浴室などの蛇口やシャワーから出るお湯の温度のこと
→P.23

使えるお湯の量

タンク内のお湯全部を給湯設定温度のお湯に換算したときの量のこと
→P.37 →P.45

仕様

■システム

	仕様	
形式	ＢＨＰ－Ｆ56ＬＤ	ＢＨＰ－Ｆ56ＬＵ
仕向地	一般地（次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南、外気温 -10℃まで対応）	
適用電力制度	季節別時間帯別電灯型、 時間帯別電灯型（通電制御対応）	
相数／定格電圧（定格周波数）	単相 200V（50／60Hz）	
最大電流	19A	19A
沸き上げ温度範囲	約 65℃～約 90℃	
年間給湯保温効率（JIS）※6	2.9	2.9
冬期高温沸き上げ温度	90℃	
着霜期高温沸き上げ温度	90℃	

■貯湯ユニット

		仕様	
形式		ＢＨＰ－ＴＡＤ56Ｌ	ＢＨＰ－ＴＡ56Ｌ
設置場所		屋外	
タンク容量		560Ｌ	560Ｌ
水側最高使用圧力		500kPa	190kPa
外形寸法		2,132mm（高） 685mm（幅） 800mm（奥行）	2,132mm（高） 685mm（幅） 800mm（奥行）
質量（製品質量 / 満水時質量）		88kg ／約 648kg	83kg ／約 643kg
給湯作動最低流量		２Ｌ／ min	—
消費電力	制御用	5W	
	ふろ保温	50W	
	給湯循環ポンプ	55W	—

■ヒートポンプユニット

	仕様
形式	ＢＨＰ－ＨＡ75Ｌ
外形寸法	720mm（高）×792mm（幅）×299mm（奥行）
質量	61kg
中間期標準加熱能力 / 消費電力 ※2 ※3	7.5ｋＷ／ 1.80ｋＷ
中間期標準運転電流 ※3	9.5A
冬期高温加熱能力 / 消費電力 ※1 ※2 ※4	7.5ｋＷ／ 2.65ｋＷ
運転音※5（中間期※3/ 冬期高温※4）	43dB(A)/45dB(A)
冷媒名および封入量	R744（CO_2）/1.06kg
設置可能最低外気温度	－10℃
設計圧力	高圧部 13.3 ／低圧部 8.0MPa

※1　低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2　沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※3　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温 17℃、沸き上げ温度 65℃
※4　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温 9℃、沸き上げ温度 90℃
※5　運転音は JIS C 9220:2011 に準拠し、反響音の少ない無響音室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示値よりも大きくなるのが普通です。
※6　JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量およびふろ保温熱量を表したものです。
年間給湯保温効率（JIS）＝1 年間で使用する給湯とふろ保温に係わる熱量 ÷ 1 年間に必要な消費電力量
なお、値は下記条件で算出した値であり、実際には地域条件、運転モードの設定やご使用条件等により変わります。
年間給湯保温効率（JIS）算出時の条件
・冬期給湯保温モード条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／６℃、水温 9℃、沸き上げ温度 65℃
・着霜期給湯保温モード条件：外気温（乾球温度／湿球温度）2℃／１℃、水温５℃、沸き上げ温度 65℃
・夜間消費電力量比率（JIS C9220：2011 冬期給湯保温モード条件時）：95%

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証とアフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。（取扱説明書、工事説明書なども保証書と一緒に保存してください。）

●保証期間は、お買い上げいただいた日から本体１年、冷媒回路（圧縮機、水加熱用熱交換器、空気用熱交換器および冷媒が通る配管経路など）は３年、タンク（缶体）は５年です。

■補修用性能部品の保有期間

●補修用性能部品の保有期間は製造打切後 10 年です。

※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■定期点検契約（有料）のおすすめ

●本製品を長期間安心してお使いいただくために、３～４年に１度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。

●定期点検につきましては、販売店または右記のサービスエンジニアリングセンターへご相談ください。

●点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項目	内容
据付状態の点検	●設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ●配管、その他の保温状態の点検 ●電気絶縁の点検
機能部品の点検	●電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ●弁類の点検（減圧弁、逃し弁）
清掃	●貯湯タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ●給水継手のストレーナの清掃

消耗部品について（有料）

消耗部品			
●逃し弁	●減圧弁	●混合弁	●循環ポンプ
●パッキン類	●センサー類	●電磁弁	●水流スイッチ
●ゴムホース	●三方弁		

※上記部品の交換時は、当社純正部品と交換してください。

■技術的なお問い合わせは

●右記の「技術相談センター」へお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

●お買い上げ店へ下記をご連絡ください。お買い上げ店が不明な場合は、右記の「修理コールセンター」へご連絡ください。

1. 形式（保証書に記載）
2. 故障の状況
3. お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
4. お買い上げ店名

修理料金

保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

■修理コールセンター

（0120）649-020（携帯電話からも可）
受付時間　365 日・24 時間受付

■技術相談センター

（0120）578-011（携帯電話からも可）
受付時間　9：00 ～ 17：00（土日祭日を除く）

■サービスエンジニアリングセンター

受付時間　9：00 ～ 17：00（土日祭日を除く）

北海道（011）717－5146
〒060－0809
札幌市北区北９条西 3-10-1（小田ビル８階）

東北　（022）225-5972
〒980－0065
仙台市青葉区土樋１－１－11

東京　（03）3649-3811
〒135－0016
東京都江東区東陽５－29－17（住友不動産東陽ビル）

北陸　（076）429－6861
〒939－8214
富山市黒崎 627－3

中部　（0568）72－0131
〒485－0072
小牧市元町４－66

関西　（06）6303－6159
〒532－0022
大阪市淀川区野中南２－11－27

中国　（082）283－9374
〒735－0029
広島県安芸郡府中町茂陰１－９－20

四国　（087）833－8701
〒760－0072
高松市花園町１－１－５（花園ビル）

九州　（092）561－4854
〒815－0031
福岡市南区清水４－９－17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

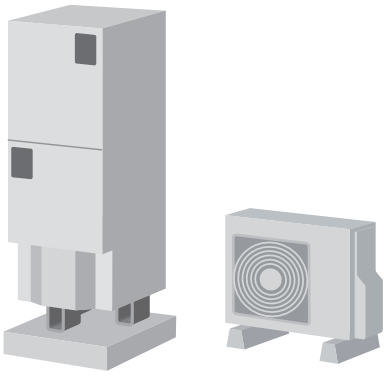
日立アプライアンス株式会社
〒105－8410　東京都港区西新橋2－15－12

ご購入年月日	年　月　日
お買い上げ店（販売店）	
電話番号	

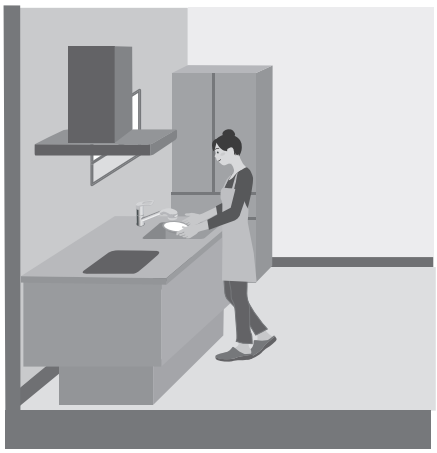
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

memo

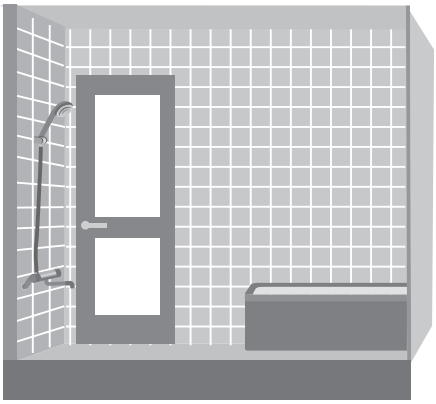
よくあるご質問



●**タンク排水管から水が出ている→**沸き上げ中はお湯が排出されます。
●**ヒートポンプユニットから水が出る→**沸き上げ中はドレン水が排出されます。
●**昼間時間帯に沸き上げを行う→**お湯が不足しないように沸き上げを行っています。残湯量目盛がすべて表示されている場合でも沸き上げを行うことがあります。
●**朝に残湯量目盛がすべて表示されていない→**深夜時間帯の沸き上げ運転中にお湯を多く使用した場合、深夜時間帯にタンク全量を沸き上げることができなくなり、残湯量目盛がすべて表示されないことがあります。



●**混合水栓から出るお湯の温度が低い→**配管の放熱によって低くなることがあります。給湯温度を上げてください。
●**サーモスタット付混合水栓使用時に混合水栓側の設定温度まで上がらない→**リモコンの給湯温度を混合水栓側の設定温度より約10℃高くしてください。
●**リモコンの表示画面が薄い、濃い、縦線が入る→**コントラスト調整を行ってください。→P.12
●**混合水栓を「開」にしてもなかなかお湯が出ない。→**給湯配管内にある残留水が出切るまではお湯は出ません。



●**浴そうのお湯が青く見える→**光の波長や浴そうの色によって、浴そうのお湯が青く見えることがあります。
●**浴そうや洗面用具に青い線がつく→**配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがあります。
●**入浴時にふろ循環アダプターから水が出る、浴そうからゴボゴボ音がする→**凍結防止運転中です。
●**追いだきが途中で停止する→**ふろ循環アダプターのフィルターの目詰まりで停止することがあります。目詰まりしていたら掃除してください。

愛情点検	長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！			
	ご使用の際、こんな症状はありませんか？	●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●漏電遮断器のスイッチが自動的に「OFF」になる。 ●本体や配管から水が漏れる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	●故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

日立アプライアンス株式会社
〒105−8410　東京都港区西新橋2−15−12